

令和7年度

阪南2区整備事業に係る環境調査

海域環境調査

月報（8月分）

目 次

1. 調査目的	1
2. 調査日及び調査内容	1
3. 調査場所	1
4. 調査結果	4
4-1 水質調査結果	4
4-1-1 定点監視結果及び環境基準との比較	4
4-1-2 補助監視結果及び環境基準、監視基準との比較	11
4-1-3 大阪湾水質一斉調査結果及び環境基準との比較	23
4-2 底質調査結果	24
4-3 水生生物調査結果	28
4-3-1 植物プランクトン調査結果	28
4-3-2 動物プランクトン調査結果	28
4-3-3 底生生物調査結果	29
4-3-4 魚卵・稚仔魚調査結果	30
4-3-5 付着生物調査結果	31
4-3-6 漁獲対象動植物調査結果	33
4-4 ダイオキシン類調査結果	83
4-4-1 水質調査結果	83
4-4-2 底質調査結果	96

1. 調査目的

本調査は、阪南2区整備事業において、埋立工事が周辺海域に及ぼす影響を監視することを目的とする。

2. 調査日及び調査内容

調査日及び調査内容を表2-1に示す。

表2-1 調査日及び調査内容

調査日	水質調査			底質調査	水生生物調査	調査内容
	定点監視	補助監視	大阪湾水質一斉調査			
8月5日	○	○	○		○	採水・分析及び現場機器測定 植物プランクトン、動物プランクトン
6日				○	○	底質・底生生物、魚卵・稚仔魚 漁獲対象動植物（刺網設置）
7日					○	漁獲対象動植物（刺網回収）
8日					○	付着生物
12日		○				現場機器測定
20日		○			○	現場機器測定 漁獲対象動植物（底引網の曳網）
27日		○				現場機器測定

3. 調査場所

岸和田市岸之浦町地先の阪南2区周辺海域において、水質の定点監視は St. 1～St. 4 の4地点、補助監視は護岸開口部の St. S-1、St. S-2 の2地点及びバックグラウンドを把握するため St. B-1～St. B-3 の3地点で行った。

水生生物の動・植物プランクトン、魚卵・稚仔魚、底生生物は St. 1～St. 4 の4地点、付着生物は St. A、St. B の2地点、漁獲対象動植物は St. イの1地点で行った。

調査地点の緯度、経度を表3-1に、調査地点を図3-1に示す。

表 3-1 調査位置と調査内容

調査位置			水質調査			底質調査	水生生物調査		
地点名	位置		定点監視	補助監視	大阪湾水質一斉調査		動・植物プランクトン、魚卵・稚仔魚、底生生物	付着生物	漁獲対象動植物
	北緯	東経							
St. 1	34°28'57"	135°20'57"	○		○	○			
St. 2	34°28'02"	135°20'42"	○		○	○			
St. 3	34°29'12"	135°21'43"	○		○	○			
St. 4	34°28'02"	135°21'22"	○		○	○			
St. S-1	34°29'15"	135°21'21"		○					
St. S-2	34°28'14"	135°20'46"		○					
St. B-1	34°29'50"	135°21'11"		○					
St. B-2	34°28'57"	135°20'31"		○					
St. B-3	34°27'18"	135°20'55"		○					
St. A	34°28'31"	135°20'55"					○		
St. B	34°28'14"	135°21'27"					○		
St. イ	34°29'05"	135°20'52"						○	

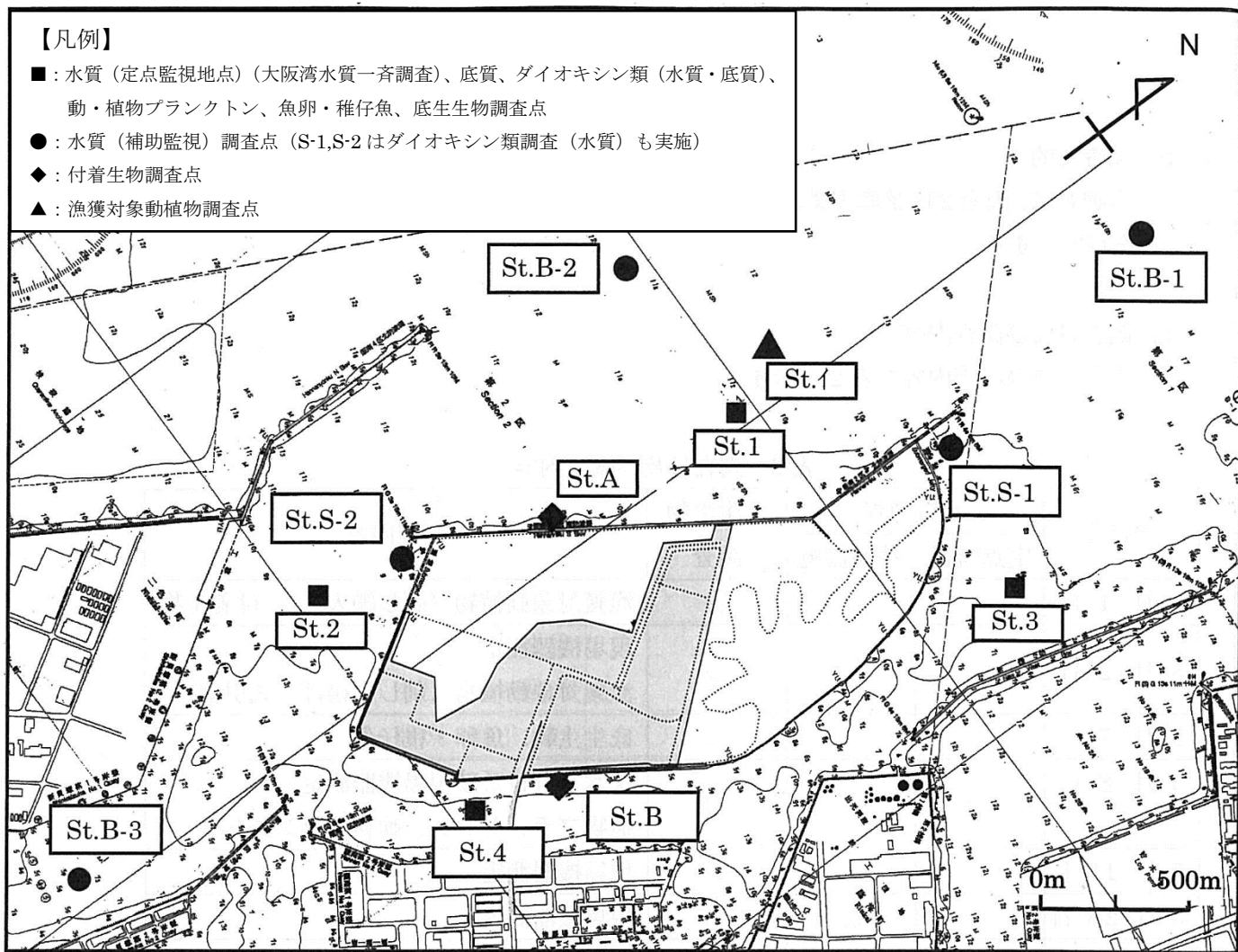


図 3 - 1 調査地点

4. 調査結果

4-1 水質調査結果

4-1-1 定点監視結果及び環境基準との比較

水質調査結果を表4-1-1-1～表4-1-1-2、現場機器測定結果を表4-1-1-3、定点監視野帳を表4-1-1-4に示す。また、環境基準との比較を表4-1-1-5～表4-1-1-6に示す。当調査海域の環境基準は、昭和46年環境庁告示第59号別表2「生活環境の保全に関する環境基準」の「2海域」における表アのC類型、表イのIV類型に該当する。

1) 調査地点の概況

特記事項はなし。

2) 現場機器測定

濁度は、St. 1の下層において高い値が、St. 2の下層においてやや高い値がみられた。

pHは、全地点全層において環境基準を満たしていた。

DOは、St. 1、St. 2の下層において環境基準を満たしていなかった。

3) 採水分析項目

SSは、St. 1の下層において高い値が、St. 4の下層においてやや高い値がみられた。

VSSは、全地点全層において特に高い値はみられなかった。

CODは、全地点全層において環境基準を満たしていた。

全窒素は、全地点全層において環境基準を満たしていた。

全リンは、全地点全層において環境基準を満たしていた。

クロロフィルaは、全地点全層において特に高い値はみられなかった。

「人の健康の保護に関する環境基準」項目の結果は、全項目において報告下限値未満であり、環境基準を満たしていた。

特殊項目の結果は、亜鉛を除いて報告下限値未満であった。

表 4-1-1-1 水質調査結果(定点監視地点)

調査年月日：令和7年8月5日

項目\地点番号		St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	最小値	～	最大値	平均値
調査時刻		11:55	11:36	10:09	12:15				
水温 (°C)	上層	29.6	29.9	29.6	29.9	29.6	～	29.9	29.8
	下層	25.6	26.3	29.6	26.5	25.6	～	29.6	27.0
塩分	上層	29.1	29.3	29.1	29.2	29.1	～	29.3	29.2
	下層	32.1	31.9	29.6	31.8	29.6	～	32.1	31.4
濁度 度(カリン)	上層	1	1	1	1	1	～	1	1
	下層	13	4	2	3	2	～	13	6
pH	上層	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	～	8.3	-
	下層	7.7	7.8	8.3	7.9	7.7	～	8.3	-
SS (mg/L)	上層	2	2	3	3	2	～	3	3
	下層	8	3	3	4	3	～	8	5
VSS (mg/L)	上層	<1	2	2	2	<1	～	2	2
	下層	1	1	2	2	1	～	2	2
COD (mg/L)	上層	3.3	3.4	3.8	4.2	3.3	～	4.2	3.7
	下層	2.7	2.4	3.6	3.5	2.4	～	3.6	3.1
DO (mg/L)	上層	6.9	7.1	6.9	7.0	6.9	～	7.1	7.0
	下層	0.6	1.8	6.3	2.4	0.6	～	6.3	2.8
全窒素 (mg/L)	上層	0.25	0.26	0.28	0.26	0.25	～	0.28	0.26
	下層	0.39	0.34	0.31	0.35	0.31	～	0.39	0.35
全リン (mg/L)	上層	0.034	0.036	0.039	0.038	0.034	～	0.039	0.037
	下層	0.079	0.058	0.040	0.048	0.040	～	0.079	0.056
クロロフィルa (μg/L)	上層	1.7	2.4	2.9	1.7	1.7	～	2.9	2.2
	下層	0.7	2.1	4.1	3.0	0.7	～	4.1	2.5

測定層は上層：海面下1m、下層：海底面上2m

平均値は、下限値未満の場合は下限値を用いて計算した。(全地点が下限値未満の場合を除く。)

表4-1-1-2 水質調査結果（健康項目等）

調査年月日：令和7年8月5日

項目\調査地点	単位	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4
カドミウム	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
全シアン	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
鉛	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
六価クロム	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
砒素	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
PCB	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
チウラム	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
シマジン	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
ベンゼン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
セレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
硝酸性窒素	mg/L	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
亜硝酸性窒素	mg/L	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
塩化ビニルモノマー(クロロエチレン)	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
フェノール類	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
銅	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
亜鉛	mg/L	0.002	0.002	0.001	0.002
溶解性鉄	mg/L	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08
溶解性マンガン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
全クロム	mg/L	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03
n-ヘキサン抽出物質	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5

表 4-1-1-3 現場機器測定結果

調査年月日: 令和7年8月5日

調査地点		St.1					
時刻		11:55					
水深(m)		11.9					
項目 層(m)	水温 (℃)	塩分 (-)	pH (-)	DO (mg/L)	DO (%)	濁度 (度(カサシ))	
0.5	29.5	29.1	8.3	6.9	107	1	
1.0	29.6	29.1	8.3	6.9	107	1	
2.0	29.5	29.1	8.3	6.9	107	1	
3.0	29.5	29.1	8.3	6.9	107	1	
4.0	29.4	29.1	8.3	6.8	106	1	
5.0	29.4	29.1	8.3	6.8	105	1	
6.0	29.4	29.1	8.3	6.7	104	1	
7.0	29.1	30.1	8.2	5.8	91	1	
8.0	26.6	31.9	7.9	2.8	42	3	
9.0	25.9	32.0	7.8	1.4	22	7	
10.0	-	-	-	-	-	-	
11.0	-	-	-	-	-	-	
12.0	-	-	-	-	-	-	
13.0	-	-	-	-	-	-	
14.0	-	-	-	-	-	-	
15.0	-	-	-	-	-	-	
B-2.0	25.6	32.1	7.7	0.6	9	13	
B-1.0	25.4	32.1	7.6	<0.5	4	18	
B-0.5	25.4	32.1	7.6	<0.5	4	19	

調査地点		St.2					
時刻		11:36					
水深(m)		13.1					
項目 層(m)	水温 (℃)	塩分 (-)	pH (-)	DO (mg/L)	DO (%)	濁度 (度(カサシ))	
0.5	29.9	29.3	8.3	7.1	111	1	
1.0	29.9	29.3	8.3	7.1	111	1	
2.0	29.6	29.4	8.3	6.9	108	1	
3.0	29.6	29.5	8.3	6.9	107	1	
4.0	29.6	29.6	8.3	6.8	107	1	
5.0	29.2	30.1	8.2	6.1	95	1	
6.0	29.0	30.3	8.2	5.7	89	1	
7.0	28.7	30.5	8.1	5.3	82	1	
8.0	27.4	31.5	8.0	3.4	52	2	
9.0	27.4	31.5	8.0	3.3	51	2	
10.0	27.4	31.5	7.9	3.3	50	3	
11.0	26.8	31.8	7.9	2.4	37	3	
12.0	-	-	-	-	-	-	
13.0	-	-	-	-	-	-	
14.0	-	-	-	-	-	-	
15.0	-	-	-	-	-	-	
B-2.0	26.3	31.9	7.8	1.8	27	4	
B-1.0	25.6	32.1	7.7	0.9	14	6	
B-0.5	25.6	32.1	7.7	0.9	14	7	

調査地点		St.3					
時刻		10:09					
水深(m)		8.5					
項目 層(m)	水温 (℃)	塩分 (-)	pH (-)	DO (mg/L)	DO (%)	濁度 (度(カサシ))	
0.5	29.6	29.0	8.3	6.9	107	1	
1.0	29.6	29.1	8.3	6.9	107	1	
2.0	29.5	29.0	8.3	6.9	107	1	
3.0	29.5	29.1	8.3	6.8	106	1	
4.0	29.4	29.0	8.3	6.8	106	1	
5.0	29.4	29.1	8.3	6.7	104	1	
6.0	29.5	29.4	8.3	6.4	100	1	
7.0	-	-	-	-	-	-	
8.0	-	-	-	-	-	-	
9.0	-	-	-	-	-	-	
10.0	-	-	-	-	-	-	
11.0	-	-	-	-	-	-	
12.0	-	-	-	-	-	-	
13.0	-	-	-	-	-	-	
14.0	-	-	-	-	-	-	
15.0	-	-	-	-	-	-	
B-2.0	29.6	29.6	8.3	6.3	98	2	
B-1.0	28.6	30.5	8.1	4.4	69	2	
B-0.5	27.8	31.3	8.0	4.1	63	2	

調査地点		St.4					
時刻		12:15					
水深(m)		11.2					
項目 層(m)	水温 (℃)	塩分 (-)	pH (-)	DO (mg/L)	DO (%)	濁度 (度(カサシ))	
0.5	30.0	29.2	8.3	6.9	109	1	
1.0	29.9	29.2	8.3	7.0	109	1	
2.0	29.9	29.3	8.3	7.0	109	1	
3.0	29.9	29.3	8.3	6.9	108	1	
4.0	29.9	29.4	8.3	6.5	102	2	
5.0	29.7	29.6	8.3	6.3	98	2	
6.0	29.1	30.3	8.1	4.8	75	2	
7.0	27.6	31.4	7.9	3.1	48	3	
8.0	27.3	31.5	7.9	3.1	47	2	
9.0	26.7	31.8	7.9	2.4	37	3	
10.0	-	-	-	-	-	-	
11.0	-	-	-	-	-	-	
12.0	-	-	-	-	-	-	
13.0	-	-	-	-	-	-	
14.0	-	-	-	-	-	-	
15.0	-	-	-	-	-	-	
B-2.0	26.5	31.8	7.9	2.4	36	3	
B-1.0	26.2	32.0	7.8	1.4	21	4	
B-0.5	25.9	32.0	7.7	1.0	16	7	

表 4-1-1-4 定点監視野帳

項目	単位	層	調査地点			
			St. 1	St. 2	St. 3	St. 4
調査日			8月5日	8月5日	8月5日	8月5日
調査開始時刻			11:55	11:36	10:09	12:15
天気・雲量			晴・3	晴・3	晴・3	晴・3
風向・風力			WSW・3	WSW・3	SW・3	WSW・3
風浪階級			3	2	2	2
気温	℃		31.5	31.6	31.1	31.7
水深	m		11.9	13.1	8.5	11.2
透明度	m		3.5	3.0	3.3	3.2
水色 (マンセル値)			dark yellowish green (10GY3/4)	dark yellowish green (10GY3/4)	dark yellowish green (10GY3/4)	dark yellowish green (10GY3/4)
赤潮の有無			無	無	無	無
油膜の有無			無	無	無	無
水温	℃	上	29.6	29.9	29.6	29.9
		下	25.6	26.3	29.6	26.5
透視度	cm	上	50<	50<	50<	50<
		下	50<	50<	50<	50<
流速	cm/sec	上	10.5	14.5	16.5	15.0
		下	8.3	21.5	18.3	17.1
流向	(°)	上	43	165	265	157
		下	194	345	284	345

注：測定層は、上層：海面下1m、下層：海底面上2m

表4-1-1-5 定点監視調査結果と環境基準との比較

調査年月日：令和7年8月5日

項目\地点番号		St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	環境基準値 ^{注)}
pH	上層	○	○	○	○	7.0以上8.3以下
	下層	○	○	○	○	
COD	上層	○	○	○	○	8mg/L以下
	下層	○	○	○	○	
DO	上層	○	○	○	○	2mg/L以上
	下層	×	×	○	○	
全窒素	上層	○	○	○	○	1mg/L以下
	下層	○	○	○	○	
全リン	上層	○	○	○	○	0.09mg/以下
	下層	○	○	○	○	

備考) ○：基準内 ×：基準外

注) 環境基準値は「生活環境の保全に関する環境基準」による。当調査海域はC類型、IV類型に該当。

表 4-1-1-6 定点監視調査結果と環境基準との比較

調査年月日：令和7年8月5日

項目\地点番号	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	環境基準値 ^{注1)}
カドミウム	○	○	○	○	0.003mg/L以下
全シアン	○	○	○	○	検出されないこと ^{注2)}
鉛	○	○	○	○	0.01mg/L以下
六価クロム	○	○	○	○	0.05mg/L以下
砒素	○	○	○	○	0.01mg/L以下
総水銀	○	○	○	○	0.0005mg/L以下
アルキル水銀	○	○	○	○	検出されないこと
PCB	○	○	○	○	検出されないこと
ジクロロメタン	○	○	○	○	0.02mg/L以下
四塩化炭素	○	○	○	○	0.002mg/L以下
1,2-ジクロロエタン	○	○	○	○	0.004mg/L以下
1,1-ジクロロエチレン	○	○	○	○	0.1mg/L以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	○	○	○	○	0.04mg/L以下
1,1,1-トリクロロエタン	○	○	○	○	1mg/L以下
1,1,2-トリクロロエタン	○	○	○	○	0.006mg/L以下
トリクロロエチレン	○	○	○	○	0.01mg/L以下
テトラクロロエチレン	○	○	○	○	0.01mg/L以下
1,3-ジクロロプロペン	○	○	○	○	0.002mg/L以下
チウラム	○	○	○	○	0.006mg/L以下
シマジン	○	○	○	○	0.003mg/L以下
チオベンカルブ	○	○	○	○	0.02mg/L以下
ベンゼン	○	○	○	○	0.01mg/L以下
セレン	○	○	○	○	0.01mg/L以下
硝酸性窒素	○	○	○	○	10mg/L以下
亜硝酸性窒素	○	○	○	○	
1,4-ジキサン	○	○	○	○	0.05mg/L以下
塩化ビニルモノマー(クロロエチレン)	○	○	○	○	0.002mg/L以下 ^{注3)}

備考) ○：基準内 ×：基準外

注1) 環境基準値は「人の健康の保護に関する環境基準」による。

注2) 「検出されないこと」とは、分析方法に掲げる方法により分析した場合において、その結果が当該方法の定量下限値を下回ることをいう。

注3) 塩化ビニルモノマーについては、要監視項目の指針値と比較した。

4-1-2 補助監視結果及び環境基準、監視基準との比較

水質調査結果（補助監視地点）を表4-1-2-1～表4-1-2-4、補助監視野帳を表4-1-2-5～表4-1-2-8に示す。また、環境基準との比較を表4-1-2-9、監視基準との比較を表4-1-2-10に示す。

なお、護岸開口部のSt. S-1とSt. S-2における濁度の監視基準は、バックグラウンドの最低値との差が上層は+3度（カオリン）未満、下層は+11度（カオリン）未満としている。

・ 8月5日

1) 調査地点の概況

特記事項なし。

2) 現場機器測定

濁度は、St. S-1、B-1、B-2の下層においてやや高い値がみられたが、護岸開口部で監視基準値を超える濁りはみられなかった。

pHは、全地点全層において環境基準を満たしていた。

DOは、St. B-1、B-2の下層において環境基準を満たしていなかった。

3) 採水分析項目

SSは、St. B-2、B-3の下層においてやや高い値がみられた。

VSSは、全地点全層において特に高い値はみられなかった。

・ 8月12日

1) 調査地点の概況

特記事項なし。

2) 現場機器測定

濁度は、St. S-1、B-2の下層においてやや高い値がみられたが、護岸開口部で監視基準値を超える濁りはみられなかった。

pHは、全地点全層において環境基準を満たしていた。

DOは、全地点全層において環境基準を満たしていた。

・ 8月20日

1) 調査地点の概況

特記事項はなし。

2) 現場機器測定

濁度は、St. B-1、B-2、B-3の下層においてやや高い値がみられたが、護岸開口部で監視基準値を超える濁りはみられなかった。

pHは、St. B-1、B-2、B-3の上層において環境基準を満たしていなかった。

DOは、St. S-2、B-1、B-2、B-3の下層において環境基準を満たしていなかった。

・ 8月27日

1) 調査地点の概況

特記事項はなし。

2) 現場機器測定

濁度は、St. B-1、B-2の下層において高い値が、St. S-1、S-2、B-3の下層においてやや高い値がみられたが、護岸開口部で監視基準値を超える濁りはみられなかった。

pHは、St. S-2の上層において環境基準を満たしていなかった。

DOは、St. S-1、S-2、B-1、B-2の下層において環境基準を満たしていなかった。

表 4-1-2-1 水質調査結果(補助監視地点)

調査年月日 : 令和7年8月5日

項目\地点番号		St. S-1	St. S-2	最小値	～	最大値	St. B-1	St. B-2	St. B-3	平均値	
調査時刻		09 : 47	09 : 30	-			09 : 02	09 : 13	09 : 22	-	
水温 (°C)	上層	29.5	29.6	29.5	～	29.6	29.4	29.4	29.6	29.5	
	下層	26.7	27.8	26.7	～	27.8	25.8	25.5	26.7	26.0	
塩分	上層	29.1	29.2	29.1	～	29.2	29.1	29.1	29.2	29.1	
	下層	31.8	31.3	31.3	～	31.8	32.1	32.1	31.9	32.0	
濁度 (カリン)	上層	1	1	1	～	1	1	1	1	1	
	下層	4	2	2	～	4	5	6	3	5	
pH	上層	8.3	8.3	8.3	～	8.3	8.3	8.3	8.3	-	
	下層	7.8	8.0	7.8	～	8.0	7.7	7.7	7.8	-	
SS(mg/L)	上層	3	3	3	～	3	3	3	3	3	
	下層	3	3	3	～	3	2	4	5	4	
VSS(mg/L)	上層	2	2	2	～	2	2	2	2	2	
	下層	2	2	2	～	2	1	1	2	1	
備考											

測定層は上層：海面下1m、下層：海底面上2m

表 4-1-2-2 水質調査結果(補助監視地点)

調査年月日 : 令和7年8月12日

項目\地点番号		St. S-1	St. S-2	最小値	～	最大値	St. B-1	St. B-2	St. B-3	平均値
調査時刻		13 : 39	13 : 31	—			13 : 04	13 : 14	13 : 23	—
水温 (°C)	上層	27.9	27.9	27.9	～	27.9	27.8	27.7	27.8	27.8
	下層	27.5	27.8	27.5	～	27.8	27.6	27.5	27.5	27.5
塩分	上層	31.7	31.6	31.6	～	31.7	31.8	31.8	31.7	31.8
	下層	31.8	31.6	31.6	～	31.8	31.8	31.8	31.8	31.8
濁度 (カサ)	上層	3	2	2	～	3	3	2	2	2
	下層	6	3	3	～	6	3	5	3	4
pH	上層	7.9	8.0	7.9	～	8.0	8.0	8.0	8.0	—
	下層	7.9	7.9	7.9	～	7.9	8.0	7.9	7.9	—
備 考										

測定層は上層：海面下1m、下層：海底面上2m

表 4-1-2-3 水質調査結果(補助監視地点)

調査年月日 : 令和7年8月20日

項目\地点番号		St. S-1	St. S-2	最小値	～	最大値	St. B-1	St. B-2	St. B-3	平均値
調査時刻		09 : 43	09 : 30	—			09 : 00	09 : 12	09 : 21	—
水温 (°C)	上層	30.0	30.4	30.0	～	30.4	30.2	30.3	30.3	30.3
	下層	26.8	26.8	26.8	～	26.8	26.4	26.4	26.7	26.5
塩分	上層	29.3	28.6	28.6	～	29.3	28.7	28.9	28.8	28.8
	下層	32.3	32.3	32.3	～	32.3	32.4	32.4	32.3	32.4
濁度 (カサ)	上層	1	1	1	～	1	1	1	1	1
	下層	3	2	2	～	3	5	5	5	5
pH	上層	8.3	8.3	8.3	～	8.3	8.4	8.4	8.4	—
	下層	7.8	7.7	7.7	～	7.8	7.7	7.7	7.7	—
備 考										

測定層は上層：海面下1m、下層：海底面上2m

表 4-1-2-4 水質調査結果(補助監視地点)

調査年月日 : 令和7年8月27日

項目\地点番号		St. S-1	St. S-2	最小値	～	最大値	St. B-1	St. B-2	St. B-3	平均値
調査時刻		09 : 38	09 : 27	—			09 : 00	09 : 09	09 : 19	—
水温 (°C)	上層	29.9	30.0	29.9	～	30.0	29.9	29.8	29.9	29.9
	下層	25.9	26.9	25.9	～	26.9	25.6	25.7	27.5	26.3
塩分	上層	29.5	29.3	29.3	～	29.5	29.5	29.7	29.4	29.5
	下層	32.8	32.2	32.2	～	32.8	32.9	32.8	31.6	32.4
濁度 (カサ)	上層	2	2	2	～	2	1	1	2	1
	下層	6	4	4	～	6	7	7	4	6
pH	上層	8.3	8.4	8.3	～	8.4	8.3	8.3	8.3	—
	下層	7.7	7.8	7.7	～	7.8	7.8	7.8	8.0	—
備 考										

測定層は上層：海面下1m、下層：海底面上2m

表 4-1-2-5 補助監視野帳

令和7年8月5日

調査地点	St. S-1	St. S-2	St. B-1	St. B-2	St. B-3	
調査開始時刻	09 : 47	09 : 30	09 : 02	09 : 13	09 : 22	
天気・雲量	晴・3	晴・3	晴・3	晴・3	晴・3	
風向・風力	SW・1	SW・2	SW・2	SW・2	SW・2	
風浪階級	1	1	2	2	1	
気温(℃)	33.0	31.6	30.2	30.5	31.9	
水深(m)	10.5	10.0	12.8	13.1	8.3	
透明度(m)	3.0	3.2	3.5	3.0	3.3	
水色	dark yellowish green	dark yellowish green	dark yellowish green	dark yellowish green	dark yellowish green	
(マンセル値)	10GY3/4	10GY3/4	10GY3/4	10GY3/4	10GY3/4	
赤潮の状態	無	無	無	無	無	
油膜の有無	無	無	無	無	無	
水温(℃)	上層	29.5	29.6	29.4	29.4	29.6
	下層	26.7	27.8	25.8	25.5	26.7
pH(-)	上層	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3
	下層	7.8	8.0	7.7	7.7	7.8
塩分(-)	上層	29.1	29.2	29.1	29.1	29.2
	下層	31.8	31.3	32.1	32.1	31.9
DO (mg/L)	上層	6.7	6.8	6.6	6.7	6.7
	下層	2.5	4.3	1.4	1.2	2.5
DO飽和度 (%)	上層	104	106	103	104	104
	下層	38	66	22	18	38
濁度 (度(カリン))	上層	1	1	1	1	1
	下層	4	2	5	6	3
濁度 (BGとの差)	上層	0	0	バックグラウンド(BG)値=		1
	下層	+1	-1	バックグラウンド(BG)値=		3

汚濁防止膜:開

測定層は、上層：海面下1m、下層：海底面上2m

濁度(バックグラウンド値との差)は、「各点各層濁度」-「各層バックグラウンド濁度の最小値」とし、下限値未満(<1)は「1」として計算した。

濁度の監視基準は、濁度(バックグラウンド値との差)が上層が3度(カリン)、下層が11度(カリン)未満

表 4-1-2-6 補助監視野帳

令和7年8月12日

調査地点		St. S-1	St. S-2	St. B-1	St. B-2	St. B-3
調査開始時刻		13 : 39	13 : 31	13 : 04	13 : 14	13 : 23
天気・雲量		晴 ・ 7	晴 ・ 7	晴 ・ 7	晴 ・ 7	晴 ・ 7
風向・風力		SW ・ 3	SW ・ 4	SSW ・ 4	SSW ・ 4	SW ・ 4
風浪階級		2	2	3	3	2
気温 (°C)		30.0	29.8	29.6	29.6	29.7
水深 (m)		10.4	10.3	13.0	13.1	8.0
透明度 (m)		2.5	2.5	2.4	2.4	3.0
水色		strong yellowish green	strong yellowish green	strong yellowish green	strong yellowish green	strong yellowish green
(マンセル値)		10GY4.5/7	10GY4.5/7	10GY4.5/7	10GY4.5/7	10GY4.5/7
赤潮の状態		無	無	無	無	無
油膜の有無		無	無	無	無	無
水温 (°C)	上層	27.9	27.9	27.8	27.7	27.8
	下層	27.5	27.8	27.6	27.5	27.5
pH (-)	上層	7.9	8.0	8.0	8.0	8.0
	下層	7.9	7.9	8.0	7.9	7.9
塩分 (-)	上層	31.7	31.6	31.8	31.8	31.7
	下層	31.8	31.6	31.8	31.8	31.8
DO (mg/L)	上層	5.6	6.2	6.1	6.1	5.7
	下層	5.3	5.7	5.8	5.7	5.2
DO飽和度 (%)	上層	86	95	93	94	88
	下層	81	88	89	87	80
濁度 (度(カリン))	上層	3	2	3	2	2
	下層	6	3	3	5	3
濁度 (BGとの差)	上層	+1	0	バックグラウンド (BG) 値=		2
	下層	+3	0	バックグラウンド (BG) 値=		3

汚濁防止膜：閉

測定層は、上層：海面下1m、下層：海底面上2m

濁度 (バックグラウンド値との差) は、「各点各層濁度」-「各層バックグラウンド濁度の最小値」とし、下限値未満 (<1) は「1」として計算した。

濁度の監視基準は、濁度 (バックグラウンド値との差) が上層が3度(カリン)未満、下層が11度(カリン)未満

表 4-1-2-7 補助監視野帳

令和7年8月20日

調査地点	St. S-1	St. S-2	St. B-1	St. B-2	St. B-3	
調査開始時刻	09 : 43	09 : 30	09 : 00	09 : 12	09 : 21	
天気・雲量	晴・3	晴・3	晴・3	晴・3	晴・3	
風向・風力	WNW・2	WNW・2	WNW・2	WNW・2	WNW・2	
風浪階級	1	1	1	1	1	
気温(°C)	29.6	30.0	29.1	29.8	29.7	
水深(m)	10.2	9.9	12.6	12.9	8.2	
透明度(m)	3.9	3.8	4.5	4.3	3.6	
水色	dark yellowish green	dark yellowish green	dark yellowish green	dark yellowish green	dark yellowish green	
(マンセル値)	10GY3/4	10GY3/4	10GY3/4	10GY3/4	10GY3/4	
赤潮の状態	無	無	無	無	無	
油膜の有無	無	無	無	無	無	
水温(°C)	上層	30.0	30.4	30.2	30.3	30.3
	下層	26.8	26.8	26.4	26.4	26.7
pH(-)	上層	8.3	8.3	8.4	8.4	8.4
	下層	7.8	7.7	7.7	7.7	7.7
塩分(-)	上層	29.3	28.6	28.7	28.9	28.8
	下層	32.3	32.3	32.4	32.4	32.3
DO (mg/L)	上層	6.7	5.5	7.4	7.3	7.2
	下層	2.1	1.7	0.9	1.0	1.6
DO飽和度 (%)	上層	105	86	116	115	113
	下層	33	26	14	16	25
濁度 (度(カリン))	上層	1	1	1	1	1
	下層	3	2	5	5	5
濁度 (BGとの差)	上層	0	0	バックグラウンド(BG)値=		1
	下層	-2	-3	バックグラウンド(BG)値=		5

汚濁防止膜:閉

測定層は、上層：海底面下1m、下層：海底面上2m

濁度（バックグラウンド値との差）は、「各点各層濁度」-「各層バックグラウンド濁度の最小値」とし、下限値未満（<1）は「1」として計算した。

濁度の監視基準は、濁度（バックグラウンド値との差）が上層が3度(カリン)未満、下層が11度(カリン)未満

表 4-1-2-8 補助監視野帳

令和7年8月27日

調査地点		St. S-1	St. S-2	St. B-1	St. B-2	St. B-3
調査開始時刻		09 : 38	09 : 27	09 : 00	09 : 09	09 : 19
天気・雲量		晴・6	晴・6	晴・7	晴・7	晴・6
風向・風力		SSW・2	SSW・2	SSW・3	SSW・3	SSW・2
風浪階級		2	2	2	2	1
気温(°C)		29.7	29.5	29.0	29.1	29.3
水深(m)		11.6	10.9	13.7	13.9	8.9
透明度(m)		3.1	3.0	2.9	3.2	2.7
水色		dark yellowish green	dark yellowish green	dark yellowish green	dark yellowish green	dark yellowish green
(マンセル値)		10GY3/4	10GY3/4	10GY3/4	10GY3/4	10GY3/4
赤潮の状態		無	無	無	無	無
油膜の有無		無	無	無	無	無
水温(°C)	上層	29.9	30.0	29.9	29.8	29.9
	下層	25.9	26.9	25.6	25.7	27.5
pH(-)	上層	8.3	8.4	8.3	8.3	8.3
	下層	7.7	7.8	7.8	7.8	8.0
塩分(-)	上層	29.5	29.3	29.5	29.7	29.4
	下層	32.8	32.2	32.9	32.8	31.6
DO (mg/L)	上層	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6
	下層	1.1	1.0	1.8	1.5	3.6
DO飽和度 (%)	上層	103	104	104	104	104
	下層	17	16	27	23	55
濁度 (度(カリン))	上層	2	2	1	1	2
	下層	6	4	7	7	4
濁度 (BGとの差)	上層	+1	+1	バックグラウンド(BG)値=		1
	下層	+2	0	バックグラウンド(BG)値=		4

汚濁防止膜：開

測定層は、上層：海面下1m、下層：海底面上2m

濁度（バックグラウンド値との差）は、「各点各層濁度」-「各層バックグラウンド濁度の最小値」とし、下限値未満（<1）は「1」として計算した。

濁度の監視基準は、濁度（バックグラウンド値との差）が上層が3度(カリン)未満、下層が11度(カリン)未満

表 4-1-2-9 補助監視調査結果の環境基準との比較

調査日	項目\地点番号		St. S-1	St. S-2	St. B-1	St. B-2	St. B-3
8月5日	pH	上層	○	○	○	○	○
		下層	○	○	○	○	○
	DO	上層	○	○	○	○	○
		下層	○	○	×	×	○
8月12日	pH	上層	○	○	○	○	○
		下層	○	○	○	○	○
	DO	上層	○	○	○	○	○
		下層	○	○	○	○	○
8月20日	pH	上層	○	○	×	×	×
		下層	○	○	○	○	○
	DO	上層	○	○	○	○	○
		下層	○	×	×	×	×
8月27日	pH	上層	○	×	○	○	○
		下層	○	○	○	○	○
	DO	上層	○	○	○	○	○
		下層	×	×	×	×	○

備考) ○ : 基準内 × 基準外

注) 環境基準値は「生活環境の保全に関する環境基準」による。当調査海域はC類型に該当。

pH : 7.0 以上 8.3 以下 DO : 2 mg/L 以上

表 4-1-2-10 補助監視点の濁度(バックグラウンド値との差)

調査日	項目\地点番号	St. S-1	評価	St. S-2	評価	バックグラウンド(BG)値
8月5日	上層	0	○	0	○	1
	下層	+1	○	-1	○	3
8月12日	上層	+1	○	0	○	2
	下層	+3	○	0	○	3
8月20日	上層	0	○	0	○	1
	下層	-2	○	-3	○	5
8月27日	上層	+1	○	+1	○	1
	下層	+2	○	0	○	4

備考) ○：基準内 ×基準外

注) 濁度の監視基準は、濁度(バックグラウンド値との差)が上層が3度(カオリン)未満、下層が11度(カオリン)未満

注) 濁度(バックグラウンド値との差)の計算は、「各点各層濁度」-「各層バックグラウンド濁度の最小値」とした。

4-1-3 大阪湾水質一斉調査結果及び環境基準との比較

大阪湾水質一斉調査結果を表4-1-3-1、環境基準との比較を表4-1-3-2に示す。調査は定点監視調査と同時に実施した。当調査海域の環境基準は、昭和46年環境庁告示第59号別表2「生活環境の保全に関する環境基準」の「2海域」における表アのC類型、表イのIV類型に該当する。

1) 調査地点の概況

特記事項はなし。

2) 採水分析項目

DOは、全地点全層において環境基準を満たしていた。

表4-1-3-1 大阪湾水質一斉調査結果

調査日	項目\地点番号	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4
8月5日	DO				
	濃度(mg/L)	2.7	2.4	6.4	2.1
	飽和度(%)	40	35	98	31

測定層は海底面上1m

分析方法は採水分析

表4-1-3-2 大阪湾水質一斉調査結果と環境基準との比較

調査日	項目\地点番号	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4
8月5日	DO	○	○	○	○

注) 環境基準値は「生活環境の保全に関する環境基準」による。

当調査海域はC類型に該当。

DO：2mg/L以上

4-2 底質調査結果

底質調査結果のうち、含有試験の結果を表4-2-1、溶出試験の結果を表4-2-2、底質調査野帳を表4-2-3に示す。

粒度組成の結果は、St. 1、3においては中砂分が高い土質で、St. 2、4においては粘土分が高い土質であった。

その他の項目では、特に高い値はみられなかった。

溶出試験の分析結果は、フッ化物以外の項目において報告下限値未満であり、フッ化物を含めて水底土砂の判定基準値未満であった。

表4-2-1 底質（含有試験）調査結果

調査年月日：令和7年8月6日

項目\地点番号		St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	最小値	～	最大値	平均値
調査時刻		10:20	11:23	9:10	12:24		—		—
粒度組成 (%)	粗礫分 (19~75mm)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	～	0.0	0.0
	中礫分 (4.75~19mm)	5.6	0.0	3.2	0.0	0.0	～	5.6	2.2
	細礫分 (2.00~4.75mm)	10.2	0.0	13.0	1.1	0.0	～	13.0	6.1
	粗砂分 (0.850~2.00mm)	13.2	0.5	16.3	0.4	0.4	～	16.3	7.6
	中砂分 (0.250~0.850mm)	23.6	1.9	38.1	2.0	1.9	～	38.1	16.4
	細砂分 (0.075~0.250mm)	19.1	4.1	14.5	4.1	4.1	～	19.1	10.5
	シルト分 (0.005~0.075mm)	13.7	37.2	4.2	27.3	4.2	～	37.2	20.6
	粘土分 (0.005mm以下)	14.6	56.3	10.7	65.1	10.7	～	65.1	36.7
COD (mg/g 乾泥)		6.5	30	6.7	32	6.5	～	32	19
全硫化物 (mg/g 乾泥)		0.07	0.21	0.04	0.39	0.04	～	0.39	0.18
全窒素 (mg/g 乾泥)		0.64	2.8	0.70	2.8	0.64	～	2.8	1.7
全リン (mg/g 乾泥)		0.22	0.48	0.22	0.52	0.22	～	0.52	0.36
強熱減量 (%)		2.4	9.0	2.4	9.8	2.4	～	9.8	5.9
含水率 (%)		21	53	20	57	20	～	57	38
pH		8.0	7.6	8.0	7.6	7.6	～	8.0	—
総水銀(mg/kg)		0.10	0.19	0.04	0.17	0.04	～	0.19	0.13
PCB(mg/kg)		<0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	～	0.01	0.01
有機塩素化合物(mg/kg)		<4	<4	<4	<4	<4	～	<4	<4
ノルマルヘキサン抽出物質(mg/g)		<0.5	0.8	<0.5	0.6	<0.5	～	0.8	0.6
酸化還元電位 (mV)		-90	-191	-102	-195	-195	～	-90	-145

注1) 酸化還元電位の値は、標準水素電極の値に換算したものである。

注2) 平均値は、下限値未満の場合は下限値を用いて計算した。(全地点が下限値未満の場合を除く。)

表4-2-2 底質（溶出試験）調査結果

調査年月日：令和7年8月6日

項目\地点番号	単位	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4
アルキル水銀化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
水銀又はその化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
カドミウム又はその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
鉛又はその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
有機りん化合物	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
六価クロム化合物	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
砒素又はその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
シアン化合物	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
PCB	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
銅又はその化合物	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
亜鉛又はその化合物	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
フッ化物	mg/L	1.1	1.1	1.1	1.1
トリクロロエチレン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
バリリウム又はその化合物	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
クロム又はその化合物	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
ニッケル又はその化合物	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
バナジウム又はその化合物	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
ジクロロメタン	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
四塩化炭素	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
チウラム	mg/L	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
シマジン	mg/L	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
チオベンカルブ	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
ベンゼン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
セレン又はその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05

表 4 - 2 - 3 底質調査野帳

調査年月日：令和7年8月6日

調 査 点	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4
調査開始時刻	10:20	11:23	9:10	12:24
天気・雲量	晴 ・ 4	晴 ・ 4	晴 ・ 4	晴 ・ 4
風向・風力	W ・ 1	W ・ 1	W ・ 1	W ・ 1
風浪階級	1	1	1	1
気温 (°C)	31.1	31.3	31.2	32.4
水深 (m)	11.5	13.6	8.4	11.1
臭 気	微硫化水素臭	中硫化水素臭	微硫化水素臭	中硫化水素臭
泥温 (°C)	26.2	24.2	26.7	24.6
性 状	泥(砂混)	泥	砂礫	泥
泥 色	olive black	dark olive gray	olive black	dark olive gray
	7.5Y3/1	2.5GY3/1	7.5Y3/1	2.5GY3/1
夾 雑 物	貝片	貝片	貝片	貝片
酸化還元電位 (mV)	-90	-191	-102	-195
特記事項				

4-3 水生生物調査結果

4-3-1 植物プランクトン調査結果

植物プランクトン調査結果の概要を表4-3-1-1、出現種一覧を表4-3-1-2、出現種ごとの細胞数を表4-3-1-3、水平分布を図4-3-1-1に示す。

上層の種類数は52~55種類の範囲にあり、St. 1で最も多かった。下層の種類数は48~56種類の範囲にあり、St. 3、4で最も多かった。上層・下層を合わせた総種類数は87種類であった。

上層の細胞数は616,000~1,148,600細胞/Lの範囲にあり、St. 4で最も多かった。全地点の平均細胞数は841,000細胞/Lであった。下層の細胞数は267,200~1,051,000細胞/Lの範囲にあり、St. 3で最も多かった。全地点の平均細胞数は588,650細胞/Lであった。

上層の沈殿量は0.16~0.24mL/Lの範囲にあった。下層の沈殿量は0.14~0.25mL/Lの範囲にあった。

主要種のうち最も多く出現したのは、上層、下層ともに全地点で珪藻綱のリゾソレニアフラギリシマであった。全地点平均の主要種は、珪藻綱のリゾソレニアフラギリシマであり、上層では56.3%、下層では50.7%を占めていた。

いずれの主要種も内湾から沿岸域で普通にみられる種類であった。

4-3-2 動物プランクトン調査結果

動物プランクトン調査結果の概要を表4-3-2-1、出現種一覧を表4-3-2-2、出現種ごとの個体数を表4-3-2-3、水平分布を図4-3-2-1に示す。

種類数は15~19種類の範囲にあり、St. 2、4で最も多かった。総種類数は26種類であった。

個体数は25,302~159,082個体/m³の範囲にあり、St. 2で最も多かった。全地点の平均個体数は117,011個体/m³であった。

沈殿量は3.0~9.3mL/m³の範囲にあり、St. 2で最も多かった。全地点の平均沈殿量は6.2mL/m³であった。

主要種のうち最も多く出現したのは、全地点で節足動物門のオイトナダビサエであった。全地点平均の主要種は節足動物門のオイトナダビサエ、オイトナ属であり、このうちオイトナダビサエが40.0%を占めていた。

いずれの主要種も内湾から沿岸域で普通にみられる種類であった。

4-3-3 底生生物調査結果

底生生物調査結果の概要を表4-3-3-1、出現種一覧を表4-3-3-2、個体数及び湿重量をそれぞれ表4-3-3-3、表4-3-3-4、水平分布を図4-3-3-1に示す。

種類数は0~41種類の範囲にあり、St. 3で最も多かった。総種類数は50種類であった。

個体数は0~470個体/0.1m²の範囲にあり、St. 3で最も多かった。全地点の平均個体数は218個体/0.1m²であった。

湿重量は0~21.68g/0.1m²の範囲にあり、St. 1で最も多かった。全地点の平均湿重量は9.22g/0.1m²であった。

個体数からみた主要種のうち最も多く出現したのは、St. 1では軟体動物門のホトトギスガイ、St. 3では環形動物門のミズヒキゴカイ、St. 4では紐形動物門であった。St. 2では底生生物は出現しなかった。全地点平均の主要種は、軟体動物門のホトトギスガイ、シズクガイ、環形動物門のミズヒキゴカイ、カタマガリギボシイソメであり、このうちホトトギスガイが17.5%を占めていた。

いずれの主要種も内湾から沿岸域で普通にみられる種類であった。

4-3-4 魚卵・稚仔魚調査結果

魚卵調査結果の概要を表4-3-4-1、出現種一覧を表4-3-4-2、出現種ごとの個数を表4-3-4-3、水平分布を図4-3-4-1に示す。

また、稚仔魚調査結果の概要を表4-3-4-4、出現種一覧を表4-3-4-5、出現種ごとの個体数を表4-3-4-6、水平分布を図4-3-4-2に示す。

4-3-4-1 魚卵

種類数は5~9種類の範囲にあり、総種類数は9種類であった。

個数は19,859~106,815個/1,000m³の範囲にあり、St. 1で最も多かった。全地点の平均個数は68,004個/1,000m³であった。

主要種のうち最も多く出現したのは、St. 1、2、4では単脂卵（卵径0.53~0.60mm）、St. 3ではカタクチイワシであった。全地点平均の主要種は単脂卵（卵径0.53~0.60mm）、カタクチイワシであり、このうち単脂卵（卵径0.53~0.60mm）が53.6%を占めていた。

種名が判明した卵は、内湾から沿岸域で普通にみられる種類であった。

4-3-4-2 稚仔魚

種類数は6~10種類の範囲にあり、総種類数は13種類であった。

個体数は111~279個体/1,000m³の範囲にあり、St. 4で最も多かった。全地点の平均個体数は202個体/1,000m³であった。

主要種のうち最も多く出現したのは、St. 1ではサッパ、St. 2、3、4ではナベカ属であった。全地点平均の主要種はナベカ属、不明ふ化仔魚、ハゼ科、サッパであり、このうちナベカ属が51.3%を占めていた。

いずれの主要種も内湾から沿岸域で普通にみられる種類であった。

4-3-5 付着生物調査結果

ベルトトランセクト法（目視観察）による付着生物出現種一覧を表4-3-5-1、付着生物（植物）の藻長測定結果を表4-3-5-2、調査測点断面模式を図4-3-5-1、主な付着生物の鉛直分布を図4-3-5-2に示す。

坪刈り法による付着生物（植物）調査結果の概要を表4-3-5-3、出現種一覧を表4-3-5-4、出現種ごとの湿重量を表4-3-5-5に示す。また、付着生物（動物）調査結果の概要を表4-3-5-6、出現種一覧を表4-3-5-7、出現種ごとの個体数及び湿重量をそれぞれ表4-3-5-8、表4-3-5-9に示す。

4-3-5-1 調査地点概要

調査地点は阪南港阪南2区内にある護岸に位置する。St. Aはコンクリートケーソンで、海底付近は砂泥が堆積していた。St. Bは捨て石式傾斜堤で上部は被覆石が積まれている。海底付近では砂泥が堆積していた。

4-3-5-2 ベルトトランセクト法（目視観察）

各観察枠で、被度が10%以上、または個体数が10個体以上の出現種について以下に示す。

① 植物

St. Aでは、被度が10%以上の出現種はなかった。

St. Bでは、水深0.5m付近にオキツノリが、水深2.5m付近にウスカワカニノテが、4.0mから5.0m付近にシキンノリが、水深3.5mから4.0m付近にヤハズグサが生育していた。

② 動物

St. Aでは、平均水面上1.0m付近にイワフジツボが、平均水面上0.5mから水深0.0m付近にタテジマイソギンチャクが、平均水面上0.5mから水深3.5m付近にカンザシゴカイ科が、水深1.0mから3.0m付近にフサコケムシが、水深1.0mから5.5m付近にクロメイタボヤが、水深4.0m付近にシロボヤが、水深0.5mから1.5m、3.5mから4.0m、5.0m付近にチギレイソギンチャクが生息していた。

また、水深6.5mから7.5m付近に泥巣が確認された。

St. Bでは、水深0.5m付近にカンザシゴカイ科が、水深1.5m付近にシロボヤが生息していた。

また、水深1.0mから4.0m、5.0mから5.5m付近に泥巣が確認された。

4-3-5-3 坪刈り法

① 植物

St. Aの各層の種類数は1～3種類、St. Bの各層の種類数は0～15種類の範囲にあり、St. Bの下層で最も多かった。総種類数は16種類であった。

St. Aの各層の湿重量は0.01～0.58g/0.09m²、St. Bの各層の湿重量は0.00～31.54g/0.09m²の範囲にあり、St. Bの中層で最も多かった。全地点全層の平均湿重量は7.93g/0.09m²であった。

湿重量からみた主要種のうち最も多く出現したのは、St. Aの上層、下層では緑藻植物門のシオグサ属、St. Aの中層では緑藻植物門のミル、St. Bの中層では紅藻植物門のムカデノリ、St. Bの下層では紅藻植物門のウスカワカニノテであった。St. Bの上層では植物は出現しなかった。全地点全層の平均の主要種は、紅藻植物門のムカデノリ、ウスカワカニノテであり、このうちムカデノリが59.7%を占めていた。

いずれの主要種も内湾から沿岸域で普通にみられる種類であった。

② 動物

St. Aの各層の種類数は34～54種類、St. Bの各層の種類数は15～44種類の範囲にあり、St. Aの下層で最も多かった。総種類数は98種類であった。

St. Aの各層の個体数は2,909～4,000個体/0.09m²、St. Bの各層の個体数は26～9,995個体/0.09m²の範囲にあり、St. Bの中層で最も多かった。全地点全層の平均個体数は4,035個体/0.09m²であった。

St. Aの各層の湿重量は、69.65～148.83g/0.09m²、St. Bの各層の湿重量は0.81～72.52g/0.09m²の範囲にあり、St. Aの下層で最も多かった。全地点全層の平均湿重量は71.14g/0.09m²であった。

個体数からみた主要種のうち最も多く出現したのは、St. Aの上層では環形動物門のヤッコカンザシ、St. Aの中層及び下層では環形動物門のエゾカサネカンザシ、St. Bの上層では節足動物門のマルエラワレカラ、St. Bの中層では環形動物門のエゾカサネカンザシ、St. Bの下層では軟体動物門のスズメノハマツボであった。全地点全層平均の主要種は、環形動物門のエゾカサネカンザシ、軟体動物門のホトトギスガイ、イワホリガイ科で、このうちエゾカサネカンザシが42.0%を占めていた。

湿重量からみた主要種のうち最も多く出現したのは、St. Aの上層では刺胞動物門のタテジマイソギンチャク、St. Aの中層では軟体動物門のイワホリガイ科、St. Aの下層では原索動物門のピウラ科、St. Bの上層では軟体動物門のウノアシ、St. Bの中層では軟体動物門のホトトギスガイ、St. Bの下層では軟体動物門のキクザル属であった。全地点全層平均の主要種は、軟体動物門のイワホリガイ科、触手動物門のフサコケムシ科、原索動物門のピウラ科で、このうちイワホリガイ科が13.5%を占めていた。

いずれの主要種も内湾から沿岸域で普通にみられる種類であった。

4-3-6 漁獲対象動植物調査結果

刺網調査結果の概要を表4-3-6-1、主要種を表4-3-6-2、種類ごとの個体数及び湿重量を表4-3-6-3、種類ごとの測定結果概要を表4-3-6-4、個体ごとの測定結果（一種類当たり上限約50個体）を表4-3-6-5に示す。また、底引網調査結果の概要を表4-3-6-6、主要種を表4-3-6-7、種類ごとの個体数及び湿重量を表4-3-6-8、種類ごとの測定結果概要を表4-3-6-9、個体ごとの測定結果（一種類当たり上限約50個体）を表4-3-6-10に示す。

4-3-6-1 刺網

種類数は魚類が12種類、甲殻類が3種類であり、総種類数は15種類であった。

個体数は1網当たり、魚類が288個体、甲殻類が4個体であり、総個体数は292個体であった。

湿重量は1網当たり、魚類が201,708.7g、甲殻類が247.8gであり、総湿重量は201,956.5gであった。

個体数からみた主要種のうち最も多く出現したのは、魚類ではアカエイ、甲殻類ではイシガニであった。

湿重量からみた主要種のうち最も多く出現したのは、魚類ではアカエイ、甲殻類ではタイワンガザミであった。

いずれの主要種も内湾から沿岸域で普通にみられる種類であった。

4-3-6-2 底引網

種類数は魚類が3種類、甲殻類が3種類、その他が4種類であり、総種類数は10種類であった。

個体数は1網当たり、魚類が3個体、甲殻類が23個体、その他が26個体であり、総個体数は52個体であった。

湿重量は1網当たり、魚類が929.6g、甲殻類が218.0g、その他が176.5gであり、総湿重量は1,324.1gであった。

個体数からみた主要種のうち最も多く出現したのは、魚類ではカタクチイワシ、キチヌ、ハタタテヌメリ、甲殻類ではテナガゴブシ、その他ではヒトデであった。

湿重量からみた主要種のうち最も多く出現したのは、魚類ではキチヌ、甲殻類ではテナガゴブシ、その他ではヒトデであった。

いずれの主要種も内湾から沿岸域で普通にみられる種類であった。

表4-3-1-1(1) 植物プランクトン調査結果概要(上層) [令和7年度夏季分]

調査年月日:令和7年8月5日

項目 \ 調査点	St.1	St.2	St.3	St.4	平均 (最小 ~ 最大)
種類数	55	54	53	52	74 (52 ~ 55)
細胞数	616,000	879,400	720,000	1,148,600	841,000 (616,000 ~ 1,148,600)
沈殿量 (mL)	0.16	0.17	0.22	0.24	0.20 (0.16 ~ 0.24)
主要種 細胞数 (カッコ内は組成比:%)	リゾソレニア フラキリスマ 305,000 (49.5) ギムノテニウム属 72,400 (11.8)	リゾソレニア フラキリスマ 512,000 (58.2)	リゾソレニア フラキリスマ 370,000 (51.4)	リゾソレニア フラキリスマ 706,600 (61.5)	リゾソレニア フラキリスマ 473,400 (56.3)

- 注: 1. 種類数の平均欄は総種類数を示す。
 2. 主要種は各調査点での上位5種(ただし組成比10%以上のもの)を示す。
 3. 細胞数、沈殿量は1L当たりの数値で示す。

表 4-3-1-1(2) 植物プランクトン調査結果概要(下層) [令和7年度夏季分]

調査年月日:令和 7年 8月 5日

項目 \ 調査点	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	平均 (最小 ~ 最大)
種類数	49	48	56	56	74 (48 ~ 56)
細胞数	267,200	405,000	1,051,000	631,400	588,650 (267,200 ~ 1,051,000)
沈殿量 (mL)	0.14	0.20	0.25	0.18	0.19 (0.14 ~ 0.25)
主要種 細胞数 (カッコ内は組成比:%)	リゾソレニア フラギリシマ 96,800 (36.2)	リゾソレニア フラギリシマ 137,000 (33.8)	リゾソレニア フラギリシマ 687,400 (65.4)	リゾソレニア フラギリシマ 272,600 (43.2)	リゾソレニア フラギリシマ 298,450 (50.7)

- 注: 1. 種類数の平均欄は総種類数を示す。
 2. 主要種は各調査点での上位5種(ただし組成比10%以上のもの)を示す。
 3. 細胞数、沈殿量は1L当たりの数値で示す。

表4-3-1-2(1) 植物プランクトン出現種一覧 [令和7年度夏季分]

番号	門	綱	目	科	学名	和名・読み方
1	藍色植物	藍藻	ネツノモ	ユレモ	Oscillatoriaceae	
2	クリプト植物	クリプト藻	クリプトモナス	-	CRYPTOMONADALES	クリプトモナス目
3	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	アロケントム	アロケントム	<i>Prorocentrum balticum</i>	
4					<i>Prorocentrum dentatum</i>	
5					<i>Prorocentrum mexicanum</i>	
6					<i>Prorocentrum micans</i>	
7					<i>Prorocentrum minimum</i>	
8					<i>Prorocentrum triestinum</i>	
9			ディノフィシス	ディノフィシス	<i>Dinophysis acuminata</i>	
10					<i>Oxyphysis oxytoxoides</i>	
11			キムノテニウム	キムノテニウム	<i>Amphidinium</i> sp.	
12					<i>Gymnodinium breve</i>	
13					<i>Gymnodinium</i> sp.	キムノテニウム属
14					<i>Gyrodinium</i> sp.	
15					<i>Torodinium teredo</i>	
16			アロケントム		<i>Pronoctiluca spinifera</i>	
17					GYMNODINIALES	キムノテニウム目
18			ペリテニウム	ピロファカス	<i>Pyrophacus horologium</i>	
19				ペリテニウム	<i>Heterocapsa</i> sp.	
20					<i>Oblea</i> sp.	
21					<i>Protoperidinium bipes</i>	
22					<i>Protoperidinium</i> sp.	
23			カキオテイネ		<i>Scrippsiella spinifera</i>	
24					<i>Scrippsiella</i> sp.	
25			コニオウカス		<i>Gonyaulax verior</i>	
26					<i>Gonyaulax</i> sp.	
27			ケラチウム		<i>Ceratium furca</i>	
28					<i>Ceratium fusus</i>	
29					<i>Ceratium lineatum</i>	
30			オキソトキス		<i>Oxytoxum</i> sp.	
31					PERIDINIALES	ペリテニウム目
32	黄色植物	黄金色藻	クロムリナ	アウロスフィエラ	<i>Meringosphaera</i> sp.	
33			ディクテイオカ	ディクテイオカ	<i>Dictyocha fibula</i>	
34			エブリア		<i>Ebria tripartita</i>	
35		珪藻	円心	クラシオテラ	<i>Cyclotella</i> sp.	
36					<i>Lauderia annulata</i>	
37					<i>Skeletonema costatum</i>	
38					<i>Thalassiosira</i> sp.	
39					Thalassiosiraceae	クラシオテラ科
40				メロシラ	<i>Leptocylindrus danicus</i>	
41					<i>Leptocylindrus mediterraneus</i>	
42					<i>Melosira varians</i>	
43				コスキノテイスカス	<i>Coccinodiscus</i> sp.	
44				リゾソレニア	<i>Dactyliosolen</i> sp.	
45					<i>Rhizosolenia fragilissima</i>	リゾソレニア フラギリシマ
46					<i>Rhizosolenia phuketensis</i>	
47					<i>Rhizosolenia setigera</i>	
48					<i>Rhizosolenia stouterfothii</i>	
49				ヒタノフイ	<i>Cerataulina dentata</i>	
50					<i>Cerataulina pelagica</i>	
51					<i>Eucampia zodiacus</i>	
52				キートケロス	<i>Bacteriastrium</i> sp.	
53					<i>Chaetoceros affine</i>	
54					<i>Chaetoceros breve</i>	
55					<i>Chaetoceros compressum</i>	キートケロス コンプレッサム
56					<i>Chaetoceros constrictum</i>	
57					<i>Chaetoceros costatum</i>	
58					<i>Chaetoceros curvisetum</i>	
59					<i>Chaetoceros danicum</i>	
60					<i>Chaetoceros diadema</i>	

注：1. 本業務は継続性の高いモニタリング業務であるため、分類体系や学名等が変更された種についても原則的に過年度に合わせた表記とした。

2. *Skeletonema costatum* は、近年8種に分類されることが明らかとなったため、複数種を含む可能性がある。

表4-3-1-2(2) 植物プランクトン出現種一覧 [令和7年度夏季分]

番号	門	綱	目	科	学名	調査年月日: 令和 7年 8月 5日 和名・読み方
61	黄色植物	珪藻	円心	キートケロス	<i>Chaetoceros didymum</i>	
62					<i>Chaetoceros distans</i>	
63					<i>Chaetoceros diversum</i>	
64					<i>Chaetoceros lauderi</i>	
65					<i>Chaetoceros lorenzianum</i>	
66					<i>Chaetoceros pseudocurvisetum</i>	
67					<i>Chaetoceros radicans</i>	
68					<i>Chaetoceros sociale</i>	
69					<i>Chaetoceros subtile</i>	
70					<i>Chaetoceros</i> sp.	
71				リトデスミウム	<i>Lithodesmium variabile</i>	
72			羽状	テイトマ	<i>Lioloma</i> sp.	
73					<i>Neodelphineis pelagica</i>	
74					<i>Thalassionema nitzschioides</i>	
75				ナガイキョウ	<i>Haslea</i> sp.	
76					<i>Navicula</i> sp.	
77					<i>Pleurosigma</i> sp.	
78				ニツチ	<i>Cylindrotheca closterium</i>	キリントロチカ クロステリウム
79					<i>Nitzschia pungens</i>	
80					<i>Nitzschia sigma</i>	
81					<i>Nitzschia</i> sp.	
82				-	PENNALES	羽状目
83		フイトノ藻	フイトノモナス	ガキョウリア	<i>Chattonella</i> sp.	
84					<i>Heterosigma akashiwo</i>	
85	ミドリムシ植物	ミドリムシ	-	-	EUGLENOPHYCEAE	ミドリムシ綱
86	緑色植物	アラシノ藻	-	-	PRASINOPHYCEAE	アラシノ藻綱
87	不明	-	-	-	unknown micro-flagellate	微細鞭毛藻類

注：本業務は継続性の高いモニタリング業務であるため、分類体系や学名等が変更された種についても原則的に過年度に合わせた表記とした。

表4-3-1-3(1) 植物プランクトン調査結果(細胞数) [令和7年度夏季分]

調査年月日: 令和7年8月5日

番号	学名	調査点 層		St. 1		St. 2		St. 3		St. 4		合計	
		上層	下層	上層	下層	上層	下層	上層	下層	上層	下層	上層	下層
1	Oscillatoriaceae*											200	200
2	CRYPTOMONADALES	25,800	5,000	5,800	12,800			16,200	28,000	11,200	14,600	59,000	119,400
3	<i>Proocentrum balticum</i>	2,200	600	1,200				2,400	1,800	800	1,200	6,600	10,200
4	<i>Proocentrum dentatum</i>			200								200	200
5	<i>Proocentrum mexicanum</i>										200		200
6	<i>Proocentrum micans</i>	3,400	2,200	800	2,800			5,000	7,400	1,800	3,200	11,000	26,600
7	<i>Proocentrum minus</i>	400	400	600				1,000	1,400	600	600	2,600	5,000
8	<i>Proocentrum triestinum</i>	600		400				200	600		400	1,200	2,200
9	<i>Dinophysis acuminata</i>	200							3,400	400	200	600	4,200
10	<i>Oxyphysis oxytoxoides</i>		2,200		800								3,000
11	<i>Amphidinium</i> sp.	600	200	600	800			400	600	1,400	800	3,000	5,400
12	<i>Gymnodinium breve</i>	2,800	600	5,800	400			5,600	7,400	4,800	2,600	19,000	30,000
13	<i>Gymnodinium</i> sp.	72,400	9,200	66,200	4,200			51,600	49,000	81,200	33,200	271,400	367,000
14	<i>Gyrodinium</i> sp.	4,200	2,200	2,800	4,200			2,800	4,600	4,200	3,400	14,000	28,400
15	<i>Torodinium teredo</i>	800			800							1,600	1,600
16	<i>Prorocentrum spinifera</i>	400									200		600
17	GYMNODINIALES	18,000	8,000	35,200	12,800			22,200	21,000	28,400	15,800	103,800	161,400
18	<i>Pyrophacus horologium</i>		200	200				1,000	200	200		1,400	400
19	<i>Heterocapsa</i> sp.	2,600		800				1,400	200	600	400	5,400	6,000
20	<i>Oblea</i> sp.	200		200								400	400
21	<i>Protoperidinium bipes</i>	1,000		800	600			800	1,000		800	2,600	5,000
22	<i>Protoperidinium</i> sp.	2,600	3,200	6,000	4,800			4,800	11,800	4,000	5,200	17,400	42,400
23	<i>Scrippsiella spinifera</i>	8,000		2,000	200			6,000	2,800	2,600	1,200	18,600	22,800
24	<i>Scrippsiella</i> sp.	4,000	600	2,000				1,600	200	1,200	1,600	8,800	11,200
25	<i>Gonyaulax vertor</i>										400		400
26	<i>Gonyaulax</i> sp.							400				400	400
27	<i>Ceratium furca</i>				400			200	600	600		800	1,000
28	<i>Ceratium fuscum</i>		200		200			400	200			400	600
29	<i>Ceratium lineatum</i>		200									200	200
30	<i>Oxytoxum</i> sp.									400	200	400	600
31	PERIDINIALES	20,800	5,200	17,400	3,800			42,000	16,000	17,600	11,000	97,800	133,800
32	<i>Meringosphaera</i> sp.										400		400
33	<i>Dictyocha fibula</i>			200								200	200
34	<i>Ebria tripartita</i>				200					200		200	400
35	<i>Cyclotella</i> sp.			200								200	200
36	<i>Lauderia annulata</i>				2,000								2,000
37	<i>Skeletonema costatum</i>	600	1,800	400	7,000			2,200	1,800	8,800	2,800	19,800	22,600
38	<i>Thalassiosira</i> sp.	4,800	12,600	11,200	10,800			4,200	5,800	4,200	11,400	24,400	65,000
39	Thalassiosiraceae	2,800	3,600	2,200	14,200			1,200	4,800	8,000	21,200	14,200	43,800
40	<i>Leptocylindrus danicus</i>	1,800	800	400	2,400			1,200	1,200	4,000		7,400	11,800
41	<i>Leptocylindrus mediterraneus</i>				1,200			800	200		1,400	800	2,800
42	<i>Melosira varians</i>		400										400
43	<i>Coscinodiscus</i> sp.	200	200					200	400			400	600
44	<i>Dactyliosolen</i> sp.	400		400				200	1,000		400	1,000	2,400
45	<i>Rhizosolenia fragilissima</i>	305,000	96,800	512,000	137,000			370,000	687,400	706,600	272,600	1,893,600	3,087,400
46	<i>Rhizosolenia phuketensis</i>	3,800	1,400	12,000	2,800			14,600	13,000	12,200	7,600	42,600	67,400
47	<i>Rhizosolenia setigera</i>	800	400	400	600			800	1,400	1,200	1,000	3,200	6,600
48	<i>Rhizosolenia stolterfothii</i>				200							200	200
49	<i>Cerataulina dentata</i>	600	200	400	200			800	1,400		1,200	1,800	4,800
50	<i>Cerataulina pelagica</i>	600		200				200	1,600	1,400	1,600	2,400	5,600
51	<i>Eucampia zodiacus</i>		2,600										2,600
52	<i>Bacteriastrium</i> sp.	10,400	3,600	4,600	15,800			5,600	3,200	9,400	15,800	30,000	68,400
53	<i>Chaetoceros affine</i>	800						800			600	1,600	2,200
54	<i>Chaetoceros breve</i>									600		600	600
55	<i>Chaetoceros compressum</i>	3,000	20,400	24,800	27,600			20,200	20,400	34,200	31,800	82,200	182,400
56	<i>Chaetoceros constrictum</i>	1,400	1,000		400			7,000	800	1,800	1,400	10,200	13,800
57	<i>Chaetoceros costatum</i>	2,000	5,600	8,200	5,400			10,000	16,000	8,400	3,600	28,600	59,200
58	<i>Chaetoceros curvisetum</i>		7,000	1,200	12,600				2,200	1,600	4,000	2,800	28,600
59	<i>Chaetoceros danicum</i>		200		2,200						200	200	2,800
60	<i>Chaetoceros diadema</i>			600						2,200		2,800	2,800

注：1. 細胞数は1L当たりの数値で示す。ただし、調査点合計の平均欄は上層・下層は4L、全層は8L当たりの数値で示す。

2. 表中の「*」を付した種類の単位は糸状体/Lである。
3. *Skeletonema costatum*は、近年8種に分類されることが明らかとなったため、複数種を含む可能性がある。

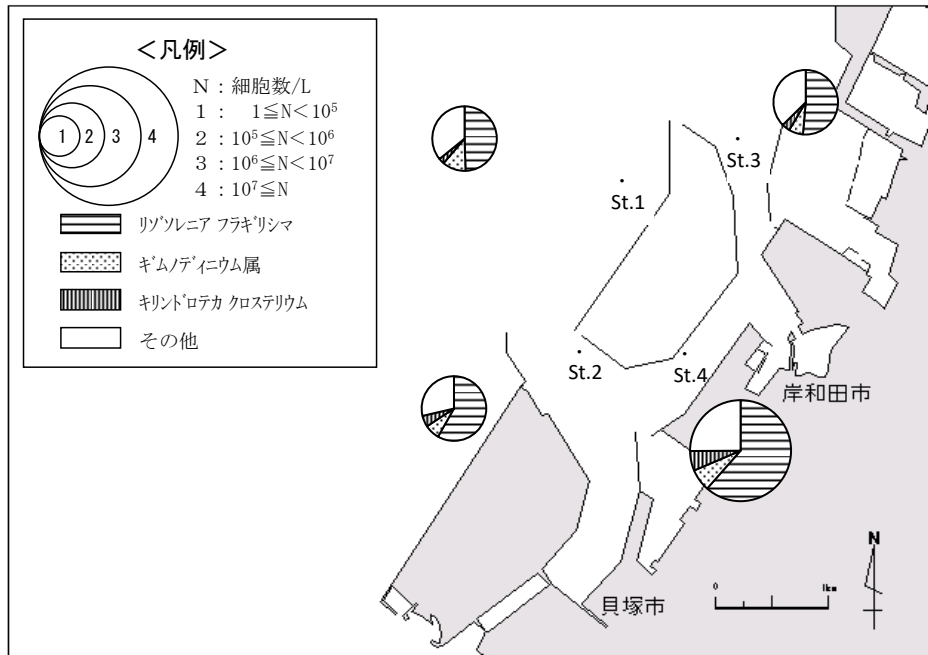
表4-3-1-3(2) 植物プランクトン調査結果(細胞数) [令和7年度夏季分]

調査年月日:令和7年8月5日

番号	学名	調査点		St.1		St.2		St.3		St.4		合計		
		層	層	上層	下層	上層	下層	上層	下層	上層	下層	上層	下層	全層
61	<i>Chaetoceros didymum</i>			9,400	4,600	18,400	12,200	10,200	17,000	19,600	17,800	57,600	51,600	109,200
62	<i>Chaetoceros distans</i>			6,400	1,800	15,400	8,000	6,400	4,600	5,400	9,200	33,600	23,600	57,200
63	<i>Chaetoceros diversum</i>									800		800		800
64	<i>Chaetoceros lauderi</i>			3,000	600	1,800	4,200	2,400	6,400	6,000	3,000	13,200	14,200	27,400
65	<i>Chaetoceros lorenzianum</i>			1,800	4,200	2,000	11,000	2,200	2,400	1,800	9,200	7,800	26,800	34,600
66	<i>Chaetoceros pseudocurvisetum</i>										3,400		3,400	3,400
67	<i>Chaetoceros sodicans</i>			6,800	2,000							6,800	2,000	8,800
68	<i>Chaetoceros sociale</i>							2,200	800			2,200	800	3,000
69	<i>Chaetoceros subtile</i>					400						400		400
70	<i>Chaetoceros sp.</i>			13,200	11,400	13,800	9,000	10,200	18,600	26,800	16,400	64,000	55,400	119,400
71	<i>Lithodesmium variable</i>						200							200
72	<i>Lioloma sp.</i>			800		600		1,800	1,000	400	600	3,600	1,600	5,200
73	<i>Neodelphineis pelagica</i>				2,000		6,600	7,000	5,200		2,800	7,000	16,600	23,600
74	<i>Thalassionema nitzschioides</i>			3,200	5,000	5,600	6,800	7,600	2,800	4,400	6,000	20,800	20,600	41,400
75	<i>Haslea sp.</i>			200				200				400		400
76	<i>Navicula sp.</i>			600	1,400	400	1,000	400	600		1,400	1,400	4,400	5,800
77	<i>Pleurosigma sp.</i>			400	600	1,000			1,200	200	400	1,600	2,200	3,800
78	<i>Cylindrotheca closterium</i>			17,800	17,400	49,200	27,000	29,200	39,400	72,400	42,000	168,600	125,800	294,400
79	<i>Nitzschia pungens</i>			2,200		1,800	800		800	1,800	3,800	5,800	5,400	11,200
80	<i>Nitzschia sigma</i>						200						200	200
81	<i>Nitzschia sp.</i>			7,800	11,600	9,800	15,400	14,200	7,400	14,000	12,800	45,800	47,200	93,000
82	PENNALES			1,000	4,000	400	6,600	1,400	1,400	1,400	6,400	4,200	18,400	22,600
83	<i>Chattonella sp.</i>										200		200	200
84	<i>Heterosigma akashiwo</i>			200				600	1,800			800	1,800	2,600
85	EUGLENOPHYCEAE			200	200				400	400		600	600	1,200
86	PRASINOPHYCEAE			8,600	400	11,600	400	7,400	3,200	8,800	3,200	36,400	7,200	43,600
87	unknown micro-flagellate			22,400	1,200	17,800	4,200	12,800	14,800	24,000	11,000	77,000	31,200	108,200
	種類数			55	49	54	48	53	56	52	56	74	74	87
	合計			616,000	267,200	879,400	405,000	720,000	1,051,000	1,148,600	631,400	3,364,000	2,354,600	5,718,600

注:細胞数は1L当たりの数値で示す。ただし、調査点合計の平均欄は上層・下層は4L、全層は8L当たりの数値で示す。

【上層】



【下層】

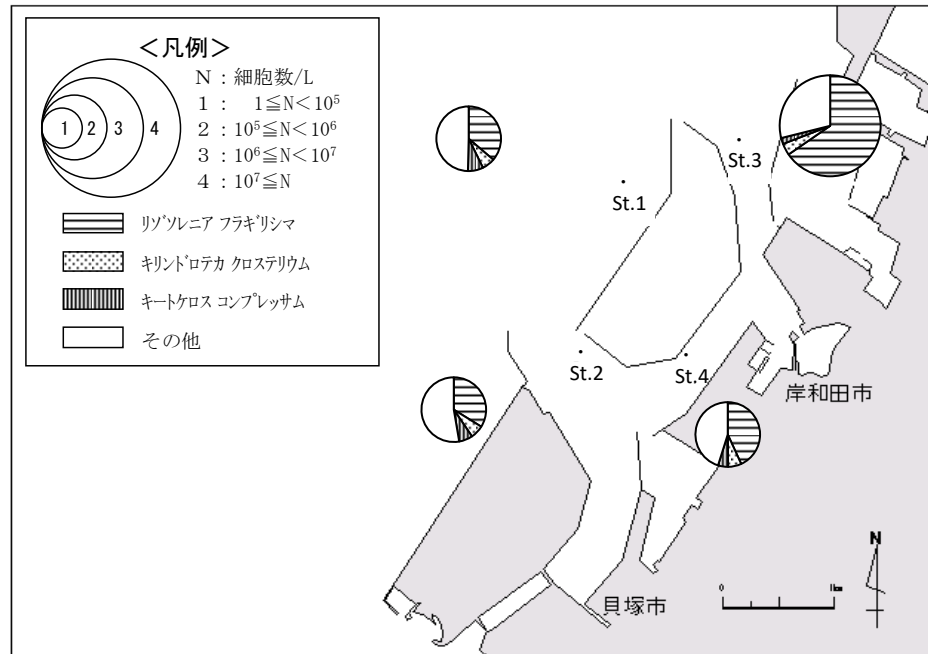


図4-3-1-1 植物プランクトンの水平分布 [令和7年度夏季分]

表 4-3-2-1 動物プランクトン調査結果概要 [令和 7 年度夏季分]

調査年月日：令和 7 年 8 月 5 日

項目 \ 調査点	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	平均 (最小 ~ 最大)
種類数	15	19	18	19	26 (15 ~ 19)
個体数	25,302	159,082	126,000	157,659	117,011 (25,302 ~ 159,082)
沈殿量 (mL)	3.0	9.3	5.6	7.0	6.2 (3.0 ~ 9.3)
主要種 個体数 (カッコ内は組成比：%)	オイトナダビサエ 7,256 (28.7)	オイトナダビサエ 53,333 (33.5)	オイトナダビサエ 46,667 (37.0)	オイトナダビサエ 80,000 (50.7)	オイトナダビサエ 46,814 (40.0)
	オイトナ属 6,140 (24.3)	オイトナ属 51,667 (32.5)	オイトナ属 31,667 (25.1)	オイトナ属 28,293 (17.9)	オイトナ属 29,442 (25.2)
	エハトネテルゲスチナ 3,163 (12.5)				

注：1. 種類数の平均欄は総種類数を示す。
 2. 主要種は各調査点での上位 5 種(ただし組成比 10%以上のもの)を示す。
 3. 個体数、沈殿量は 1 m³当たりの数値で示す。

表4-3-2-2 動物プランクトン出現種一覧 [令和7年度夏季分]

調査年月日：令和7年8月5日

番号	門	綱	目	科	学名	和名・読み方
1	肉質鞭毛虫	-	-	-	SARCODINA	肉質虫亜門
2	繊毛虫	多膜	少毛	スナカラムシ	<i>Fintinnopsis radix</i>	
3				ファウ`エラ	<i>Favella ehrenbergii</i>	
4	袋形動物	ワムシ	ツボ`ワムシ	ツボ`ワムシ	<i>Brachionus plicatilis</i>	
5	軟体動物	ニマイカ`イ	-	-	umbo larva of BIVALVIA	ニマイカ`イ綱の殻頂期幼生
6	環形動物	ゴ`カイ	-	-	nectochaeta of POLYCHAETA	ゴ`カイ綱のネトキーク幼生
7	節足動物	甲殻	ミジ`シコ	シタ`ミジ`シコ	<i>Penilia avirostris</i>	
8				オオミジ`シコ	<i>Evadne tergestina</i>	エバト`ネ テルゲ`スチーナ
9			カイ`シ	パ`ラカラヌス	<i>Paracalanus crassirostris</i>	
10					<i>Paracalanus parvus</i>	
11					<i>Paracalanus sp.</i>	パ`ラカラヌス属
12				テモラ	<i>Temora sp.</i>	テモラ属
13				アカルティア	<i>Acartia sinjiensis</i>	
14					<i>Acartia sp.</i>	アカルティア属
15				オイトナ	<i>Oithona davisae</i>	オイトナ タ`ヒ`サエ
16					<i>Oithona sp.</i>	オイトナ属
17				コリケウス	<i>Corycaeus sp.</i>	コリケウス属
18				エクティノソマ	<i>Microsetella norvegica</i>	
19				-	nauplius of COPEPODA	カイ`シ目のノ`ブ`リス幼生
20			フジ`ツボ`	-	nauplius of CIRRIPIEDIA	フジ`ツボ` 亜目のノ`ブ`リス幼生
21				-	cypris of CIRRIPIEDIA	フジ`ツボ` 亜目のキブ`リス幼生
22			エビ`	-	zoaea of DECAPODA	エビ` 目のノ`エア幼生
23	毛顎動物	ヤムシ	ヤムシ	サシ`ツタ	<i>Sagitta crassa</i>	
24	原索動物	オタマホ`キ	オタマホ`キ	オイコブ`レウラ	<i>Oikopleura sp.</i>	オイコブ`レウラ属
25				フリチリア	<i>Appendicularia sicula</i>	
26					<i>Fritillaria sp.</i>	フリチリア属

注：本業務は継続性の高いモニタリング業務であるため、分類体系や学名等が変更された種についても原則的に過年度に合わせた表記とした。

表4-3-2-3 動物プランクトン調査結果(個体数) [令和7年度夏季分]

調査年月日：令和7年8月5日

番号	学名	調査点	St.1	St.2	St.3	St.4	合計
1	SARCODINA		186		1,667	3,902	5,755
2	<i>Tintinnopsis radix</i>					976	976
3	<i>Favella ehrenbergii</i>		372	1,667	2,500	1,951	6,490
4	<i>Brachionus plicatilis</i>		186			976	1,162
5	umbo larva of BIVALVIA		1,302	3,333	11,667	11,707	28,009
6	nectochaeta of POLYCHAETA		2,233	15,000	3,333	7,805	28,371
7	<i>Penilia avirostris</i>		651	2,917	1,833	2,146	7,547
8	<i>Evadne tergestina</i>		3,163	833	2,833	5,463	12,292
9	<i>Paracalanus crassirostris</i>					98	98
10	<i>Paracalanus parvus</i>			83		98	181
11	<i>Paracalanus</i> sp.		1,023	2,333		3,610	6,966
12	<i>Temora</i> sp.				167		167
13	<i>Acartia sinjiensis</i>				250	195	445
14	<i>Acartia</i> sp.		930	1,167	3,000	293	5,390
15	<i>Oithona davisae</i>		7,256	53,333	46,667	80,000	187,256
16	<i>Oithona</i> sp.		6,140	51,667	31,667	28,293	117,767
17	<i>Corycaeus</i> sp.		186	1,333	5,833	98	7,450
18	<i>Microsetella norvegica</i>		651	2,667	1,083	1,561	5,962
19	nauplius of COPEPODA		558	10,833	7,000	6,341	24,732
20	nauplius of CIRRIPEIDIA			83			83
21	cypris of CIRRIPEIDIA			83			83
22	zoea of DECAPODA				250		250
23	<i>Sagitta crassa</i>			83			83
24	<i>Oikopleura</i> sp.		465	1,500	3,833	2,146	7,944
25	<i>Appendicularia sicula</i>			10,000	1,417		11,417
26	<i>Fritillaria</i> sp.			167	1,000		1,167
	種類数		15	19	18	19	26
	合計		25,302	159,082	126,000	157,659	468,043
参考	<i>Noctiluca scintillans</i>						0

注：個体数は1m³当たりの数値で示す。ただし、調査点合計の平均欄は4m³当たりの数値で示す。

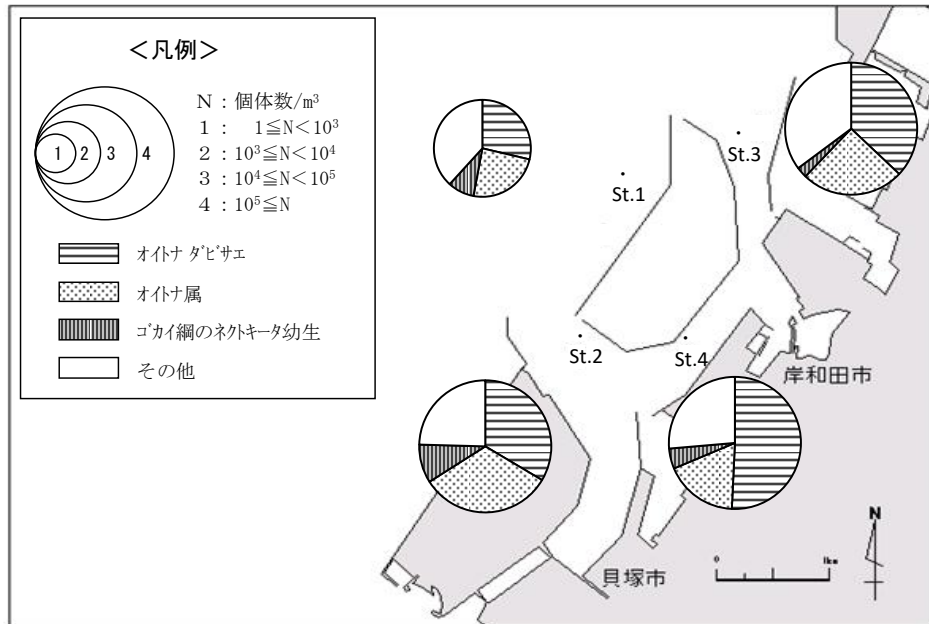


図 4-3-2-1 動物プランクトンの水平分布 [令和7年度夏季分]

表 4-3-3-1 底生生物調査結果概要 [令和7年度夏季分]

調査年月日：令和7年8月6日

項目 \ 調査点	St.1	St.2	St.3	St.4	平均 (最小 ~ 最大)	
種類数	軟体動物門	8		15	18 (0 ~ 15)	
	環形動物門	14		18	22 (0 ~ 18)	
	節足動物門	1		2	3 (0 ~ 2)	
	その他	5		6	7 (0 ~ 6)	
	合計	28	0	41	1	50 (0 ~ 41)
個体数	軟体動物門	260		175	109 (0 ~ 260)	
	環形動物門	130		269	100 (0 ~ 269)	
	節足動物門	1		10	3 (0 ~ 10)	
	その他	11		16	7 (0 ~ 16)	
	合計	402	0	470	1	218 (0 ~ 470)
組成比数 (%)	軟体動物門	64.7		37.2	49.8 (0.0 ~ 64.7)	
	環形動物門	32.3		57.2	45.7 (0.0 ~ 57.2)	
	節足動物門	0.2		2.1	1.3 (0.0 ~ 2.1)	
	その他	2.7		3.4	100.0 (0.0 ~ 100.0)	
湿重量 (g)	軟体動物門	16.89		9.23	6.53 (0.00 ~ 16.89)	
	環形動物門	1.41		5.12	1.63 (0.00 ~ 5.12)	
	節足動物門	0.01		0.34	0.09 (0.00 ~ 0.34)	
	その他	3.37		0.49	+ (0.00 ~ 3.37)	
	合計	21.68	0.00	15.18	+ (0.00 ~ 21.68)	
主要種 個体数 (カッコ内は組成比：%)	ホトギスカイ	85 (21.1)	出現種なし	ミスヒキコカイ 120 (25.5)	紐形動物門 1 (100.0)	ホトギスカイ 38 (17.5)
	シズクカイ	84 (20.9)		ホトギスカイ 68 (14.5)		シズクカイ 38 (17.3)
	フヨハナカイ	76 (18.9)		シズクカイ 67 (14.3)		ミスヒキコカイ 31 (14.2)
	カタマカリキホシイソメ	60 (14.9)				カタマカリキホシイソメ 22 (10.2)

- 注：1. 種類数の平均欄は総種類数を示す。
 2. 主要種は各調査点での上位5種(ただし組成比10%以上のもの)を示す。
 3. 個体数及び湿重量(g)は0.1m²当たりの数値で示す。
 4. 湿重量の「+」は0.01g未満を示す。

表 4-3-3-2 底生生物出現種一覧 [令和7年度夏季分]

調査年月日：令和7年8月6日

番号	門	綱	目	科	学名	和名・読み方			
1	刺胞動物	花虫	イソキンチャク	-	ACTINIARIA	イソキンチャク目			
2	紐形動物	-	-	-	NEMERTINEA	紐形動物門			
3	軟体動物	マキガイ	ニナ	リソソホ	Rissonidae	リソソホ科			
4				カリハカサカイ	<i>Crepidula onyx</i>	シマノウツガイ			
5			クチキレガイ	トウカタカイ		<i>Tiberia pulchella</i>	クチキレガイ		
6						Pyramidellidae	トウカタカイ科		
7			ニマカイ	イカイ	イカイ		<i>Musculista senhousia</i>	ホトキスカイ	
8							<i>Musculus</i> sp.	タマエガイ属	
9		ハマクリ		ツカイ		<i>Anodontia</i> sp.			
10						<i>Pillucina pisidium</i>	ウメノハナカイ		
11					アソブクヤトリカイ	Montacutidae	アソブクヤトリカイ科		
12					サールカイ	<i>Fulvia mutica</i>	トリカイ		
13						<i>Fulvia</i> sp.			
14					バカカイ	<i>Raetallops pulchellus</i>	チヨノハナカイ		
15					ニッコウカイ	<i>Nitidotellina</i> sp.	サクラカイ属		
16					アサンカイ	<i>Theora fragilis</i>	シズクカイ		
17					マルスタレカイ	<i>Paphia lischkei</i>	スタレカイ		
18						<i>Paphia undulata</i>	イオスタレカイ		
19						<i>Veremolpa micra</i>	ヒメカノアサリ		
20					オノカイ	キヌマトイカイ	<i>Hiatella orientalis</i>	キヌマトイカイ	
21		環形動物	ゴカイ	サシハゴカイ	ウロコムシ	<i>Harmothoe</i> sp.			
22						Phyllodocidae	サシハゴカイ科		
23					オトヒメゴカイ	<i>Ophiodromus</i> sp.			
24					カキゴカイ	<i>Sigambra tentaculata</i>			
25					ゴカイ	<i>Nectoneanthes latipoda</i>			
26					チロリ	<i>Glycera</i> sp.			
27					ニカイチロリ	<i>Glycinde</i> sp.			
28					Paralacydoniidae	<i>Paralacydonia paradoxa</i>			
29					イソメ	キホシイソメ	<i>Scoletoma longifolia</i>	カタマカリキホシイソメ	
30	スピオ							<i>Aonides oxycephala</i>	ケンサキスピオ
31								<i>Paraprionospio</i> sp. (A型)	
32								<i>Polydora</i> sp.	
33				<i>Prionospio sexoculata</i>			アタエラスピオ		
34	モロテゴカイ		モロテゴカイ	<i>Magelona japonica</i>	モロテゴカイ				
35	ミスヒキゴカイ					<i>Chaetozone</i> sp.			
36						<i>Cirriiformia tentaculata</i>	ミスヒキゴカイ		
37						Cirratulidae	ミスヒキゴカイ科		
38						Trochochaetidae	<i>Poecilochaetus</i> sp.		
39	チマキゴカイ		チマキゴカイ	<i>Owenia fusiformis</i>	チマキゴカイ				
40	アサゴカイ		ウミイサコムシ	<i>Lagis bocki</i>	ウミイサコムシ				
41			アサゴカイ	<i>Loimia</i> sp.					
42			ケヤリムシ	<i>Chone</i> sp.					
43	節足動物	甲殻	エビ	コブシカニ	Leucosiidae	コブシカニ科			
44					クモカニ	<i>Pyromaia tuberculata</i>	イッコククモカニ		
45					カクレカニ	<i>Pinnixa</i> sp.	マメカニ属		
46	触手動物	ホウキムシ	ホウキムシ	<i>Phoronis</i> sp.					
47		腕足	シャミセンカイ	<i>Lingula</i> sp.					
48	棘皮動物	クモヒトデ		スナクモヒトデ	<i>Ophiophragmus japonicus</i>	カキクモヒトデ			
49					クモヒトデ	<i>Ophiura kinbergi</i>	クシノハクモヒトデ		
50			ウニ	アソブク	ヒラタアソブク	<i>Echinocardium cordatum</i>	オカメアソブク		

注：本業務は継続性の高いモニタリング業務であるため、分類体系や学名等が変更された種についても原則的に過年度に合わせた表記とした。

表 4-3-3-3 底生生物調査結果(個体数) [令和7年度夏季分]

調査年月日：令和7年8月6日

番号	学名	調査点	St.1	St.2	St.3	St.4	合計
1	ACTINIARIA		3		2		5
2	NEMERTINEA		3		4	1	8
3	Rissonidae				1		1
4	<i>Crepidula onyx</i>				4		4
5	<i>Tiberia pulchella</i>				1		1
6	Pyramidellidae				1		1
7	<i>Musculista senhousia</i>		85		68		153
8	<i>Musculus</i> sp.				1		1
9	<i>Anodontia</i> sp.		1				1
10	<i>Pillucina pisidium</i>		2		16		18
11	Montacutidae				1		1
12	<i>Fulvia mutica</i>		1				1
13	<i>Fulvia</i> sp.				1		1
14	<i>Raetallops pulchellus</i>		76		8		84
15	<i>Nitidotellina</i> sp.				2		2
16	<i>Theora fragilis</i>		84		67		151
17	<i>Paphia lischkei</i>				1		1
18	<i>Paphia undulata</i>		2				2
19	<i>Veremolpa micra</i>		9		2		11
20	<i>Hiatella orientalis</i>				1		1
21	<i>Harmothoe</i> sp.				1		1
22	Phyllodocidae				1		1
23	<i>Ophiodromus</i> sp.				1		1
24	<i>Sigambra tentaculata</i>		18		3		21
25	<i>Nectoneanthes latipoda</i>		2		1		3
26	<i>Glycera</i> sp.		2		18		20
27	<i>Glycinde</i> sp.		17		15		32
28	<i>Paralacydonia paradoxa</i>		2		2		4
29	<i>Scoletoma longifolia</i>		60		29		89
30	<i>Aonides oxycephala</i>				16		16
31	<i>Paraprionospio</i> sp. (A型)		6		2		8
32	<i>Polydora</i> sp.				4		4
33	<i>Prionospio sexoculata</i>				1		1
34	<i>Magelona japonica</i>		2				2
35	<i>Chaetozone</i> sp.		2				2
36	<i>Cirriformia tentaculata</i>		4		120		124
37	Cirratulidae		12		2		14
38	<i>Poecilochaetus</i> sp.		1				1
39	<i>Owenia fusiformis</i>				3		3
40	<i>Lagis bocki</i>		1		7		8
41	<i>Loimia</i> sp.		1				1
42	<i>Chone</i> sp.				43		43
43	Leucosiidae		1				1
44	<i>Pyromaia tuberculata</i>				1		1
45	<i>Pinnixa</i> sp.				9		9
46	<i>Phoronis</i> sp.				3		3
47	<i>Lingula</i> sp.				3		3
48	<i>Ophiophragmus japonicus</i>		3		2		5
49	<i>Ophiura kinbergi</i>		1		2		3
50	<i>Echinocardium cordatum</i>		1				1
	種類数		28	0	41	1	50
	合計		402	0	470	1	873

注：個体数は0.1m²当たりの数値で示す。ただし、調査点合計の平均欄は0.4m²当たりの数値で示す。

表4-3-3-4 底生生物調査結果(湿重量) [令和7年度夏季分]

調査年月日：令和7年8月6日

番号	学名	調査点	St.1	St.2	St.3	St.4	合計
1	ACTINIARIA		0.15		0.23		0.38
2	NEMERTINEA		0.07		0.03	+	0.10
3	Rissonidae				+		+
4	<i>Crepidula onyx</i>				0.02		0.02
5	<i>Tiberia pulchella</i>				0.01		0.01
6	Pyramidellidae				+		+
7	<i>Musculista senhousia</i>		8.86		5.34		14.20
8	<i>Musculus</i> sp.				+		+
9	<i>Anodontia</i> sp.		+				+
10	<i>Pillucina pisidium</i>		0.01		0.05		0.06
11	Montacutidae				+		+
12	<i>Fulvia mutica</i>		1.04				1.04
13	<i>Fulvia</i> sp.				0.02		0.02
14	<i>Raetallops pulchellus</i>		4.90		0.19		5.09
15	<i>Nitidotellina</i> sp.				0.06		0.06
16	<i>Theora fragilis</i>		1.04		0.82		1.86
17	<i>Paphia lischkei</i>				2.45		2.45
18	<i>Paphia undulata</i>		0.03				0.03
19	<i>Veremolpa micra</i>		1.01		0.26		1.27
20	<i>Hiatella orientalis</i>				0.01		0.01
21	<i>Harmothoe</i> sp.				+		+
22	Phyllodocidae				+		+
23	<i>Ophiodromus</i> sp.				+		+
24	<i>Sigambra tentaculata</i>		0.03		+		0.03
25	<i>Nectoneanthes latipoda</i>		0.03		0.03		0.06
26	<i>Glycera</i> sp.		0.08		0.87		0.95
27	<i>Glycinde</i> sp.		0.06		0.04		0.10
28	<i>Paralacydonia paradoxa</i>		+		+		+
29	<i>Scoletoma longifolia</i>		0.54		0.23		0.77
30	<i>Aonides oxycephala</i>				0.04		0.04
31	<i>Paraprionospio</i> sp. (A型)		0.08		0.01		0.09
32	<i>Polydora</i> sp.				0.01		0.01
33	<i>Prionospio sexoculata</i>				+		+
34	<i>Magelona japonica</i>		0.01				0.01
35	<i>Chaetozone</i> sp.		0.04				0.04
36	<i>Cirriformia tentaculata</i>		0.05		2.96		3.01
37	Cirratulidae		0.07		0.01		0.08
38	<i>Poecilochaetus</i> sp.		+				+
39	<i>Owenia fusiformis</i>				0.13		0.13
40	<i>Lagis bocki</i>		0.02		0.29		0.31
41	<i>Loimia</i> sp.		0.40				0.40
42	<i>Chone</i> sp.				0.50		0.50
43	Leucosiidae		0.01				0.01
44	<i>Pyromaia tuberculata</i>				0.09		0.09
45	<i>Pinnixa</i> sp.				0.25		0.25
46	<i>Phoronis</i> sp.				0.02		0.02
47	<i>Lingula</i> sp.				0.07		0.07
48	<i>Ophiophragmus japonicus</i>		0.03		0.02		0.05
49	<i>Ophiura kinbergi</i>		0.01		0.12		0.13
50	<i>Echinocardium cordatum</i>		3.11				3.11
	種類数		28	0	41	1	50
	合計		21.68	0.00	15.18	+	36.86

注：1. 「+」は0.01g未滿を示す。

2. 湿重量(g)は0.1m²当たりの数値で示す。ただし、調査点合計の平均欄は0.4m²当たりの数値で示す。

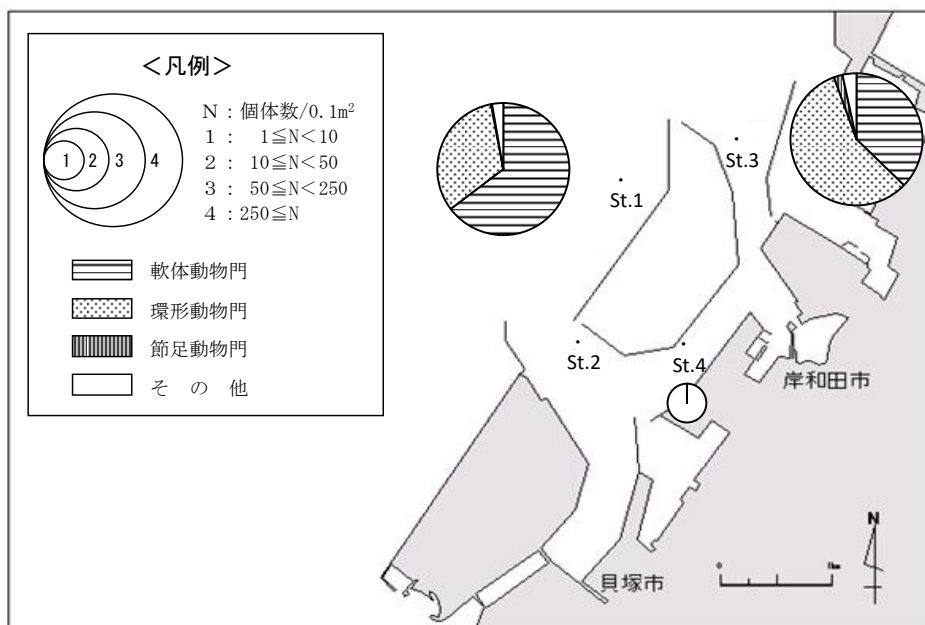


図4-3-3-1 底生生物の水平分布 [令和7年度夏季分]

表 4-3-4-1 魚卵調査結果概要 [令和7年度夏季分]

調査年月日: 令和7年8月6日

項目 \ 調査点	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	平均 (最小 ~ 最大)
種類数	9	6	7	5	9 (5 ~ 9)
個数	106,815	43,990	101,353	19,859	68,004 (19,859 ~ 106,815)
主要種 個数 (カッコ内は組成比: %)	単脂卵 0.53~0.60mm 61,779 (57.8) カタクチイワシ 36,002 (33.7)	単脂卵 0.53~0.60mm 30,206 (68.7) カタクチイワシ 11,162 (25.4)	カタクチイワシ 51,864 (51.2) 単脂卵 0.53~0.60mm 43,031 (42.5)	単脂卵 0.53~0.60mm 10,688 (53.8) カタクチイワシ 7,081 (35.7)	単脂卵 0.53~0.60mm 36,426 (53.6) カタクチイワシ 26,527 (39.0)

- 注: 1. 種類数の平均欄は総種類数を示す。
 2. 主要種は各調査点での上位5種(ただし組成比10%以上のもの)を示す。
 3. 個体数は1,000 m³当たりの数値で示す。

表 4-3-4-2 魚卵出現種一覧 [令和 7 年度夏季分]

調査年月日:令和 7年 8月 6日

番号	門	綱	目	科	学名	和名
1	脊椎動物	硬骨魚	ニシ	カクチイソ	<i>Engraulis japonicus</i>	カクチイソ
2			ウハ ^ウ オ	ネズ ^ホ	Callionymidae	ネズ ^ホ 科
3			カレイ	ウシノシタ	Cynoglossidae	ウシノシタ科
4			不明	不明	Unidentified n.o. egg-1	無脂卵 0.68~0.70mm
5			不明	不明	Unidentified n.o. egg-2	無脂卵 0.78~0.85mm
6			不明	不明	Unidentified n.o. egg-3	無脂卵 1.10~1.13mm
7			不明	不明	Unidentified s.o. egg-3	単脂卵 0.53~0.60mm
8			不明	不明	Unidentified s.o. egg-4	単脂卵 0.63~0.68mm
9			不明	不明	Unidentified s.o. egg-5	単脂卵 0.70~0.80mm

注: 本業務は継続性の高いモニタリング業務であるため、分類体系や学名等が変更された種についても原則的に過年度に合わせた表記とした。

表 4-3-4-3 魚卵調査結果 (個数) [令和 7 年度夏季分]

調査年月日:令和 7年 8月 6日

番号	学名	和名	調査点	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	合計
1	<i>Engraulis japonicus</i>	カクチイソ		36,002	11,162	51,864	7,081	106,109
2	Callionymidae	ネズ ^ホ 科		160	327	215	195	897
3	Cynoglossidae	ウシノシタ科		643	110	435		1,188
4	Unidentified n.o. egg-1	無脂卵 0.68~0.70mm		220	342	11	120	693
5	Unidentified n.o. egg-2	無脂卵 0.78~0.85mm		3				3
6	Unidentified n.o. egg-3	無脂卵 1.10~1.13mm		8				8
7	Unidentified s.o. egg-3	単脂卵 0.53~0.60mm		61,779	30,206	43,031	10,688	145,704
8	Unidentified s.o. egg-4	単脂卵 0.63~0.68mm		109		841		950
9	Unidentified s.o. egg-5	単脂卵 0.70~0.80mm		7,891	1,843	4,956	1,775	16,465
	種類数			9	6	7	5	9
	合計			106,815	43,990	101,353	19,859	272,017

注: 個体数は1,000m³当たりの数値で示す。ただし調査点合計の平均欄は4,000m³当たりの数値で示す。

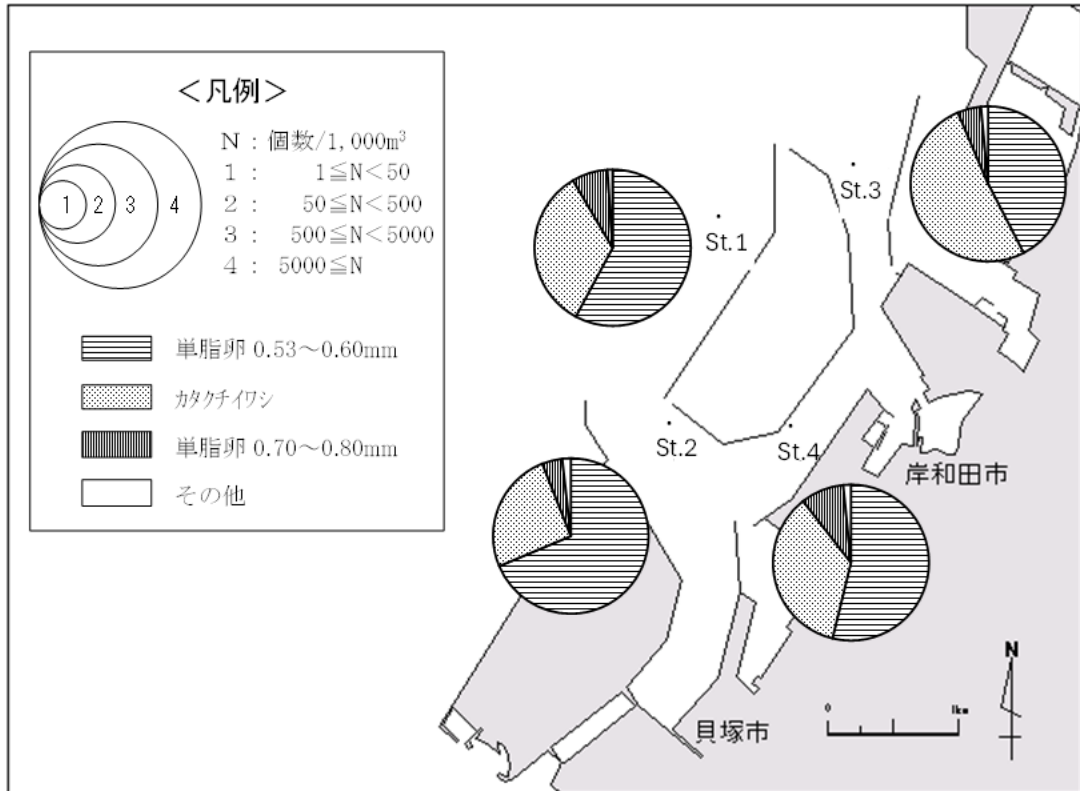


図4-3-4-1 魚卵の水平分布 [令和7年度夏季分]

表4-3-4-4 稚仔魚調査結果概要 [令和7年度夏季分]

調査年月日:令和7年8月6日

項目 \ 調査点	St.1	St.2	St.3	St.4	平均 (最小 ~ 最大)
種類数	9	7	10	6	13 (6 ~ 10)
個体数	111	212	207	279	202 (111 ~ 279)
主要種 個体数 (カッコ内は組成比：%)	サツハ° 35 (31.5) ナヘカ属 31 (27.9) ハゼ科 18 (16.2)	ナヘカ属 93 (43.9) 不明ふ化仔魚 61 (28.8)	ナヘカ属 149 (72.0) ハゼ科 21 (10.1)	ナヘカ属 142 (50.9) 不明ふ化仔魚 58 (20.8) ハゼ科 42 (15.1)	ナヘカ属 104 (51.3) 不明ふ化仔魚 33 (16.1) ハゼ科 24 (11.7) サツハ° 21 (10.3)

- 注：1. 種類数の平均欄は総種類数を示す。
 2. 主要種は各調査点での上位5種(ただし組成比10%以上のもの)を示す。
 3. 個体数は1,000 m³当たりの数値で示す。

表4-3-4-5 稚仔魚出現種一覧 [令和7年度夏季分]

調査年月日:令和7年8月6日

番号	門	綱	目	科	学名	和名
1	脊椎動物	硬骨魚	ニシン	ニシン	<i>Sardinella zunasi</i>	サッパ
2				カタチイワシ	<i>Engraulis japonicus</i>	カタチイワシ
3			ススキ	キス	<i>Sillago japonica</i>	シロキス
4				ヒイラギ	Leiognathidae	ヒイラギ科
5				スズメダイ	Pomacentridae	スズメダイ科
6				アゴ	<i>Siganus fuscescens</i>	アゴ
7				ハゼ	Gobiidae	ハゼ科
8				イソキンボ	<i>Omobranchus</i> sp.	ナベカ属
9					Blenniidae	イソキンボ科
10			ウハウオ	ネズボ	Callionymidae	ネズボ科
11			カレイ	ダマカレイ	Bothidae	ダマカレイ科
12			フグ	カリハギ	<i>Rudarius ercodes</i>	アミハギ
13				不明	不明	Unidentified yolksac larva

注：本業務は継続性の高いモニタリング業務であるため、分類体系や学名等が変更された種についても原則的に過年度に合わせた表記とした。

表4-3-4-6 稚仔魚調査結果（個体数） [令和7年度夏季分]

調査年月日:令和7年8月6日

番号	学名	和名	調査点	St.1	St.2	St.3	St.4	合計
1	<i>Sardinella zunasi</i>	サッパ		35	14	7	27	83
2	<i>Engraulis japonicus</i>	カタチイワシ		2	9		8	19
3	<i>Sillago japonica</i>	シロキス		3	2	11		16
4	Leiognathidae	ヒイラギ科					2	2
5	Pomacentridae	スズメダイ科				2		2
6	<i>Siganus fuscescens</i>	アゴ				3		3
7	Gobiidae	ハゼ科		18	14	21	42	95
8	<i>Omobranchus</i> sp.	ナベカ属		31	93	149	142	415
9	Blenniidae	イソキンボ科		8	19			27
10	Callionymidae	ネズボ科		3		2		5
11	Bothidae	ダマカレイ科				7		7
12	<i>Rudarius ercodes</i>	アミハギ		3		2		5
13	Unidentified yolksac larva	不明ふ化仔魚		8	61	3	58	130
	種類数			9	7	10	6	13
	合計			111	212	207	279	809

注：個体数は1,000m³当たりの数値で示す。ただし調査点合計の平均欄は4,000m³当たりの数値で示す。

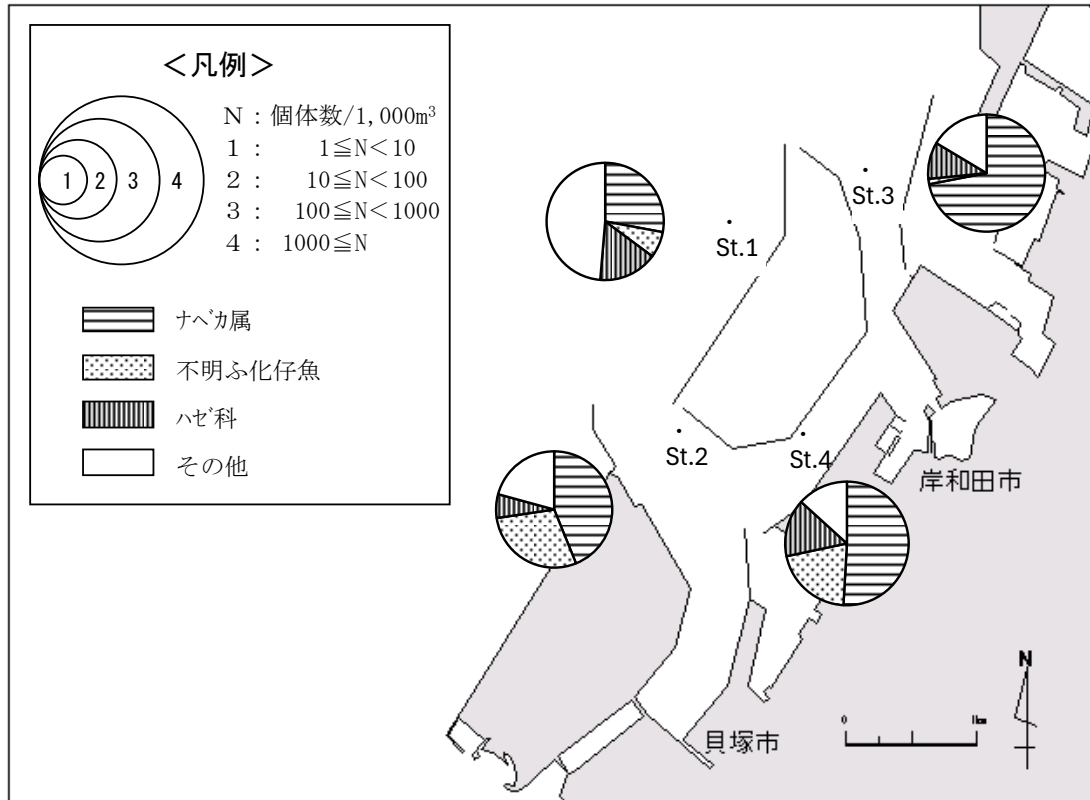


図 4-3-4-2 稚仔魚の水平分布 [令和 7 年度夏季分]

表4-3-5-1(1) 付着生物出現種一覧(目視観察) [令和7年度夏季分]

調査日: 令和7年8月8日

S t . A

調査時刻: 8:40~9:55

調査方法: ベルトトランセクト法

観察枠No.		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
基質		コンクリートケーソン																		
出現種 \ 水深 (m)		+1.0	0.0	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0	8.0									
植 物	1 珪藻綱			5							+				+	+				
	2 シオガマ属				+															
	3 ミル				5															
	4 カハノリ																+			
動 物	1 アラレタマキヒガイ	(5)																		
	2 イワフジツボ	25	5																	
	3 マガキ	+	5																	
	4 カガキ		+																	
	5 ヌキカサガイ科		(2)																	
	6 ヒザラガイ		(2)																	
	7 イボニシ		(5)			(2)														
	8 タテシマイキノシヤク		(250)	(160)																
	9 カサシコガイ科		10	50	60	60	20	15	20	15	10	+	+	+	+	+				
	10 アサコケシ				+	10	30	50	60	30										
	11 クロマイタボヤ				5	10	20	20	10	15	15	30	30	15	10	5				
	12 シロボヤ				(2)	(2)	(4)	(7)	(8)	(6)	(5)	(11)	(6)	(9)	(8)	(4)	(2)			
	13 チキレイキノシヤク				15	10	10	5	5	5	15	15	5	10	+	+	+	+		
	14 イボニシの卵塊					+	+													
	15 単体性ボヤ類					(3)				(2)	(7)		(2)	(5)	(9)	(8)				
	16 群体性ボヤ類					5	5	5	+	5	5	+	+	+	+	+	+			
	17 ヒドロ虫綱						+	+		+	+		+	+	+					
	18 普通海綿綱							+			+	+			+					
	19 ウミシジメの卵塊									+										
	20 シンカフジツボ											+		+	+					
	21 コケシ綱													+	+	+	+	+	+	
	22 泥巢															+	5	10	10	10
	23 シオガマシゴ																+	+	+	+
	24 シンショウクニ																	(1)		(2)
	25 キクザル属																	(3)	(1)	(1)
	26 オオヘビガイ																		(2)	(1)
	27 ヒトデ																			(1)

注1. 数字は被度(%)を表し、+記号は5%以下、r記号は1%未満を示す。

2. ()内の数字は個体数を表す。

表 4-3-5-1(2) 付着生物出現種一覧(目視観察) [令和7年度夏季分]

調査日: 令和7年8月8日

S t . B

調査時刻: 10:05~11:30

調査方法: ベルトトランセクト法

観察枠No.		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
基質		被 覆 石																	
出現種 \ 水深 (m)		+1.0	0.0	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0									
植 物	1 藍藻綱			5								+			+				
	2 珪藻綱			5	5	+	+	+	+	+	+								
	3 シル				5	+													
	4 オキツリ				10	+	+												
	5 マクサ				+					5									
	6 ヒリヒハ					+				+									
	7 ウスカリカニテ					+	5	5	10	+	+								
	8 シオクサ属									+	+								
	9 カハノリ									+		5	+			+	5	+	+
	10 シキンノリ										+	+	10	20	15	5	+		+
	11 ヤスダケサ											10	10	5					
	12 ツルシラモ											+	+	+	+	5	+	+	
	13 イキス科												+	+	+		+		
	14 ガンジア属															+	+	+	
動 物	1 カメノテ	+	+																
	2 ヤッコカンザシ		+																
	3 イシタミガイ		(1)																
	4 ヒサラガイ		(1)	(5)															
	5 マカキ			+															
	6 ヨマガサガイ			(1)															
	7 ヌキノカサガイ科			(3)	(1)														
	8 キクノハナガイ			(2)	(4)														
	9 オホヒナガイ				(1)	(1)													
	10 カンザシノカイ科				15	5	5	+	5	+	+								
	11 泥巢				5	10	15	15	15	15	10	10	5	15	10	5	5	+	
	12 シロホヤ					(1)	(15)	(3)	(5)	(6)	(2)	(1)	(2)	(2)	(2)	(3)	(4)	(2)	
	13 レイシガイ						(1)												
	14 サンカクフジツボ						+					+				+			
	15 ロシタカカンガラ								(1)										
	16 群体性杓類									+						+	+		
	17 ホンヤトカリ科										(5)								
	18 クロメイダホヤ												5						
19 キクザル属													(1)	(3)	(6)	(9)			
20 ヒトテ														(1)			(1)	(1)	
21 ナミカシラガイ															(2)				
22 コケムシ綱																+			

注) 1. 数字は被度(%)を表し、+記号は5%以下、r記号は1%未満を示す。

2. ()内の数字は個体数を表す。

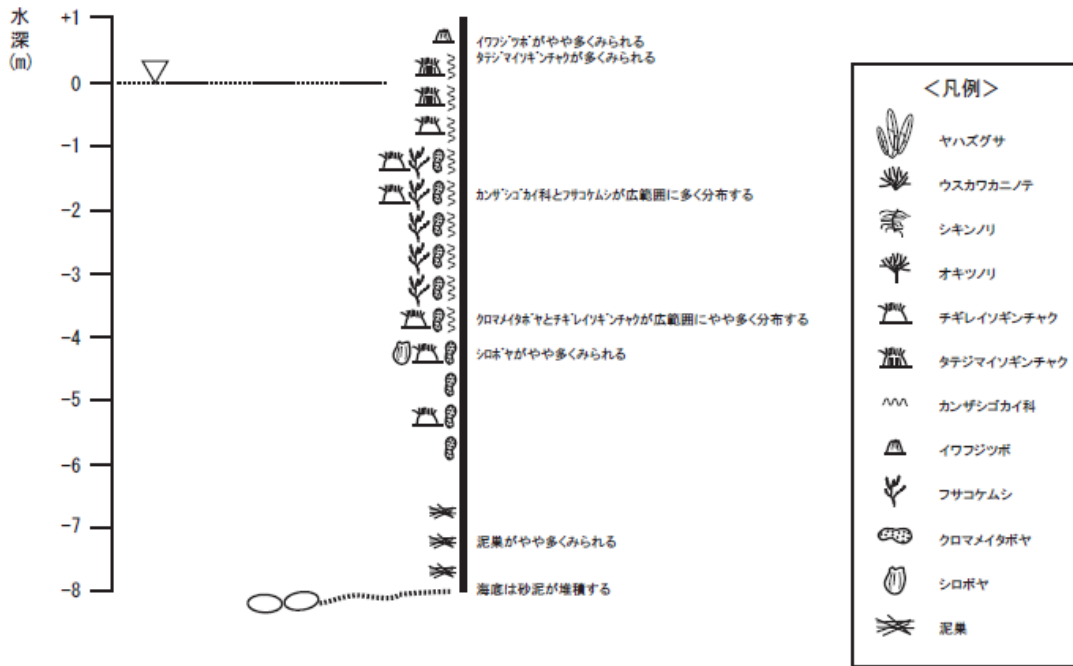
表 4-3-5-2 付着生物(植物)藻長測定結果 [令和7年度夏季分]

調査日：令和7年8月8日

出現種\地点	St.A	St.B
藍藻綱	---	10mm~20mm
シオクサ属	10mm	10mm~20mm
ミル	100mm~200mm	50mm~200mm
ヤスグサ	---	200mm
ウスカリカニテ	---	30mm~50mm
ピリヒバ	---	30mm
マクサ	---	20mm~100mm
シシノリ	---	100mm~130mm
オキツリ	---	20mm~30mm
ツルシモ	---	70mm~250mm
カハノリ	100mm	80mm~100mm
イギス科	---	10mm
ダシア属	---	20mm~40mm
珪藻綱	5mm	5mm

St. A

調査年月日：令和 7年 8月 8日



St. B

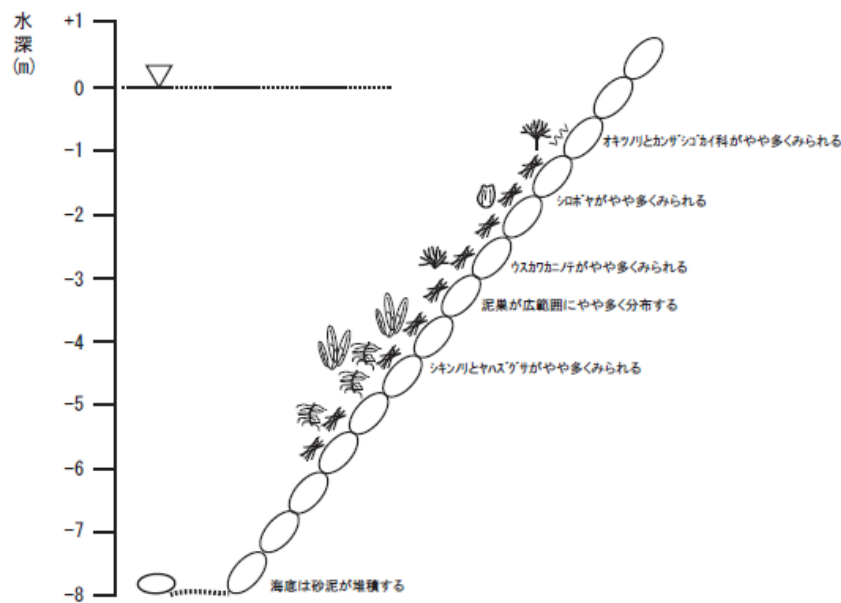


図 4-3-5-1 調査測点断面模式 [令和 7年度夏季分]

水深(m)

【調査点A】

調査日:令和 7年 8月 8日

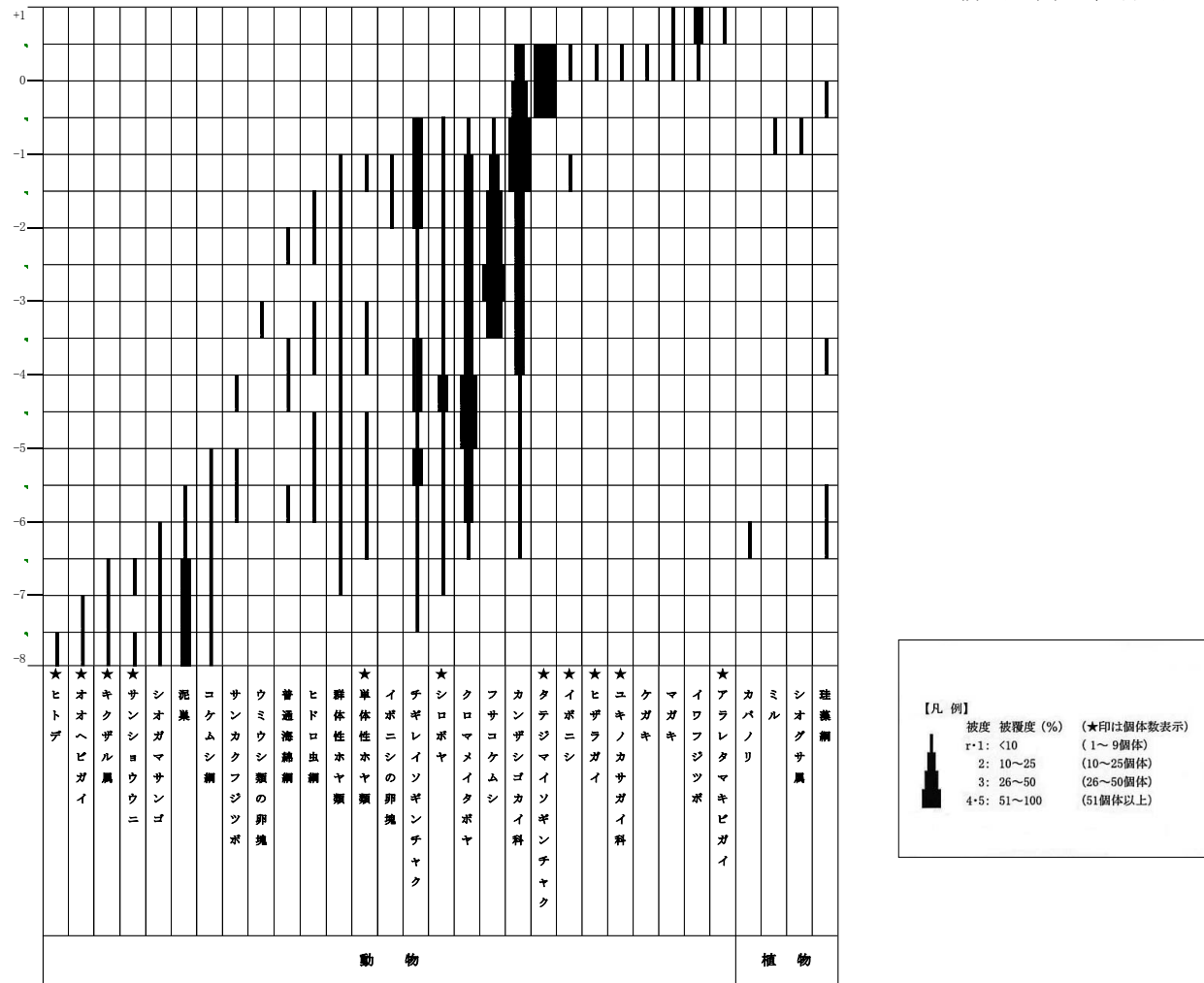


図4-3-5-2(1) 主な付着生物の鉛直分布 [令和7年度夏季分]

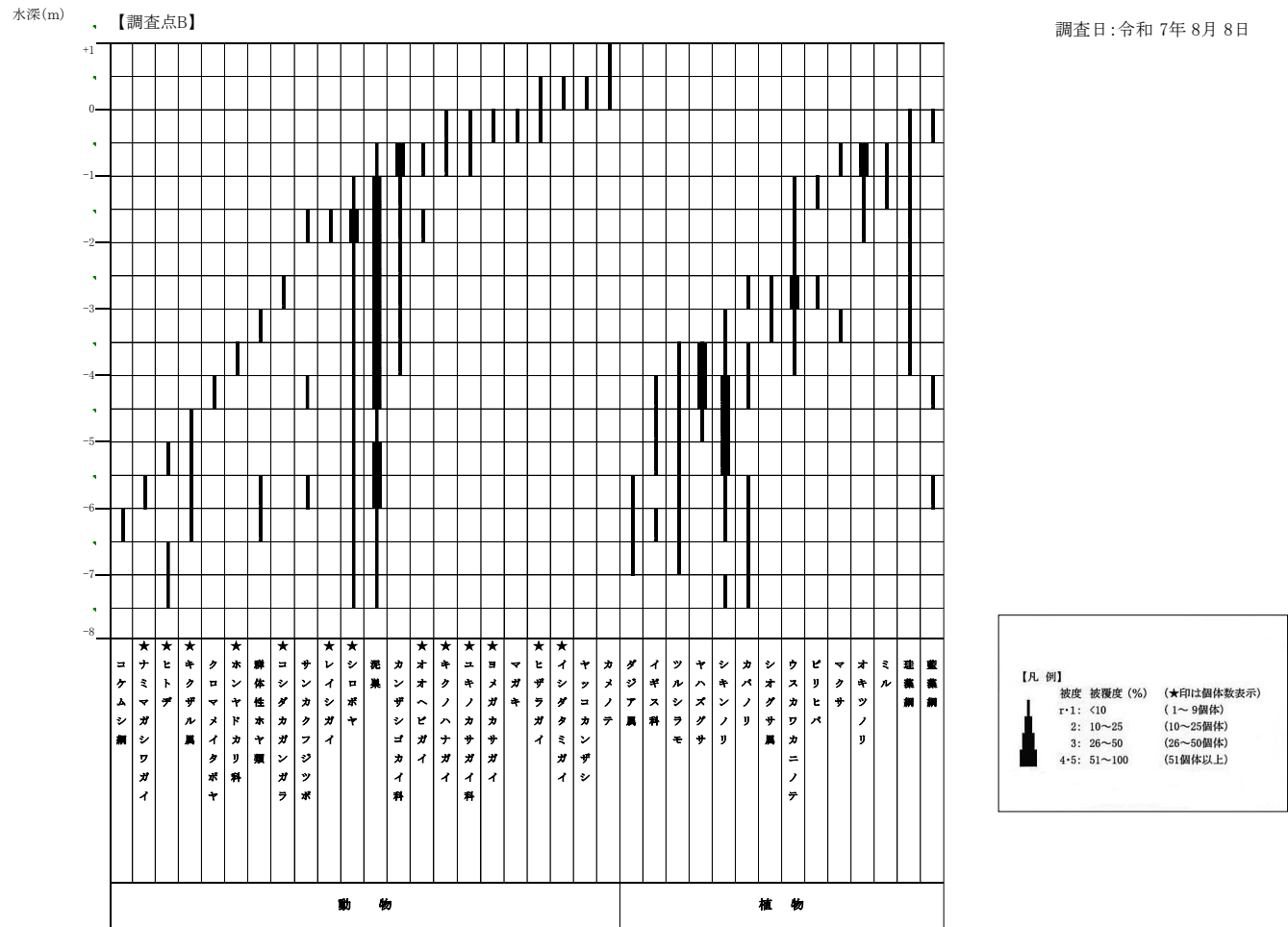


図 4 - 3 - 5 - 2 (2) 主な附着生物の鉛直分布 [令和 7 年度夏季分]

表4-3-5-3 付着生物調査結果概要(坪刈り：植物) [令和7年度夏季分]

調査年月日：令和7年8月8日

項目	調査点 層	A			B			平均 (最小 ~ 最大)
		上層	中層	下層	上層	中層	下層	
種類数	緑藻植物門	1	2	2		2	5	6 (0 ~ 5)
	褐藻植物門					1	2	2 (0 ~ 2)
	紅藻植物門			1		5	8	8 (0 ~ 8)
	その他							0 (0 ~ 0)
	合計	1	2	3	0	8	15	16 (0 ~ 15)
湿重量 (g)	緑藻植物門	0.01	0.58	0.23		0.97	0.63	0.40 (0.00 ~ 0.97)
	褐藻植物門					+	0.01	0.00 (0.00 ~ 0.01)
	紅藻植物門			+		30.57	14.59	7.53 (0.00 ~ 30.57)
	その他							0.00 (0.00 ~ 0.00)
	合計	0.01	0.58	0.23	0.00	31.54	15.23	7.93 (0.00 ~ 31.54)
組成重量 (%)	緑藻植物門	100.0	100.0	100.0		3.1	4.1	5.0 (0.0 ~ 100.0)
	褐藻植物門					+	0.1	0.0 (0.0 ~ 0.1)
	紅藻植物門			+		96.9	95.8	95.0 (0.0 ~ 96.9)
	その他							0.0 (0.0 ~ 0.0)
主要種 湿重量 (カッコ内は組成比：%)	シオゲ*所属 0.01(100.0)	ミル 0.33(56.9) シオゲ*所属 0.25(43.1)	シオゲ*所属 0.22(95.7)		ムカデ*ノリ 28.20(89.4)	ウスカリカニノテ 10.17(66.8) ヒ*リヒバ* 2.25(14.8) マクサ 1.60(10.5)	ムカデ*ノリ 4.74(59.7) ウスカリカニノテ 1.78(22.5)	

- 注：1. 上層は平均水面、中層は大潮最低低潮面、下層は大潮最低低潮面-1mを示す。
 2. 種類数の平均欄の数値は総種類数を示す。
 3. 主要種は各調査点の各層で上位5種(ただし組成比10%以上のもの)を示す。ただし、0.01g/0.09m²未満の場合は除く。
 4. 湿重量は0.09m²当たりの数値で示す。湿重量が0.01g/0.09m²未満の場合、湿重量及び湿重量組成比は「+」で示す。

表 4-3-5-4 付着生物出現種一覧(坪刈り：植物) [令和7年度夏季分]

調査年月日：令和7年8月8日

番号	門	綱	目	科	学名	和名	
1	緑藻植物	緑藻	アオサ	アオサ	<i>Enteromorpha</i> sp.	アオリ属	
2					<i>Ulva</i> sp.	アサ属	
3				シオグサ	シオグサ	<i>Chaetomorpha</i> sp.	シユクモ属
4						<i>Cladophora</i> sp.	シオグサ属
5				ミル	ミル	<i>Codium fragile</i>	ミル
6				ハネモ	ハネモ	<i>Bryopsis</i> sp.	ハネ属
7	褐藻植物	褐藻	シオトノロ	シオトノロ	Ectocarpaceae	シオトノロ科	
8				アミシクサ	アミシクサ	<i>Dictyota</i> sp.	アミシクサ属
9	紅藻植物	紅藻	サンゴモ	サンゴモ	<i>Amphiroa zonata</i>	ウスカカニテ	
10						<i>Corallina pilulifera</i>	ヒリヒバ
11				テンクサ	テンクサ	<i>Gelidium elegans</i>	マクサ
12				ムカデノリ	ムカデノリ	<i>Grateloupia filicina</i>	ムカデノリ
13					オキツリ	<i>Ahnfeltiopsis flabelliformis</i>	オキツリ
14				イグス	イグス	<i>Centroceras clavulatum</i>	トゲイグス
15						<i>Ceramium</i> sp.	イグス属
16						フジマツモ	<i>Polysiphonia</i> sp.

注：本業務は継続性の高いモニタリング業務であるため、分類体系や学名等が変更された種についても原則的に過年度に合わせた表記とした。

表 4-3-5-5 付着生物調査結果(坪刈り：植物：湿重量) [令和7年度夏季分]

調査年月日：令和7年8月8日

番号	学名	調査点 層	A			B			合計
			上層	中層	下層	上層	中層	下層	
1	<i>Enteromorpha</i> sp.				0.01		0.39	0.07	0.47
2	<i>Ulva</i> sp.							0.02	0.02
3	<i>Chaetomorpha</i> sp.							+	+
4	<i>Cladophora</i> sp.		0.01	0.25	0.22		0.58	0.53	1.59
5	<i>Codium fragile</i>			0.33					0.33
6	<i>Bryopsis</i> sp.							0.01	0.01
7	Ectocarpaceae						+	0.01	0.01
8	<i>Dictyota</i> sp.							+	+
9	<i>Amphiroa zonata</i>						0.52	10.17	10.69
10	<i>Corallina pilulifera</i>						1.83	2.25	4.08
11	<i>Gelidium elegans</i>							1.60	1.60
12	<i>Grateloupia filicina</i>						28.20	0.23	28.43
13	<i>Ahnfeltiopsis flabelliformis</i>						0.02	0.15	0.17
14	<i>Centroceras clavulatum</i>							0.14	0.14
15	<i>Ceramium</i> sp.				+		+	0.01	0.01
16	<i>Polysiphonia</i> sp.							0.04	0.04
	種類数		1	2	3	0	8	15	16
	合計		0.01	0.58	0.23	+	31.54	15.23	47.59

- 注：1. 上層は平均水面、中層は大潮最低低潮面、下層は大潮最低低潮面-1mを示す。
 2. 「+」は0.01g未満を、「-」は計量困難を示す。
 3. 湿重量(g)は0.09m²当たりの数値で示す。ただし、調査点合計の平均欄は0.54m²当たりの数値で示す。

表4-3-5-6(1) 付着生物調査結果概要(坪刈り：動物：個体数) [令和7年度夏季分]

調査年月日：令和7年8月8日

項目	調査点 層	A			B			平均 (最小 ~ 最大)
		上層	中層	下層	上層	中層	下層	
種類数	軟体動物門	14	6	7	2	10	12	30 (2 ~ 14)
	環形動物門	9	14	18	4	15	15	25 (4 ~ 18)
	節足動物門	6	11	15	8	9	6	25 (6 ~ 15)
	その他	5	12	14	1	10	9	18 (1 ~ 14)
	合計	34	43	54	15	44	42	98 (15 ~ 54)
個体数	軟体動物門	372	925	574	3	4,546	2,855	1,546 (3 ~ 4,546)
	環形動物門	1,688	2,741	2,364	5	5,337	525	2,110 (5 ~ 5,337)
	節足動物門	77	193	330	14	38	26	113 (14 ~ 330)
	その他	772	141	326	4	74	279	266 (4 ~ 772)
	合計	2,909	4,000	3,594	26	9,995	3,685	4,035 (26 ~ 9,995)
組成体比数 (%)	軟体動物門	12.8	23.1	16.0	11.5	45.5	77.5	38.3 (11.5 ~ 77.5)
	環形動物門	58.0	68.5	65.8	19.2	53.4	14.2	52.3 (14.2 ~ 68.5)
	節足動物門	2.6	4.8	9.2	53.8	0.4	0.7	2.8 (0.4 ~ 53.8)
	その他	26.5	3.5	9.1	15.4	0.7	7.6	6.6 (0.7 ~ 26.5)
主要種 個体数 (カッコ内は組成比：%)	ヤッコカンザシ	812 (27.9)	2,606 (65.2)	2,025 (56.3)	4 (15.4)	4,875 (48.8)	1,340 (36.4)	1,694 (42.0)
	クダシマイソキソクチャク	735 (25.3)	917 (22.9)	566 (15.7)	4 (15.4)	2,911 (29.1)	755 (20.5)	612 (15.2)
	エゾカサネカンザシ	560 (19.3)			3 (11.5)	1,194 (11.9)	537 (14.6)	536 (13.3)

- 注：1. 上層は平均水面、中層は大潮最低低潮面、下層は大潮最低低潮面-1mを示す。
 2. 種類数の平均欄の数値は総種類数を示す。
 3. 主要種は各調査点の各層で上位5種(ただし組成比10%以上のもの)を示す。
 4. 個体数は0.09m²当たりの数値で示す。

表4-3-5-6(2) 付着生物調査結果概要(坪刈り：動物：湿重量) [令和7年度夏季分]

調査年月日：令和7年8月8日

項目	調査点 層	A			B			平均 (最小 ~ 最大)
		上層	中層	下層	上層	中層	下層	
湿重量 (g)	軟体動物門	43.24	29.43	11.85	0.81	37.72	34.20	26.21 (0.81 ~ 43.24)
	環形動物門	9.53	15.72	12.59	+	20.88	3.51	10.37 (+ ~ 20.88)
	節足動物門	1.70	3.18	5.44	+	0.62	4.84	2.63 (+ ~ 5.44)
	その他	15.18	41.24	118.95	+	13.30	2.91	31.93 (+ ~ 118.95)
	合計	69.65	89.57	148.83	0.81	72.52	45.46	71.14 (0.81 ~ 148.83)
組湿 成重 比量 (%)	軟体動物門	62.1	32.9	8.0	100.0	52.0	75.2	36.8 (8.0 ~ 100.0)
	環形動物門	13.7	17.6	8.5	+	28.8	7.7	14.6 (+ ~ 28.8)
	節足動物門	2.4	3.6	3.7	+	0.9	10.6	3.7 (+ ~ 10.6)
	その他	21.8	46.0	79.9	+	18.3	6.4	44.9 (+ ~ 79.9)
主要種 湿重量 (カッコ内は組成比：%)	タジマイノキンチャク	イワホリガイ科	ヒウラ科	ウノアン	ホトキスカイ	キタザル属	イワホリガイ科	
	14.82(21.3)	27.98(31.2)	43.35(29.1)	0.81(100.0)	19.30(26.6)	14.50(31.9)	9.61(13.5)	
	セミアサリ	フサコケムシ科	フサコケムシ科		エゾカサネカンザシ	オオヘビガイ	フサコケムシ科	
	13.89(19.9)	21.00(23.4)	28.25(19.0)		14.94(20.6)	5.11(11.2)	8.21(11.5)	
ヒメケハタヒサハラガイ	エゾカサネカンザシ	スチエラ科		イワホリガイ科	イワホリガイ科	ヒウラ科		
11.63(16.7)	13.55(15.1)	25.10(16.9)		13.21(18.2)	5.11(11.2)	7.32(10.3)		
	クロマイトホヤ			シロホヤ	ホトキスカイ			
	12.00(13.4)			11.13(15.3)	5.06(11.1)			
					サンカクフジツボ			
					4.74(10.4)			

- 注：1. 上層は平均水面、中層は大潮最低低潮面、下層は大潮最低低潮面-1mを示す。
 2. 主要種は各調査点の各層で上位5種(ただし組成比10%以上のもの)を示す。
 3. 湿重量は0.09m²当たりの数値で示す。
 4. 湿重量が0.01g/0.09m²未満の場合、湿重量及び湿重量組成比は「+」で示す。

表4-3-5-7(1) 付着生物出現種一覧(坪刈り:動物) [令和7年度夏季分]

調査年月日:令和7年8月8日

番号	門	綱	目	科	学名	和名
1	海綿動物	普通海綿	—	—	DEMOSPONGIAE	普通海綿綱
2	刺胞動物	花虫	イソキンチャク	タテシマイソキンチャク	<i>Haliplanella lineata</i>	タテシマイソキンチャク
3				—	ACTINIARIA	イソキンチャク目
4	扁形動物	ウスムシ	ヒラムシ	—	POLYCLADIDA	ヒラムシ目
5	紐形動物	—	—	—	NEMERTINEA	紐形動物門
6	軟体動物	ヒザラガイ	ヒザラガイ	ケハダヒザラガイ	<i>Acanthochiton rubrolineatus</i>	ヒメケハダヒザラガイ
7						ヒザラガイ
8		マキガイ	オキナエビス	ユキノカサガイ	<i>Patelloida saccharina</i>	ウラツ
9					<i>Patelloida pygmaea</i>	ヒメオサハラガイ
10				ニシキウスガイ	<i>Omphalius rusticus</i>	コンダカガソカラ
11			ニナ	オニツリガイ	<i>Cerithium kobelti</i>	コオロキガイ
12				ミジノウキツホ	<i>Diala varia</i>	ススノハマツホ
13				ムカデガイ	<i>Serpulorbis imbricatus</i>	オオヘビガイ
14			ハイ	アキガイ	<i>Thais clavigera</i>	イボニシ
15				タモトガイ	<i>Mitrella bicincta</i>	ムキガイ
16				オリイロヨフハイ	<i>Reticunassa festiva</i>	アラムシロガイ
17			イトカケガイ	イトカケガイ	<i>Alexania inazawai</i>	イナダハラガイ
18			クチキレガイ	トウカクガイ	Pyramidellidae	トウカクガイ科
19			フトウガイ	タマコガイ	<i>Haloa japonica</i>	フトウガイ
20				ミドリリガイ	<i>Smaragdinella sieboldi</i>	タテシワミドリリガイ
21			モノアラガイ	コウダカハラマツガイ	<i>Siphonaria japonica</i>	ハラマツガイ
22			—	—	egg of GASTROPODA	マキガイ綱の卵
23		ニマイガイ	フネガイ	フネガイ	<i>Barbatia virescens</i>	カリガネガイ
24			イガイ	イガイ	<i>Hormomya mutabilis</i>	ヒバリガイイモトキ
25					<i>Limnoperna fortunei kikuchii</i>	コウロエンカヒバリガイ
26					<i>Modiolus nipponicus</i>	ヒバリガイ
27					<i>Musculista senhousia</i>	ホトキスガイ
28					<i>Musculus cupreus</i>	タマエガイ
29					<i>Mytilus edulis</i>	ムラサキガイ
30			ウケイスクガイ	ナミマカシロガイ	<i>Anomia chinensis</i>	ナミマカシロガイ
31				イタバカキ	<i>Crassostrea gigas</i>	マカキ
32					<i>Saccostrea</i> sp.	オハクノカキ属
33			ハマクサリ	キクサノカキ	<i>Chama</i> sp.	キクサノカキ属
34				イワホリガイ	<i>Claudiconcha japonica</i>	セニアリ
35					Petricolidae	イワホリガイ科
36	環形動物	ゴカイ	サンハゴカイ	ウロコムシ	<i>Harmothoe</i> sp.	
37					<i>Halosydna brevisetosa</i>	ミロクウロコムシ
38					<i>Lepidonotus helotypus</i>	サンハチウロコムシ
39					<i>Lepidonotus</i> sp.	
40				サンハゴカイ	<i>Eulalia</i> sp.	
41				オトヒメゴカイ	<i>Ophiodromus</i> sp.	
42				シリス	Autolytinae	アウトリティス亜科
43					<i>Trypanosyllis taeniaformis</i>	シマシリス
44					<i>Typosyllis adamanteus kurilensis</i>	
45					Syllinae	シリス亜科
46				ゴカイ	<i>Neanthes caudata</i>	ヒメゴカイ
47					<i>Nereis heterocirrata</i>	ヒカフトコカイ
48					<i>Nereis multignatha</i>	マサコゴカイ
49					<i>Perinereis cultrifera</i>	クマトリコカイ
50					<i>Platynereis bicanaliculata</i>	ツルヒカゴカイ
51					<i>Pseudonereis variegata</i>	テンカクコカイ
52			スビオ	スビオ	<i>Polydora</i> sp.	
53			ミスヒキコカイ	ミスヒキコカイ	<i>Cirriformia tentaculata</i>	ミスヒキコカイ
54					<i>Dodecaceria</i> sp.	
55			オフエリゴカイ	オフエリゴカイ	<i>Polyophthalmus pictus</i>	カスリオフエリ
56			フチコカイ	フチコカイ	<i>Streblosoma</i> sp.	
57			ケヤリ	ケヤリ	<i>Sabella</i> sp.	
58				カンサノシコカイ	<i>Hydroides elegans</i>	カサネンサシ
59					<i>Hydroides ezoensis</i>	エゾカサネンサシ
60					<i>Pomatoleios krausii</i>	ヤッコカンサシ

注:本業務は継続性の高いモニタリング業務であるため、分類体系や学名等が変更された種についても原則的に過年度に合わせた表記とした。

表4-3-5-7(2) 付着生物出現種一覧(坪刈り:動物) [令和7年度夏季分]

調査年月日:令和7年8月8日

番号	門	綱	目	科	学名	和名			
61	節足動物	甲殻	フシツホ	フシツホ	<i>Balanus trigonus</i>	フシツボ			
62			アミ	アミ	Mysidae	アミ科			
63			ワシムシ	ウミナナフシ	ウミナナフシ	Paranthuridae	ウミナナフシ科		
64				ウミミスミシ	ウミミスミシ	Janiridae	ウミミスミシ科		
65				コツブムシ	コツブムシ	<i>Holotelson tuberculatus</i>	チビウミゼミ		
66						<i>Dynoides dentisinus</i>	シラケンウミゼミ		
67			ヨコエビ		ヒケナガヨコエビ	ヒケナガヨコエビ	<i>Ampithoe</i> sp.	ヒケナガヨコエビ属	
68					トノコクガムシ	トノコクガムシ	<i>Corophium</i> sp.	トノコクガムシ属	
69					カマキリヨコエビ	カマキリヨコエビ	<i>Erichthonius</i> sp.	カマキリヨコエビ属	
70					タテソコエビ	タテソコエビ	<i>Stenothoe</i> sp.	タテソコエビ属	
71					モクスヨコエビ	モクスヨコエビ	<i>Hyale</i> sp.	モクスヨコエビ属	
72					メリタヨコエビ	メリタヨコエビ	<i>Elasmopus japonicus</i>	イノヨコエビ	
73					エンマヨコエビ	エンマヨコエビ	Dexaminidae	エンマヨコエビ科	
74					ウレカウ			<i>Caprella equilibra</i>	ウレカウ
75								<i>Caprella penantis</i>	マウレカウ
76								<i>Caprella scaura diceros</i>	トウウレカウ
77			エビ		ホンヤトカリ	ホンヤトカリ	Paguridae	ホンヤトカリ科	
78					カニガマシ	カニガマシ	<i>Pachycheles stevensii</i>	コフカニガマシ	
79					ワタリガニ	ワタリガニ	<i>Charybdis</i> sp.	イシガニ属	
80							Portunidae	ワタリガニ科	
81					オウキガニ			<i>Sphaerozius nitidus</i>	スベスベオウキガニ
82								Xanthidae	オウキガニ科
83					イワガニ	イワガニ	<i>Nanosarisma gordonii</i>	ヒメソウイワガニ	
84					モカガニ	モカガニ	<i>Pugettia quadridens quadridens</i>	ヨウモカガニ	
85								megalopa of BRACHYURA	カニ目のメカガニ期幼生
86			触手動物	ホウキムシ	ホウキムシ	ホウキムシ	<i>Phoronis</i> sp.		
87					コケムシ	クチナシコケムシ	クチナシコケムシ	Vesiculariidae	クチナシコケムシ科
88						フタコケムシ	フタコケムシ	Bugulidae	フタコケムシ科
89								Scrupocellariidae	トケコケムシ科
90						スジアナコケムシ	スジアナコケムシ	Umbonulidae	スジアナコケムシ科
91						モンクチコケムシ	モンクチコケムシ	Cheiloporinidae	モンクチコケムシ科
92									Celleporinidae
93			棘皮動物	クモヒトデ	—	—	OPHIUROIDEA	クモヒトデ綱	
94			原索動物	ホヤ	ヒメホヤ	ホリクリニ	Polyclinidae	ホリクリニ科	
95					マホヤ	スチエラ	<i>Polyandrocarpa zorritensis</i>	クロマイクホヤ	
96					<i>Styela plicata</i>	シロホヤ			
97					Styelidae	スチエラ科			
98					ヒウラ	Pyuridae	ヒウラ科		

注:本業務は継続性の高いモニタリング業務であるため、分類体系や学名等が変更された種についても原則的に過年度に合わせた表記とした。

表4-3-5-8(1) 付着生物調査結果(坪刈り：動物：個体数)[令和7年度夏季分]

調査年月日：令和7年8月8日

番号	学名	調査点 層	A			B			合計
			上層	中層	下層	上層	中層	下層	
1	DEMOSPONGIAE							*	*
2	<i>Haliplanella lineata</i>		735						735
3	ACTINIARIA			70	91		40	72	273
4	POLYCLADIDA		20	10	41		10	9	90
5	NEMERTINEA		16	37	32		1	1	87
6	<i>Acanthochiton rubrolineatus</i>		148	1	1		2	1	153
7	<i>Liolophura japonica</i>		10						10
8	<i>Patelloida saccharina</i>					2			2
9	<i>Patelloida pygmaea</i>		1						1
10	<i>Omphalius rusticus</i>						1		1
11	<i>Cerithium kobelti</i>							1	1
12	<i>Diala varia</i>						52	1,340	1,392
13	<i>Serpulorbis imbricatus</i>						2	4	6
14	<i>Thais clavigera</i>		9		1				10
15	<i>Mitrella bicincta</i>				3				3
16	<i>Reticunassa festiva</i>							1	1
17	<i>Alexania inazawai</i>		1						1
18	Pyramidellidae							8	8
19	<i>Haloa japonica</i>						379	202	581
20	<i>Smaragdinella sieboldi</i>		1						1
21	<i>Siphonaria japonica</i>		1			1	1		3
22	egg of GASTROPODA							*	*
23	<i>Barbatia virescens</i>		16	1					17
24	<i>Hormomya mutabilis</i>						1		1
25	<i>Limoperna fortunei kikuchii</i>		1						1
26	<i>Modiolus nipponicus</i>			1	1				2
27	<i>Musculista senhousia</i>			3			2,911	755	3,669
28	<i>Musculus cupreus</i>		1		1				2
29	<i>Mytilus edulis</i>			2	1				3
30	<i>Anomia chinensis</i>		1				3	1	5
31	<i>Crassostrea gigas</i>		1						1
32	<i>Saccostrea</i> sp.		3						3
33	<i>Chama</i> sp.							5	5
34	<i>Claudiconcha japonica</i>		178						178
35	Petricolidae			917	566		1,194	537	3,214
36	<i>Harmothoe</i> sp.			1	37		8	3	49
37	<i>Halosydna brevisetosa</i>		2	35	12		18		67
38	<i>Lepidonotus helotypus</i>				1				1
39	<i>Lepidonotus</i> sp.		42		4	1	14		61
40	<i>Eulalia</i> sp.		89	2				2	93
41	<i>Ophiodromus</i> sp.			3	11	2	5	6	27
42	Autolytinae			3	8				11
43	<i>Trypanosyllis taeniaformis</i>				5				5
44	<i>Typosyllis adamanteus kurilensis</i>							16	16
45	Syllinae		119	34	18		14	2	187
46	<i>Neanthes caudata</i>			2	3		2	12	19
47	<i>Nereis heterocirrata</i>		8		1				9
48	<i>Nereis multignatha</i>			3	10				13
49	<i>Perinereis cultrifera</i>			29	43		25		97
50	<i>Platynereis bicanaliculata</i>			1			6	2	9
51	<i>Pseudonereis variegata</i>		54						54
52	<i>Polydora</i> sp.			8	7		32	26	73
53	<i>Cirriformia tentaculata</i>					1	15	10	26
54	<i>Dodecaceria</i> sp.				112		1	6	119
55	<i>Polyophthalmus pictus</i>				1		21	13	35
56	<i>Streblosoma</i> sp.			1	10		14	22	47
57	<i>Sabella</i> sp.		2	13	56	1	287	293	652
58	<i>Hydroides elegans</i>							16	16
59	<i>Hydroides zeoensis</i>		560	2,606	2,025		4,875	96	10,162
60	<i>Pomatoleios krausii</i>		812						812

注：1. 「*」は群体系の種の出現を示す。

2. 個体数の数値は0.09m²当たりの数値で示す。ただし、調査点合計の平均欄は0.54m²当たりの数値で示す。

表4-3-5-8(2) 付着生物調査結果(坪刈り：動物：個体数)[令和7年度夏季分]

調査年月日：令和7年8月8日

番号	学名	調査点 層	A			B			合計
			上層	中層	下層	上層	中層	下層	
61	<i>Balanus trigonus</i>			2	7		2	12	23
62	Mysidae				1				1
63	Paranthuridae		1				1	1	3
64	Janiridae				10	1			11
65	<i>Holotelson tuberculatus</i>			1					1
66	<i>Dynoides dentisinus</i>		18			1			19
67	<i>Ampithoe</i> sp.					1	16		17
68	<i>Corophium</i> sp.				4				4
69	<i>Ericthonius</i> sp.						1		1
70	<i>Stenothoe</i> sp.			2					2
71	<i>Hyale</i> sp.		19			1			20
72	<i>Elasmopus japonicus</i>			71	99	2	13	9	194
73	Dexaminidae				12				12
74	<i>Caprella equilibra</i>			27	68	3	1		99
75	<i>Caprella penantis</i>			38	92	4			134
76	<i>Caprella scaura diceros</i>		1	2	1				4
77	Paguridae						2	1	3
78	<i>Pachycheles stevensii</i>			3	1				4
79	<i>Charybdis</i> sp.							2	2
80	Portunidae				1		1		2
81	<i>Sphaerozoides nitidus</i>		1	25	22				48
82	Xanthidae				1				1
83	<i>Nanosesarma gordonii</i>		37			1			38
84	<i>Pugettia quadridens quadridens</i>			3	9				12
85	megalopa of BRACHYURA			19	2		1	1	23
86	<i>Phoronis</i> sp.				2			192	194
87	Vesiculariidae						*		*
88	Bugulidae		*	*	*		*		*
89	Scrupocellariidae			*					*
90	Umbonulidae				*				*
91	Cheiloporinidae			*	*				*
92	Celleporinidae			*	*		*		*
93	OPHIUROIDEA			1	1	4		2	8
94	Polyclinidae			*	*		*		*
95	<i>Polyandrocarpa zorritensis</i>			*	*		*	*	*
96	<i>Styela plicata</i>			6	11		12	1	30
97	Styelidae		1	15	48		11	2	77
98	Pyuridae			2	100				102
	種類数		34	43	54	15	44	42	98
	合計		2,909	4,000	3,594	26	9,995	3,685	24,209

注：1. 「*」は群体性の種の出現を示す。

2. 個体数の数値は0.09m²当たりの数値で示す。ただし、調査点合計の平均欄は0.54m²当たりの数値で示す。

表4-3-5-9(1) 付着生物調査結果(坪刈り：動物：湿重量) [令和7年度夏季分]

調査年月日：令和7年8月8日

番号	学名	調査点層	A			B			合計
			上層	中層	下層	上層	中層	下層	
1	DEMOSPONGIAE							0.07	0.07
2	<i>Haliplanella lineata</i>		14.82						14.82
3	ACTINIARIA			0.82	1.20		0.18	0.66	2.86
4	POLYCLADIDA		0.15	0.18	0.77		0.05	0.12	1.27
5	NEMERTINEA		0.16	0.23	0.19		+	+	0.58
6	<i>Acanthochiton rubrolineatus</i>		11.63	0.04	0.05		0.11	0.15	11.98
7	<i>Liolophura japonica</i>		3.18						3.18
8	<i>Patelloida saccharina</i>					0.81			0.81
9	<i>Patelloida pygmaea</i>		0.01						0.01
10	<i>Omphalius rusticus</i>						1.34		1.34
11	<i>Cerithium kobelti</i>							+	+
12	<i>Diala varia</i>						0.09	2.57	2.66
13	<i>Serpulorbis imbricatus</i>						3.39	5.11	8.50
14	<i>Thais clavigera</i>		4.97		0.22				5.19
15	<i>Mitrella bicincta</i>				0.09				0.09
16	<i>Reticunassa festiva</i>							0.15	0.15
17	<i>Alexania inazawai</i>		0.04						0.04
18	Pyramidellidae							0.02	0.02
19	<i>Haloa japonica</i>						0.14	1.43	1.57
20	<i>Smaragdinella sieboldi</i>		0.06						0.06
21	<i>Siphonaria japonica</i>		+			+	0.07		0.07
22	egg of GASTROPODA							0.10	0.10
23	<i>Barbatia virescens</i>		1.00	0.72					1.72
24	<i>Hormomya mutabilis</i>						0.02		0.02
25	<i>Limoperna fortunei kikuchii</i>		0.02						0.02
26	<i>Modiolus nipponicus</i>			0.57	0.09				0.66
27	<i>Musculista senhousia</i>			+			19.30	5.06	24.36
28	<i>Musculus cupreus</i>		0.02		0.04				0.06
29	<i>Mytilus edulis</i>			0.12	0.03				0.15
30	<i>Anomia chinensis</i>		+				0.05	+	0.05
31	<i>Crassostrea gigas</i>		7.01						7.01
32	<i>Saccostrea</i> sp.		1.41						1.41
33	<i>Chama</i> sp.							14.50	14.50
34	<i>Claudiconcha japonica</i>		13.89						13.89
35	Petricolidae			27.98	11.33		13.21	5.11	57.63
36	<i>Harmothoe</i> sp.			0.01	0.05		0.03	0.02	0.11
37	<i>Halosydna brevisetosa</i>		0.13	0.73	0.10		0.07		1.03
38	<i>Lepidonotus helotypus</i>				0.06				0.06
39	<i>Lepidonotus</i> sp.		0.35		0.10	+	0.05		0.50
40	<i>Eulalia</i> sp.		1.02	0.01				0.02	1.05
41	<i>Ophiodromus</i> sp.			0.03	0.03	+	0.04	0.03	0.13
42	Autolytinae			+	0.03				0.03
43	<i>Trypanosyllis taeniaformis</i>				0.06				0.06
44	<i>Typosyllis adamanteus kurilensis</i>							0.05	0.05
45	Syllinae		0.28	0.10	0.12		0.03	0.02	0.55
46	<i>Neanthes caudata</i>			+	0.01		+	0.05	0.06
47	<i>Nereis heterocirrata</i>		0.02		0.12				0.14
48	<i>Nereis multignatha</i>			0.17	0.19				0.36
49	<i>Perinereis cultrifera</i>			0.88	1.78		2.22		4.88
50	<i>Platynereis bicanaliculata</i>			0.03			0.04	0.02	0.09
51	<i>Pseudonereis variegata</i>		0.28						0.28
52	<i>Polydora</i> sp.			0.02	0.02		0.12	0.04	0.20
53	<i>Cirriformia tentaculata</i>					+	0.42	0.20	0.62
54	<i>Dodecaceria</i> sp.				0.10		+	0.01	0.11
55	<i>Polyopthalmus pictus</i>				+		0.08	0.05	0.13
56	<i>Streblosoma</i> sp.			0.04	0.66		0.38	0.73	1.81
57	<i>Sabella</i> sp.		+	0.15	0.57	+	2.46	1.86	5.04
58	<i>Hydroides elegans</i>							0.03	0.03
59	<i>Hydroides zeoensis</i>		1.22	13.55	8.59		14.94	0.38	38.68
60	<i>Pomatoleios krausii</i>		6.23						6.23

注：1. 「+」は0.01g未満を示す。

2. 湿重量の数値は0.09m²当たりの数値で示す。ただし、調査点合計の平均欄は0.54m²当たりの数値で示す。

表4-3-5-9(2) 付着生物調査結果(坪刈り：動物：湿重量) [令和7年度夏季分]

調査年月日：令和7年8月8日

番号	学名	調査点層	A			B			合計
			上層	中層	下層	上層	中層	下層	
61	<i>Balanus trigonus</i>			0.63	1.17		0.39	4.74	6.93
62	Mysidae				+				+
63	Paranthuridae		+				+	+	+
64	Janiridae				+	+			+
65	<i>Holotelson tuberculatus</i>			+					+
66	<i>Dynoides dentisinus</i>		0.08			+			0.08
67	<i>Ampithoe</i> sp.					+	0.10		0.10
68	<i>Corophium</i> sp.				0.01				0.01
69	<i>Ericthonius</i> sp.						+		+
70	<i>Stenothoe</i> sp.			+					+
71	<i>Hyale</i> sp.		0.08			+			0.08
72	<i>Elasmopus japonicus</i>			0.30	0.41	+	0.03	0.04	0.78
73	Dexaminidae				0.01				0.01
74	<i>Caprella equilibra</i>			0.03	0.08	+	+		0.11
75	<i>Caprella penantis</i>			0.07	0.09	+			0.16
76	<i>Caprella scaura diceros</i>		+	+	+				+
77	Paguridae						0.10	0.04	0.14
78	<i>Pachycheles stevensii</i>			0.07	+				0.07
79	<i>Charybdis</i> sp.							0.02	0.02
80	Portunidae				+		+		+
81	<i>Sphaerozoides nitidus</i>		+	1.89	3.31				5.20
82	Xanthidae				0.09				0.09
83	<i>Nanosesarma gordonii</i>		1.54			+			1.54
84	<i>Pugettia quadridens quadridens</i>			0.06	0.25				0.31
85	megalopa of BRACHYURA			0.13	0.02		+	+	0.15
86	<i>Phoronis</i> sp.				+			0.25	0.25
87	Vesiculariidae						+		+
88	Bugulidae		+	21.00	28.25		+		49.25
89	Scrupocellariidae			0.23					0.23
90	Umbonulidae				+				+
91	Cheiloporinidae			0.17	+				0.17
92	Celleporinidae				+		1.00		1.00
93	OPHIUROIDEA			+	+	+		+	+
94	Polyclinidae			0.21	1.84		0.49		2.54
95	<i>Polyandrocarpa zorritensis</i>			12.00	9.89		0.04	1.60	23.53
96	<i>Styela plicata</i>			2.92	8.36		11.13	0.12	22.53
97	Styelidae		0.05	2.93	25.10		0.41	0.09	28.58
98	Pyuridae			0.55	43.35				43.90
	種類数		34	43	54	15	44	42	98
	合計		69.65	89.57	148.83	0.81	72.52	45.46	426.84

注：1. 「+」は0.01g未滿を示す。

2. 湿重量の数値は0.09m²当たりの数値で示す。ただし、調査点合計の平均欄は0.54m²当たりの数値で示す。

表4-3-6-1 漁獲対象動植物調査結果概要(刺網) [令和7年度夏季分]

調査年月日：令和7年8月6日～7日

項目 \ 調査点	St.イ	
種類数	魚類	12
	甲殻類	3
	頭足類	
	その他	
	合計	15
個体数	魚類	288
	甲殻類	4
	頭足類	
	その他	
	合計	292
湿重量(g)	魚類	201,708.7
	甲殻類	247.8
	頭足類	
	その他	
	合計	201,956.5

注：個体数、湿重量は1網当たりの数値で示す。

表4-3-6-2 漁獲対象動植物調査結果(刺網：主要種) [令和7年度夏季分]

調査年月日：令和7年8月6日～7日

項目 \ 調査点		St.イ	
主要種	個体数 (カッコ内は組成比%)	魚類	アカエイ 179 (62.2) シロサメ 46 (16.0) ホラ 34 (11.8)
		甲殻類	イシガニ 2 (50.0) テナガコブシ 1 (25.0) タイワンガサミ 1 (25.0)
		頭足類	
		その他	
		魚類	アカエイ 102,380.9 (50.8) ホラ 79,344.8 (39.3)
	湿重量 (g) (カッコ内は組成比%)	甲殻類	タイワンガサミ 162.8 (65.7) イシガニ 71.3 (28.8) テナガコブシ 13.7 (5.5)
		頭足類	
		その他	
		魚類	

注：1. 個体数、湿重量(g)は1網当たりの数値で示す。

2. 主要種は調査点の各分類群で上位5種(ただし組成比5%以上のもの)を示す。

表 4-3-6-3 漁獲対象動植物調査結果(刺網) [令和7年度夏季分]

調査年月日：令和7年8月6日～7日

番号	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	湿重量 (g)	
1	節足動物	甲殻	エビ	コブシカニ	<i>Myra fugax</i>	テナカコブシ	1	13.7	
2				ワタリカニ	<i>Charybdis japonica</i>	イシカニ	2	71.3	
3					<i>Portunus pelagicus</i>	タイワンカサミ	1	162.8	
4	脊椎動物	軟骨魚	ネズミサメ	トチサメ	<i>Mustelus griseus</i>	シロサメ	46	5,819.1	
5				クササメ	<i>Carcharhinus dussumieri</i>	スミツキサメ	5	2,736.5	
6				エイ	アカエイ	<i>Dasvatis akajei</i>	アカエイ	179	102,380.9
7					トビエイ	<i>Aetobatus flagellum</i>	ナルトビエイ	1	1,583.1
8					硬骨魚	ニシ	カタクチイソ	<i>Engraulis japonicus</i>	カタクチイソ
9		スズキ	ホラ	<i>Mugil cephalus</i>		ホラ	34	79,344.8	
10			ニベ	<i>Nibea albiflora</i>		コイ	1	378.4	
11			タイ	<i>Acanthopagrus schlegeli</i>		クロタイ	5	4,123.1	
12				<i>Acanthopagrus latus</i>		キチヌ	5	5,155.0	
13			ウハウオ	ネズッコ		<i>Repomucenus valenciennesi</i>	ハタタテメリ	7	24.1
14			カレイ	ウシノタ		<i>Cynoglossus joyneri</i>	アカシタビラメ	1	86.4
15					<i>Cynoglossus sp.</i>	イヌノタ属	1	65.0	

注：1. 個体数、湿重量は1網当たりの数値で示す。
 2. 本業務は継続性の高いモニタリング業務であるため、分類体系や学名等が変更された種についても原則的に過年度に合わせた表記とした。

表 4-3-6-4 漁獲対象動植物測定結果概要(刺網) [令和7年度夏季分]

調査年月日：令和7年8月6日～7日

番号	和名	総個体数	湿重量 (g)			全長 (mm)		
			最大	最小	中央値	最大	最小	中央値
1	テナカコブシ	1	13.7	13.7	13.7	41	41	41
2	イシカニ	2	37.8	33.5	35.7	42	42	42
3	タイワンカサミ	1	162.8	162.8	162.8	59	59	59
4	シロサメ	46	177.8	70.8	127.8	405	311	364
5	スミツキサメ	5	724.7	411.7	520.6	540	450	494
6	アカエイ	179	2,369.4	116.2	592.3	843	365	572
7	ナルトビエイ	1	1,583.1	1,583.1	1,583.1	998	998	998
8	カタクチイソ	3	6.8	2.3	3.2	113	88	110
9	ホラ	34	3,270.0	1,078.1	2,362.4	704	481	628
10	コイ	1	378.4	378.4	378.4	343	343	343
11	クロタイ	5	1,179.6	579.5	694.3	447	361	375
12	キチヌ	5	1,164.0	757.6	1,107.0	412	360	406
13	ハタタテメリ	7	5.8	2.6	3.0	134	93	104
14	アカシタビラメ	1	86.4	86.4	86.4	240	240	240
15	イヌノタ属	1	65.0	65.0	65.0	218	218	218

注：表中の全長の計測部位は以下を示す。
 魚類・エビ・シヤコ：全長、カニ：甲長、巻貝：殻高、二枚貝：殻長、ウニ：殻径、ヒトデ：幅長、ブンプク：長径

表4-3-6-5(1) 漁獲対象動植物測定結果(刺網) [令和7年度夏季分]

調査年月日：令和7年8月6日～7日

通しNo.	和名	No.	体重(g)	全長(mm)	体長(mm)	その他(mm)	備考
1	テナガコブシ	1	13.7	41	30		
2	イシカニ	1	33.5	42	59		
3		2	37.8	42	59		
4	タイワンガザミ	1	162.8	59	106	135	
5	シロザメ	1	70.8	321	151		
6		2	73.4	374	162		
7		3	74.2	311	141		
8		4	84.4	335	142		
9		5	89.6	352	157		
10		6	97.1	361	160		
11		7	101.1	332	150		
12		8	103.4	352	153		
13		9	104.1	356	133		
14		10	104.9	345	157		
15		11	108.4	340	148		
16		12	108.5	340	155		
17		13	114.3	356	163		
18		14	116.1	353	158		
19		15	118.1	348	152		
20		16	119.3	342	157		
21		17	122.4	364	158		
22		18	122.5	354	153		
23		19	123.1	363	156		
24		20	124.8	355	171		
25		21	125.1	367	171		
26		22	125.1	372	163		
27		23	127.7	377	171		
28		24	127.8	375	173		
29		25	128.1	386	177		
30		26	129.5	378	168		
31		27	129.8	352	163		
32		28	130.2	360	172		
33		29	131.2	354	150		
34		30	131.7	364	172		
35		31	139.9	372	168		
36		32	141.5	374	162		
37		33	142.8	361	167		
38		34	144.3	362	164		
39		35	145.4	400	185		
40		36	146.6	377	178		
41		37	148.5	375	173		
42		38	149.5	384	172		
43		39	151.7	382	168		
44		40	152.8	380	170		
45		41	156.7	383	173		
46		42	157.9	378	168		
47		43	161.0	380	173		
48		44	166.6	400	188		
49		45	169.4	383	177		
50		46	177.8	405	182		

注：表中の全長、体長、その他の計測部位を以下に示す。
 全長は、魚類・エビ・シヤコ：全長、カニ：甲長、巻貝：殻高、二枚貝：殻長、ウニ：殻径、ヒトデ：幅長、
 プンブク：長径
 体長は、魚類・エビ・シヤコ：体長、エイ：胎盤長、ウナギ・アナゴ・ハモ：肛門長、カニ：甲幅、巻貝：殻径、
 二枚貝：殻高、タコ：腹套長、イカ：背套長、ヒトデ：間幅長、プンブク：短径
 その他は、ガザミ：全殻幅、エビ・シヤコ：頭甲胸長

表4-3-6-5(2) 漁獲対象動植物測定結果(刺網) [令和7年度夏季分]

調査年月日：令和7年8月6日～7日

通しNo.	和名	No.	体重(g)	全長(mm)	体長(mm)	その他(mm)	備考
51	スミツキサメ	1	411.7	450	208		
52		2	477.7	458	227		
53		3	520.6	494	235		
54		4	601.8	502	234		
55		5	724.7	540	261		
56	アカエイ	1	116.2	365	133		
57		2	177.5	428	158		
58		3	180.5	380	158		
59		4	206.4	428	172		
60		5	214.8	417	167		
61		6	240.1	433	175		
62		7	309.3	475	190		
63		8	312.1	507	198		
64		9	318.7	483	195		
65		10	319.7	506	189		
66		11	320.8	475	187		
67		12	342.6	467	200		
68		13	348.5	522	206		
69		14	376.2	497	194		
70		15	376.4	514	214		
71		16	379.0	535	209		
72		17	402.7	501	198		
73		18	405.2	497	203		
74		19	412.2	515	203		
75		20	425.3	557	213		
76		21	458.1	549	199		
77		22	471.8	523	210		
78		23	501.7	574	220		
79		24	521.7	562	228		
80		25	585.7	545	232		
81		26	598.8	569	230		
82		27	630.0	632	227		
83		28	645.2	603	228		
84		29	650.8	578	236		
85		30	652.4	627	240		
86		31	664.9	587	232		
87		32	698.8	593	249		
88		33	739.2	603	255		
89		34	755.6	628	260		
90		35	804.9	619	257		
91		36	847.6	664	264		
92		37	892.5	708	262		
93		38	959.0	653	262		
94		39	980.9	663	268		
95		40	1,038.4	642	273		
96		41	1,077.1	717	275		
97		42	1,115.4	697	288		
98		43	1,570.8	803	312		
99		44	1,681.9	834	332		
100		45	1,705.4	783	328		

注：表中の全長、体長、その他の計測部位を以下に示す。

全長は、魚類・エビ・シヤコ：全長、カニ：甲長、巻貝：殻高、二枚貝：殻長、ウニ：殻径、ヒトデ：幅長、
 プンブク：長径

体長は、魚類・エビ・シヤコ：体長、エイ：胎盤長、ウナギ・アナゴ・ハモ：肛門長、カニ：甲幅、巻貝：殻径、
 二枚貝：殻高、タコ：腹套長、イカ：背套長、ヒトデ：間幅長、プンブク：短径

その他は、ガザミ：全殻幅、エビ・シヤコ：頭甲胸長

表4-3-6-5(3) 漁獲対象動植物測定結果(刺網) [令和7年度夏季分]

調査年月日：令和7年8月6日～7日

通しNo.	和名	No.	体重(g)	全長(mm)	体長(mm)	その他(mm)	備考
101	アカエイ	46	1,739.2	787	320		
102		47	1,984.1	797	332		
103		48	2,022.6	777	345		
104		49	2,213.8	835	343		
105		50	2,369.4	843	353		
106				64,619.0			
107	ナルトビエイ	1	1,583.1	998	300		
108	カタクチイワシ	1	2.3	88	76		
109		2	3.2	113	97		
110		3	6.8	110	94		
111	ホアラ	1	1,078.1	481	388		
112		2	1,193.5	504	410		
113		3	1,363.7	520	428		
114		4	1,653.6	558	448		
115		5	1,807.3	579	467		
116		6	1,853.8	595	473		
117		7	1,934.0	584	477		
118		8	1,936.2	589	475		
119		9	1,950.1	587	475		
120		10	2,047.2	588	466		
121		11	2,188.6	587	467		
122		12	2,204.2	593	478		
123		13	2,204.3	579	454		
124		14	2,215.7	637	497		
125		15	2,283.8	618	506		
126		16	2,323.1	622	497		
127		17	2,328.3	608	482		
128		18	2,396.4	592	483		
129		19	2,466.0	647	521		
130		20	2,487.1	691	523		
131		21	2,560.4	634	512		
132		22	2,584.5	639	518		
133		23	2,640.2	644	515		
134		24	2,754.9	644	523		
135		25	2,755.4	635	517		
136		26	2,776.5	662	545		
137		27	2,793.2	656	535		
138		28	2,796.0	647	522		
139		29	2,814.3	704	568		
140		30	2,835.7	657	517		
141		31	2,851.8	645	525		
142		32	2,878.4	648	526		
143		33	3,118.5	675	555		
144		34	3,270.0	686	552		
145	コイチ	1	378.4	343	286		
146	クロダエイ	1	579.5	375	306		
147		2	663.3	367	288		
148		3	694.3	361	278		
149		4	1,006.4	423	348		
150		5	1,179.6	447	370		

注：表中の全長、体長、その他の計測部位を以下に示す。

全長は、魚類・エビ・シヤコ：全長、カニ：甲長、巻貝：殻高、二枚貝：殻長、ウニ：殻径、ヒトデ：幅長、
 プンブク：長径

体長は、魚類・エビ・シヤコ：体長、エイ：胎盤長、ウナギ・アナゴ・ハモ：肛門長、カニ：甲幅、巻貝：殻径、
 二枚貝：殻高、タコ：腹套長、イカ：背套長、ヒトデ：間幅長、プンブク：短径

その他は、ガザミ：全殻幅、エビ・シヤコ：頭甲胸長

表4-3-6-5(4) 漁獲対象動植物測定結果(刺網) [令和7年度夏季分]

調査年月日：令和7年8月6日～7日

通しNo.	和名	No.	体重(g)	全長(mm)	体長(mm)	その他(mm)	備考
151	キチヌ	1	757.6	360	292		
152		2	975.1	382	305		
153		3	1,107.0	406	326		
154		4	1,151.3	412	330		
155		5	1,164.0	412	330		
156	ハタテヌメリ	1	2.6	100	68		
157		2	2.7	97	67		
158		3	2.9	93	65		
159		4	3.0	104	68		
160		5	3.5	116	75		
161		6	3.6	109	70		
162		7	5.8	134	92		
163	アカシタビラメ	1	86.4	240	206		
164	イヌシタ属	1	65.0	218	200		

注：表中の全長、体長、その他の計測部位を以下に示す。

全長は、魚類・エビ・シヤコ：全長、カニ：甲長、巻貝：殻高、二枚貝：殻長、ウニ：殻径、ヒトデ：幅長、
 プンブク：長径

体長は、魚類・エビ・シヤコ：体長、エイ：胎盤長、ウナギ・アナゴ・ハモ：肛門長、カニ：甲幅、巻貝：殻径、
 二枚貝：殻高、タコ：腹套長、イカ：背套長、ヒトデ：間幅長、プンブク：短径

その他は、ガザミ：全殻幅、エビ・シヤコ：頭甲胸長

表 4-3-6-6 漁獲対象動植物調査結果概要(底引網) [令和7年度夏季分]

調査年月日：令和 7年 8月 20日

項目 \ 調査点	St.イ	
種類数	魚類	3
	甲殻類	3
	頭足類	
	その他	4
	合計	10
個体数	魚類	3
	甲殻類	23
	頭足類	
	その他	26
	合計	52
湿重量 (g)	魚類	929.6
	甲殻類	218.0
	頭足類	
	その他	176.5
	合計	1,324.1

注：個体数、湿重量は1網当たりの数値で示す。

表4-3-6-7 漁獲対象動植物調査結果（底引網：主要種） [令和7年度夏季分]

調査年月日：令和7年8月20日

項目 \ 調査点		St.イ	
主要種	個体数 (カッコ内は組成比%)	魚類	カタチイワシ 1 (33.3) キチヌ 1 (33.3) ハタテヌメリ 1 (33.3)
		甲殻類	テナガコブシ 20 (87.0) ヘトリコブシ 2 (8.7)
		頭足類	
		その他	ヒトデ [△] 21 (80.8) アカガイ 2 (7.7) モシガイ 2 (7.7)
	湿重量 (g) (カッコ内は組成比%)	魚類	キチヌ 922.9 (99.3)
		甲殻類	テナガコブシ 171.1 (78.5) イシガニ 41.5 (19.0)
		頭足類	
		その他	ヒトデ [△] 92.7 (52.5) アカガイ 49.0 (27.8) タイラギ [△] 26.9 (15.2)

注：1. 個体数、湿重量は1網当たりの数値で示す。

2. 主要種は各調査点の各分類群で上位5種（ただし組成比5%以上のもの）を示す。

表4-3-6-8 漁獲対象動植物調査結果(底引網) [令和7年度夏季分]

調査年月日：令和7年8月20日

番号	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	湿重量 (g)
1	軟体動物	ニマイガイ	フネガイ	フネガイ	<i>Scapharca broughtonii</i>	フネガイ	2	49.0
2			イガイ	ハネウキガイ	<i>Atrina pectinata</i>	タイフキ	1	26.9
3	節足動物	甲殻	エビ	コブシカニ	<i>Myra fugax</i>	テナガコブシ	20	171.1
4					<i>Philyra heterograna</i>	ハトリコブシ	2	5.4
5				ワタリカニ	<i>Charybdis japonica</i>	イシカニ	1	41.5
6	棘皮動物	ヒトデ	モミジガイ	モミジガイ	<i>Astropecten scoparius</i>	モミジガイ	2	7.9
7			キヒトデ	キヒトデ	<i>Asterias amurensis</i>	ヒトデ	21	92.7
8	脊椎動物	硬骨魚	ニシ	カタチイワシ	<i>Engraulis japonicus</i>	カタチイワシ	1	4.0
9			スズキ	ガイ	<i>Acanthopagrus latus</i>	キチヌ	1	922.9
10			ウハウハ	ネズッポ	<i>Repomucenus valenciennesi</i>	ハタテヌメリ	1	2.7

注：1. 個体数、湿重量は1網当たりの数値で示す。
 2. 本業務は継続性の高いモニタリング業務であるため、分類体系や学名等が変更された種についても原則的に過年度に合わせた表記とした。

表4-3-6-9 漁獲対象動植物測定結果概要(底引網) [令和7年度夏季分]

調査年月日：令和7年8月20日

番号	和名	総個体数	湿重量 (g)			全長 (mm)		
			最大	最小	中央値	最大	最小	中央値
1	アカガイ	2	32.2	16.8	24.5	48	44	46
2	タイフキ	1	26.9	26.9	26.9	120	120	120
3	テナガコブシ	20	12.2	3.8	9.0	39	25	35
4	ハトリコブシ	2	3.3	2.1	2.7	18	16	17
5	イシカニ	1	41.5	41.5	41.5	40	40	40
6	モミジガイ	2	5.1	2.8	4.0	36	26	31
7	ヒトデ	21	7.3	2.5	4.2	43	28	34
8	カタチイワシ	1	4.0	4.0	4.0	89	89	89
9	キチヌ	1	922.9	922.9	922.9	391	391	391
10	ハタテヌメリ	1	2.7	2.7	2.7	76	76	76

注：表中の全長の計測部位を以下に示す。
 魚類・エビ・シヤコ：全長、カニ：甲長、巻貝：殻高、二枚貝：殻長、ウニ：殻径、ヒトデ：幅長、ブンプク：長径

表4-3-6-10 漁獲対象動植物測定結果(底引網) [令和7年度夏季分]

調査年月日：令和7年8月20日

通しNo.	和名	No.	体重(g)	全長(mm)	体長(mm)	その他(mm)	備考
1	アカガイ	1	16.8	44	33		
2		2	32.2	48	38		
3	タイキ	1	26.9	120	61		
4	テナガコブシ	1	3.8	25	19		
5		2	5.0	28	21		
6		3	5.5	29	21		
7		4	5.6	29	22		
8		5	7.2	32	23		
9		6	7.6	31	24		
10		7	8.4	34	25		
11		8	8.5	35	26		
12		9	8.7	34	26		
13		10	8.7	35	25		
14		11	9.2	35	26		
15		12	9.4	34	26		
16		13	9.5	35	26		
17		14	9.7	34	27		
18		15	9.7	35	26		
19		16	9.7	36	27		
20		17	10.5	35	26		
21		18	10.5	36	27		
22		19	11.7	37	27		
23		20	12.2	39	29		
24	ハトリコブシ	1	2.1	16	16		
25		2	3.3	18	18		
26	イシガエ	1	41.5	40	59		
27	モミシガイ	1	2.8	26	7		
28		2	5.1	36	9		
29	ヒトデ	1	2.5	34	5		
30		2	2.7	31	5		
31		3	3.2	36	5		
32		4	3.4	29	4		
33		5	3.6	31	4		
34		6	3.9	30	3		
35		7	3.9	33	4		
36		8	3.9	34	4		
37		9	3.9	36	5		
38		10	4.2	29	4		
39		11	4.2	32	4		
40		12	4.3	28	3		
41		13	4.4	29	3		
42		14	4.4	35	5		
43		15	4.6	37	5		
44		16	5.1	35	6		
45		17	5.3	30	4		
46		18	5.6	39	5		
47		19	6.1	41	6		
48		20	6.2	40	6		
49		21	7.3	43	6		
50	カクチイソ	1	4.0	89	75		
51	キナ	1	922.9	391	313		
52	ハタテスメリ	1	2.7	76	58		

注：表中の全長、体長、その他の計測部位を以下に示す。
 全長は、魚類・エビ・シヤコ：全長、カニ：甲長、巻貝：殻高、二枚貝：殻長、ウニ：殻径、ヒトデ：幅長
 プンブク：長径
 体長は、魚類・エビ・シヤコ：体長、エイ：胎盤長、ウナギ・アナゴ・ハモ：肛門長、カニ：甲幅、巻貝：殻径、
 二枚貝：殻高、タコ：腹套長、イカ：背套長、ヒトデ：間幅長、プンブク：短径
 その他は、ガザミ：全殻幅、エビ・シヤコ：頭甲胸長

4-4 ダイオキシン類調査結果

4-4-1 水質調査結果

分析結果概要を表4-4-1-1、それぞれの同族体及び異性体別測定結果を表4-4-1-2～表4-4-1-7に示す。また、同族体及び異性体のパターンを図4-4-1-1～図4-4-1-6に示す。

本調査の結果は、0.061～0.073pg-TEQ/Lであり、各地点とも環境基準を下回っていた。

令和6年度「大阪府ダイオキシン類常時監視結果」（巻末参考資料参照）によると、大阪湾における水質の濃度は0.032～0.045pg-TEQ/Lであり、今回の結果はそれらの結果と比較するとやや高い値であったが、環境基準を満たしていた。

表4-4-1-1 分析結果概要（水質）

試料名	試験項目	実測濃度 (pg/L)	毒性当量
			(pg-TEQ/L)
St.1	PCDDs+PCDFs	2.1	0.057
	Co-PCBs	8.8	0.014
	ダイオキシン類	-	0.071
St.2	PCDDs+PCDFs	1.7	0.055
	Co-PCBs	10	0.012
	ダイオキシン類	-	0.067
St.3	PCDDs+PCDFs	1.5	0.058
	Co-PCBs	9.4	0.0070
	ダイオキシン類	-	0.065
St.4	PCDDs+PCDFs	1.7	0.059
	Co-PCBs	9.9	0.014
	ダイオキシン類	-	0.073
St.S-1	PCDDs+PCDFs	1.5	0.054
	Co-PCBs	9.5	0.0070
	ダイオキシン類	-	0.061
St.S-2	PCDDs+PCDFs	1.3	0.054
	Co-PCBs	10	0.010
	ダイオキシン類	-	0.064

この表は、ダイオキシン類測定結果から一部のデータを抜粋した参考資料である。

毒性当量：2,3,7,8-TCDD 毒性当量を示す。

毒性等価係数は以下の係数を適用した。

PCDDs,PCDFs：WHO/IPCS（2006）

Co-PCBs：WHO/IPCS(2006)

毒性当量は検出下限未満のものは、試料における検出下限の1/2の値を用いて算出したものである。

表示は原則として2桁とするが、合計の算出には丸めを行っていない数値を用いているため、表示上の数値を合計しても一致しない場合がある。

表4-4-1-2 ダイオキシン類調査結果（水質：St. 1）

試料名		St.1		試料媒体		水質	
採取日		2025年8月5日		試料量 (L)		9.0	
		検出下限値 (pg/L)	定量下限値 (pg/L)	実測濃度 (pg/L)	毒性当量		
					WHO-TEF,2006 *1	WHO-TEF,2006 *2	
					(pg-TEQ/L)	(pg-TEQ/L)	
ダイオキシン	1,3,6,8-TeCDD	0.03	0.11	0.18	—	—	
	1,3,7,9-TeCDD	0.03	0.11	0.11	—	—	
	2,3,7,8-TeCDD	0.03	0.11	N.D.	×1 0	×1 0.015	
	TeCDDs	0.03	0.11	0.29	—	—	
	1,2,3,7,8-PeCDD	0.03	0.11	N.D.	×1 0	×1 0.015	
	PeCDDs	0.03	0.11	0.12	—	—	
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.05	0.16	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.0025	
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.07	0.25	N.D.	0	0.0035	
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.04	0.12	N.D.	0	0.002	
	HxCDDs	0.07	0.25	(0.14)	—	—	
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.05	0.16	0.16	×0.01 0.0016	×0.01 0.0016	
	HpCDDs	0.05	0.16	0.28	—	—	
	OCDD	0.2	0.7	(0.6)	×0.0003 0	×0.0003 0.00018	
	Total PCDDs	—	—	1.4	0.0016	0.040	
ジベンゾフラン	1,2,7,8-TeCDF	0.03	0.11	(0.05)	—	—	
	2,3,7,8-TeCDF	0.03	0.11	(0.03)	×0.1 0	×0.1 0.003	
	TeCDFs	0.03	0.11	0.51	—	—	
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.02	0.06	N.D.	×0.03 0	×0.03 0.0003	
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.02	0.08	N.D.	×0.3 0	×0.3 0.003	
	PeCDFs	0.02	0.08	0.12	—	—	
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.05	0.17	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.0025	
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.05	0.18	N.D.	0	0.0025	
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	0.07	0.22	N.D.	0	0.0035	
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	0.04	0.15	N.D.	0	0.002	
	HxCDFs	0.07	0.22	N.D.	—	—	
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.04	0.14	N.D.	×0.01 0	×0.01 0.0002	
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.05	0.15	N.D.	0	0.00025	
	HpCDFs	0.05	0.15	N.D.	—	—	
OCDF	0.1	0.4	N.D.	×0.0003 0	×0.0003 0.000015		
Total PCDFs	—	—	0.63	0	0.017		
Total PCDDs+PCDFs		—	—	2.1	0.0016	0.057	
COPs	3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.06	0.18	0.9	×0.0001 0.000090	×0.0001 0.000090	
	3,4,4',5'-TeCB(#81)	0.06	0.19	(0.09)	×0.0003 0	×0.0003 0.000027	
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	0.04	0.12	0.12	×0.1 0.012	×0.1 0.012	
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.04	0.13	(0.04)	×0.03 0	×0.03 0.0012	
	Non-ortho PCBs	—	—	1.1	0.012	0.013	
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	0.03	0.10	0.12	×0.00003 0.0000036	×0.00003 0.0000036	
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	0.06	0.19	4.9	×0.00003 0.000147	×0.00003 0.000147	
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	0.06	0.20	1.8	×0.00003 0.000054	×0.00003 0.000054	
	2,3,4,4',5'-PeCB(#114)	0.06	0.21	(0.20)	×0.00003 0	×0.00003 0.0000060	
	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	0.06	0.19	(0.17)	×0.00003 0	×0.00003 0.0000051	
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#156)	0.06	0.20	0.33	×0.00003 0.0000099	×0.00003 0.0000099	
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	0.04	0.13	0.13	×0.00003 0.0000039	×0.00003 0.0000039	
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	0.04	0.14	(0.09)	×0.00003 0	×0.00003 0.0000027	
	Mono-ortho PCBs	—	—	7.7	0.00022	0.00023	
Total Co-PCBs	—	—	8.8	0.012	0.014		
Total PCDDs+PCDFs+Co-PCBs		—	—	11	0.014	0.071	

1. 毒性当量とは毒性等価係数を用いて、2,3,7,8-TeCDDの毒性に換算したものであり、計量対象外である。

2. 実測濃度の項において、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字で記載する。

3. 実測濃度の項において、検出下限未満のものは“N.D.”と記載する。

4. 毒性当量 * 1: 定量下限未満の実測濃度を0として算出する。

* 2: 検出下限未満の数値は検出下限値の1/2の値を用いて算出する。

5. 表示は原則として2桁とするが、合計の算出には丸めを行っていない数値を用いているため、表示上の数値を合計しても一致しない場合がある。

表4-4-1-3 ダイオキシン類調査結果 (水質: St. 2)

試料名		St.2		試料媒体		水質	
採取日		2025年8月5日		試料量 (L)		9.0	
		検出下限値	定量下限値	実測濃度	毒性当量		
					WHO-TEF,2006 *1	WHO-TEF,2006 *2	
		pg/L	pg/L	pg/L	pg-TEQ/L	pg-TEQ/L	
ダイオキシン	1,3,6,8-TeCDD	0.03	0.11	0.19	—	—	
	1,3,7,9-TeCDD	0.03	0.11	(0.10)	—	—	
	2,3,7,8-TeCDD	0.03	0.11	N.D.	×1 0	×1 0.015	
	TeCDDs	0.03	0.11	0.28	—	—	
	1,2,3,7,8-PeCDD	0.03	0.11	N.D.	×1 0	×1 0.015	
	PeCDDs	0.03	0.11	(0.07)	—	—	
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.05	0.16	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.0025	
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.07	0.25	N.D.	0	0.0035	
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.04	0.12	N.D.	0	0.002	
	HxCDDs	0.07	0.25	(0.13)	—	—	
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.05	0.16	(0.10)	×0.01 0	×0.01 0.001	
	HpCDDs	0.05	0.16	0.23	—	—	
	OCDD	0.2	0.7	(0.6)	×0.0003 0	×0.0003 0.00018	
Total PCDDs	—	—	1.3	0	0.039		
ジベンゾフラン	1,2,7,8-TeCDF	0.03	0.11	(0.04)	—	—	
	2,3,7,8-TeCDF	0.03	0.11	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.0015	
	TeCDFs	0.03	0.11	0.34	—	—	
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.02	0.06	N.D.	×0.03 0	×0.03 0.0003	
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.02	0.08	N.D.	×0.3 0	×0.3 0.003	
	PeCDFs	0.02	0.08	(0.05)	—	—	
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.05	0.17	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.0025	
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.05	0.18	N.D.	0	0.0025	
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	0.07	0.22	N.D.	0	0.0035	
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	0.04	0.15	N.D.	0	0.002	
	HxCDFs	0.07	0.22	N.D.	—	—	
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.04	0.14	N.D.	×0.01 0	×0.01 0.0002	
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.05	0.15	N.D.	0	0.00025	
HpCDFs	0.05	0.15	N.D.	—	—		
OCDF	0.1	0.4	N.D.	×0.0003 0	×0.0003 0.000015		
Total PCDFs	—	—	0.39	0	0.016		
Total PCDDs+PCDFs	—	—	1.7	0	0.055		
COPs	3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.06	0.18	1	×0.0001 0.00010	×0.0001 0.00010	
	3,4,4',5'-TeCB(#81)	0.06	0.19	(0.08)	×0.0003 0	×0.0003 0.000024	
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	0.04	0.12	(0.11)	×0.1 0	×0.1 0.011	
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.04	0.13	N.D.	×0.03 0	×0.03 0.0006	
	Non-ortho PCBs	—	—	1.2	0.00010	0.012	
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	0.03	0.10	0.15	×0.00003 0.0000045	×0.00003 0.0000045	
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	0.06	0.19	5.7	×0.00003 0.000171	×0.00003 0.000171	
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	0.06	0.20	2	×0.00003 0.000060	×0.00003 0.000060	
	2,3,4,4',5'-PeCB(#114)	0.06	0.21	0.25	×0.00003 0.0000075	×0.00003 0.0000075	
	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	0.06	0.19	0.25	×0.00003 0.0000075	×0.00003 0.0000075	
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#156)	0.06	0.20	0.36	×0.00003 0.0000108	×0.00003 0.0000108	
	2,3,3',4,4',5,5'-HxCB(#157)	0.04	0.13	(0.11)	×0.00003 0	×0.00003 0.0000033	
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	0.04	0.14	(0.07)	×0.00003 0	×0.00003 0.0000021	
Mono-ortho PCBs	—	—	8.9	0.00026	0.00027		
Total Co-PCBs	—	—	10	0.00036	0.012		
Total PCDDs+PCDFs+Co-PCBs	—	—	12	0.00036	0.067		

1. 毒性当量とは毒性等価係数を用いて、2,3,7,8-TeCDDの毒性に換算したものであり、計量対象外である。

2. 実測濃度の項において、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字で記載する。

3. 実測濃度の項において、検出下限未満のものは“N.D.”と記載する。

4. 毒性当量 * 1: 定量下限未満の実測濃度を0として算出する。

* 2: 検出下限未満の数値は検出下限値の1/2の値を用いて算出する。

5. 表示は原則として2桁とするが、合計の算出には丸めを行っていない数値を用いているため、表示上の数値を合計しても一致しない場合がある。

表4-4-1-4 ダイオキシン類調査結果(水質: St. 3)

試料名		St.3		試料媒体		水質	
採取日		2025年8月5日		試料量(L)		9.0	
		検出下限値 pg/L	定量下限値 pg/L	実測濃度 pg/L	毒性当量		
					WHO-TEF,2006 *1	WHO-TEF,2006 *2	
					pg-TEQ/L	pg-TEQ/L	
ダイオキシン	1,3,6,8-TeCDD	0.03	0.11	0.18	—	—	
	1,3,7,9-TeCDD	0.03	0.11	0.12	—	—	
	2,3,7,8-TeCDD	0.03	0.11	N.D.	×1 0	×1 0.015	
	TeCDDs	0.03	0.11	0.3	—	—	
	1,2,3,7,8-PeCDD	0.03	0.11	N.D.	×1 0	×1 0.015	
	PeCDDs	0.03	0.11	(0.04)	—	—	
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.05	0.16	(0.06)	×0.1 0	×0.1 0.006	
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.07	0.25	N.D.	0	0.0035	
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.04	0.12	N.D.	0	0.002	
	HxCDDs	0.07	0.25	(0.14)	—	—	
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.05	0.16	(0.08)	×0.01 0	×0.01 0.0008	
	HpCDDs	0.05	0.16	0.21	—	—	
	OCDD	0.2	0.7	(0.4)	×0.0003 0	×0.0003 0.00012	
	Total PCDDs	—	—	1.1	0	0.042	
ジベンゾフラン	1,2,7,8-TeCDF	0.03	0.11	(0.03)	—	—	
	2,3,7,8-TeCDF	0.03	0.11	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.0015	
	TeCDFs	0.03	0.11	0.33	—	—	
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.02	0.06	N.D.	×0.03 0	×0.03 0.0003	
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.02	0.08	N.D.	×0.3 0	×0.3 0.003	
	PeCDFs	0.02	0.08	(0.07)	—	—	
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.05	0.17	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.0025	
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.05	0.18	N.D.	0	0.0025	
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	0.07	0.22	N.D.	0	0.0035	
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	0.04	0.15	N.D.	0	0.002	
	HxCDFs	0.07	0.22	N.D.	—	—	
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.04	0.14	N.D.	×0.01 0	×0.01 0.0002	
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.05	0.15	N.D.	0	0.00025	
	HpCDFs	0.05	0.15	N.D.	—	—	
OCDF	0.1	0.4	N.D.	×0.0003 0	×0.0003 0.000015		
Total PCDFs	—	—	0.4	0	0.016		
Total PCDDs+PCDFs		—	—	1.5	0	0.058	
COPC	3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.06	0.18	0.99	×0.0001 0.000099	×0.0001 0.000099	
	3,4,4',5'-TeCB(#81)	0.06	0.19	(0.08)	×0.0003 0	×0.0003 0.000024	
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	0.04	0.12	(0.06)	×0.1 0	×0.1 0.006	
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.04	0.13	N.D.	×0.03 0	×0.03 0.0006	
	Non-ortho PCBs	—	—	1.1	0.000099	0.0067	
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	0.03	0.10	0.13	×0.00003 0.0000039	×0.00003 0.0000039	
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	0.06	0.19	5.3	×0.00003 0.000159	×0.00003 0.000159	
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	0.06	0.20	1.9	×0.00003 0.000057	×0.00003 0.000057	
	2,3,4,4',5'-PeCB(#114)	0.06	0.21	0.22	×0.00003 0.0000066	×0.00003 0.0000066	
	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	0.06	0.19	(0.17)	×0.00003 0	×0.00003 0.0000051	
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#156)	0.06	0.20	0.32	×0.00003 0.0000096	×0.00003 0.0000096	
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	0.04	0.13	0.14	×0.00003 0.0000042	×0.00003 0.0000042	
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	0.04	0.14	(0.05)	×0.00003 0	×0.00003 0.0000015	
	Mono-ortho PCBs	—	—	8.2	0.00024	0.00025	
Total Co-PCBs	—	—	9.4	0.00034	0.0070		
Total PCDDs+PCDFs+Co-PCBs		—	—	11	0.00034	0.065	

1. 毒性当量とは毒性等価係数を用いて、2,3,7,8-TeCDDの毒性に換算したものであり、計量対象外である。

2. 実測濃度の項において、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字で記載する。

3. 実測濃度の項において、検出下限未満のものは“N.D.”と記載する。

4. 毒性当量 * 1: 定量下限未満の実測濃度を0として算出する。

* 2: 検出下限未満の数値は検出下限値の1/2の値を用いて算出する。

5. 表示は原則として2桁とするが、合計の算出には丸めを行っていない数値を用いているため、表示上の数値を合計しても一致しない場合がある。

表4-4-1-5 ダイオキシン類調査結果(水質: St. 4)

試料名		St.4		試料媒体		水質	
採取日		2025年8月5日		試料量(L)		9.0	
		検出下限値	定量下限値	実測濃度	毒性当量		
					WHO-TEF,2006 *1	WHO-TEF,2006 *2	
		pg/L	pg/L	pg/L	pg-TEQ/L	pg-TEQ/L	
ダイオキシン	1,3,6,8-TeCDD	0.03	0.11	0.22	—	—	
	1,3,7,9-TeCDD	0.03	0.11	N.D.	—	—	
	2,3,7,8-TeCDD	0.03	0.11	N.D.	×1 0	×1 0.015	
	TeCDDs	0.03	0.11	0.22	—	—	
	1,2,3,7,8-PeCDD	0.03	0.11	N.D.	×1 0	×1 0.015	
	PeCDDs	0.03	0.11	(0.06)	—	—	
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.05	0.16	(0.07)	×0.1 0	×0.1 0.007	
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.07	0.25	N.D.	0	0.0035	
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.04	0.12	N.D.	0	0.002	
	HxCDDs	0.07	0.25	(0.07)	—	—	
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.05	0.16	(0.07)	×0.01 0	×0.01 0.0007	
	HpCDDs	0.05	0.16	0.24	—	—	
	OCDD	0.2	0.7	0.8	×0.0003 0.00024	×0.0003 0.00024	
	Total PCDDs	—	—	1.4	0.00024	0.043	
ジベンゾフラン	1,2,7,8-TeCDF	0.03	0.11	N.D.	—	—	
	2,3,7,8-TeCDF	0.03	0.11	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.0015	
	TeCDFs	0.03	0.11	0.32	—	—	
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.02	0.06	N.D.	×0.03 0	×0.03 0.0003	
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.02	0.08	N.D.	×0.3 0	×0.3 0.003	
	PeCDFs	0.02	0.08	N.D.	—	—	
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.05	0.17	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.0025	
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.05	0.18	N.D.	0	0.0025	
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	0.07	0.22	N.D.	0	0.0035	
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	0.04	0.15	N.D.	0	0.002	
	HxCDFs	0.07	0.22	N.D.	—	—	
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.04	0.14	N.D.	×0.01 0	×0.01 0.0002	
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.05	0.15	N.D.	0	0.00025	
	HpCDFs	0.05	0.15	N.D.	—	—	
OCDF	0.1	0.4	N.D.	×0.0003 0	×0.0003 0.000015		
Total PCDFs	—	—	0.32	0	0.016		
Total PCDDs+PCDFs		—	—	1.7	0.00024	0.059	
COPs	3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.06	0.18	1	×0.0001 0.00010	×0.0001 0.00010	
	3,4,4',5'-TeCB(#81)	0.06	0.19	(0.06)	×0.0003 0	×0.0003 0.000018	
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	0.04	0.12	0.12	×0.1 0.012	×0.1 0.012	
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.04	0.13	(0.06)	×0.03 0	×0.03 0.0018	
	Non-ortho PCBs	—	—	1.3	0.012	0.014	
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	0.03	0.10	0.14	×0.00003 0.0000042	×0.00003 0.0000042	
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	0.06	0.19	5.5	×0.00003 0.000165	×0.00003 0.000165	
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	0.06	0.20	1.8	×0.00003 0.000054	×0.00003 0.000054	
	2,3,4,4',5'-PeCB(#114)	0.06	0.21	0.21	×0.00003 0.0000063	×0.00003 0.0000063	
	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	0.06	0.19	0.24	×0.00003 0.0000072	×0.00003 0.0000072	
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#156)	0.06	0.20	0.41	×0.00003 0.0000123	×0.00003 0.0000123	
	2,3,3',4,4',5,5'-HxCB(#157)	0.04	0.13	0.21	×0.00003 0.0000063	×0.00003 0.0000063	
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	0.04	0.14	(0.09)	×0.00003 0	×0.00003 0.0000027	
	Mono-ortho PCBs	—	—	8.6	0.00026	0.00026	
Total Co-PCBs	—	—	9.9	0.012	0.014		
Total PCDDs+PCDFs+Co-PCBs		—	—	12	0.013	0.073	

1. 毒性当量とは毒性等価係数を用いて、2,3,7,8-TeCDDの毒性に換算したものであり、計量対象外である。

2. 実測濃度の項において、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字で記載する。

3. 実測濃度の項において、検出下限未満のものは“N.D.”と記載する。

4. 毒性当量 * 1: 定量下限未満の実測濃度を0として算出する。

* 2: 検出下限未満の数値は検出下限値の1/2の値を用いて算出する。

5. 表示は原則として2桁とするが、合計の算出には丸めを行っていない数値を用いているため、表示上の数値を合計しても一致しない場合がある。

表4-4-1-6 ダイオキシン類調査結果 (水質: St. S-1)

試料名		St.S-1		試料媒体		水質	
採取日		2025年8月5日		試料量 (L)		9.0	
		検出下限値	定量下限値	実測濃度	毒性当量		
					WHO-TEF,2006 *1	WHO-TEF,2006 *2	
					pg-TEQ/L	pg-TEQ/L	
ダイオキシン	1,3,6,8-TeCDD	0.03	0.11	0.17	—	—	
	1,3,7,9-TeCDD	0.03	0.11	N.D.	—	—	
	2,3,7,8-TeCDD	0.03	0.11	N.D.	×1 0	×1 0.015	
	TeCDDs	0.03	0.11	0.17	—	—	
	1,2,3,7,8-PeCDD	0.03	0.11	N.D.	×1 0	×1 0.015	
	PeCDDs	0.03	0.11	N.D.	—	—	
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.05	0.16	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.0025	
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.07	0.25	N.D.	0	0.0035	
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.04	0.12	N.D.	0	0.002	
	HxCDDs	0.07	0.25 (0.08)	—	—	—	
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.05	0.16 (0.05)	—	×0.01 0	×0.01 0.0005	
	HpCDDs	0.05	0.16	0.16	—	—	
	OCDD	0.2	0.7 (0.5)	—	×0.0003 0	×0.0003 0.00015	
	Total PCDDs	—	—	0.85	0	0.039	
ジベンゾフラン	1,2,7,8-TeCDF	0.03	0.11 (0.04)	—	—	—	
	2,3,7,8-TeCDF	0.03	0.11	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.0015	
	TeCDFs	0.03	0.11	0.59	—	—	
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.02	0.06	N.D.	×0.03 0	×0.03 0.0003	
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.02	0.08	N.D.	×0.3 0	×0.3 0.003	
	PeCDFs	0.02	0.08 (0.04)	—	—	—	
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.05	0.17	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.0025	
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.05	0.18	N.D.	0	0.0025	
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	0.07	0.22	N.D.	0	0.0035	
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	0.04	0.15	N.D.	0	0.002	
	HxCDFs	0.07	0.22	N.D.	—	—	
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.04	0.14	N.D.	×0.01 0	×0.01 0.0002	
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.05	0.15	N.D.	0	0.00025	
	HpCDFs	0.05	0.15	N.D.	—	—	
OCDF	0.1	0.4	N.D.	×0.0003 0	×0.0003 0.000015		
Total PCDFs	—	—	0.62	0	0.016		
Total PCDDs+PCDFs		—	—	1.5	0	0.054	
COPs	3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.06	0.18	1	×0.0001 0.00010	×0.0001 0.00010	
	3,4,4',5'-TeCB(#81)	0.06	0.19 (0.08)	—	×0.0003 0	×0.0003 0.000024	
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	0.04	0.12 (0.06)	—	×0.1 0	×0.1 0.006	
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.04	0.13	N.D.	×0.03 0	×0.03 0.0006	
	Non-ortho PCBs	—	—	1.1	0.00010	0.0067	
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	0.03	0.10	0.1	×0.00003 0.0000030	×0.00003 0.0000030	
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	0.06	0.19	5.4	×0.00003 0.000162	×0.00003 0.000162	
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	0.06	0.20	2	×0.00003 0.000060	×0.00003 0.000060	
	2,3,4,4',5'-PeCB(#114)	0.06	0.21 (0.19)	—	×0.00003 0	×0.00003 0.0000057	
	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	0.06	0.19 (0.16)	—	×0.00003 0	×0.00003 0.0000048	
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#156)	0.06	0.20	0.34	×0.00003 0.0000102	×0.00003 0.0000102	
	2,3,3',4,4',5,5'-HxCB(#157)	0.04	0.13 (0.09)	—	×0.00003 0	×0.00003 0.0000027	
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	0.04	0.14	N.D.	×0.00003 0	×0.00003 0.0000006	
	Mono-ortho PCBs	—	—	8.3	0.00024	0.00025	
Total Co-PCBs	—	—	9.5	0.00034	0.0070		
Total PCDDs+PCDFs+Co-PCBs		—	—	11	0.00034	0.061	

1. 毒性当量とは毒性等価係数を用いて、2,3,7,8-TeCDDの毒性に換算したものであり、計量対象外である。

2. 実測濃度の項において、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字で記載する。

3. 実測濃度の項において、検出下限未満のものは“N.D.”と記載する。

4. 毒性当量 * 1: 定量下限未満の実測濃度を0として算出する。

* 2: 検出下限未満の数値は検出下限値の1/2の値を用いて算出する。

5. 表示は原則として2桁とするが、合計の算出には丸めを行っていない数値を用いているため、表示上の数値を合計しても一致しない場合がある。

表4-4-1-7 ダイオキシン類調査結果 (水質: St. S-2)

試料名		St.S-2		試料媒体		水質	
採取日		2025年8月5日		試料量 (L)		9.0	
		検出下限値	定量下限値	実測濃度	毒性当量		
					WHO-TEF,2006 *1	WHO-TEF,2006 *2	
					pg-TEQ/L	pg-TEQ/L	
ダイオキシン	1,3,6,8-TeCDD	0.03	0.11	0.18	—	—	
	1,3,7,9-TeCDD	0.03	0.11	N.D.	—	—	
	2,3,7,8-TeCDD	0.03	0.11	N.D.	×1 0	×1 0.015	
	TeCDDs	0.03	0.11	0.18	—	—	
	1,2,3,7,8-PeCDD	0.03	0.11	N.D.	×1 0	×1 0.015	
	PeCDDs	0.03	0.11	(0.06)	—	—	
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.05	0.16	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.0025	
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.07	0.25	N.D.	0	0.0035	
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.04	0.12	N.D.	0	0.002	
	HxCDDs	0.07	0.25	(0.07)	—	—	
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.05	0.16	N.D.	×0.01 0	×0.01 0.00025	
	HpCDDs	0.05	0.16	N.D.	—	—	
	OCDD	0.2	0.7	(0.5)	×0.0003 0	×0.0003 0.00015	
	Total PCDDs	—	—	0.81	0	0.038	
ジベンゾフラン	1,2,7,8-TeCDF	0.03	0.11	(0.04)	—	—	
	2,3,7,8-TeCDF	0.03	0.11	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.0015	
	TeCDFs	0.03	0.11	0.43	—	—	
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.02	0.06	N.D.	×0.03 0	×0.03 0.0003	
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.02	0.08	N.D.	×0.3 0	×0.3 0.003	
	PeCDFs	0.02	0.08	(0.03)	—	—	
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.05	0.17	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.0025	
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.05	0.18	N.D.	0	0.0025	
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	0.07	0.22	N.D.	0	0.0035	
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	0.04	0.15	N.D.	0	0.002	
	HxCDFs	0.07	0.22	N.D.	—	—	
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.04	0.14	N.D.	×0.01 0	×0.01 0.0002	
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.05	0.15	N.D.	0	0.00025	
	HpCDFs	0.05	0.15	N.D.	—	—	
OCDF	0.1	0.4	N.D.	×0.0003 0	×0.0003 0.000015		
Total PCDFs	—	—	0.46	0	0.016		
Total PCDDs+PCDFs		—	—	1.3	0	0.054	
COPs	3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.06	0.18	0.93	×0.0001 0.000093	×0.0001 0.000093	
	3,4,4',5'-TeCB(#81)	0.06	0.19	(0.06)	×0.0003 0	×0.0003 0.000018	
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	0.04	0.12	(0.09)	×0.1 0	×0.1 0.009	
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.04	0.13	N.D.	×0.03 0	×0.03 0.0006	
	Non-ortho PCBs	—	—	1.1	0.000093	0.0097	
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	0.03	0.10	0.14	×0.00003 0.0000042	×0.00003 0.0000042	
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	0.06	0.19	5.9	×0.00003 0.000177	×0.00003 0.000177	
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	0.06	0.20	2.2	×0.00003 0.000066	×0.00003 0.000066	
	2,3,4,4',5'-PeCB(#114)	0.06	0.21	(0.19)	×0.00003 0	×0.00003 0.0000057	
	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	0.06	0.19	(0.18)	×0.00003 0	×0.00003 0.0000054	
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#156)	0.06	0.20	0.33	×0.00003 0.0000099	×0.00003 0.0000099	
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	0.04	0.13	(0.10)	×0.00003 0	×0.00003 0.0000030	
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	0.04	0.14	(0.05)	×0.00003 0	×0.00003 0.0000015	
	Mono-ortho PCBs	—	—	9.1	0.00026	0.00027	
Total Co-PCBs	—	—	10	0.00035	0.010		
Total PCDDs+PCDFs+Co-PCBs		—	—	11	0.00035	0.064	

1. 毒性当量とは毒性等価係数を用いて、2,3,7,8-TeCDDの毒性に換算したものであり、計量対象外である。

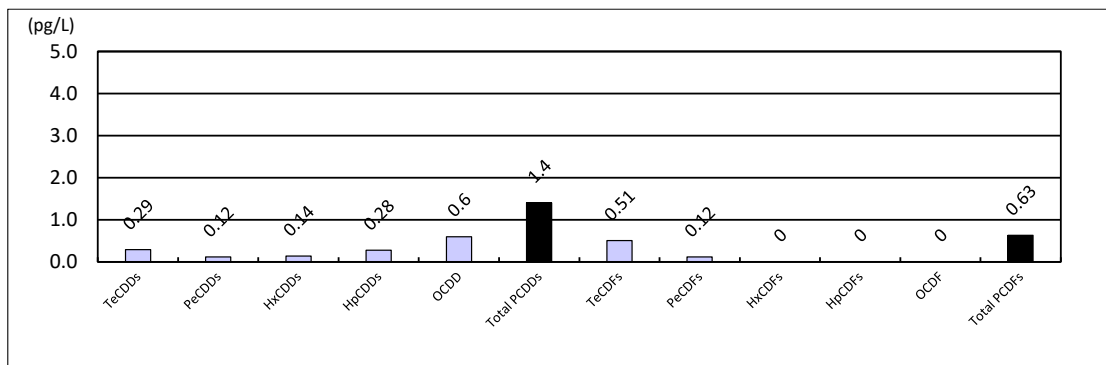
2. 実測濃度の項において、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字で記載する。

3. 実測濃度の項において、検出下限未満のものは“N.D.”と記載する。

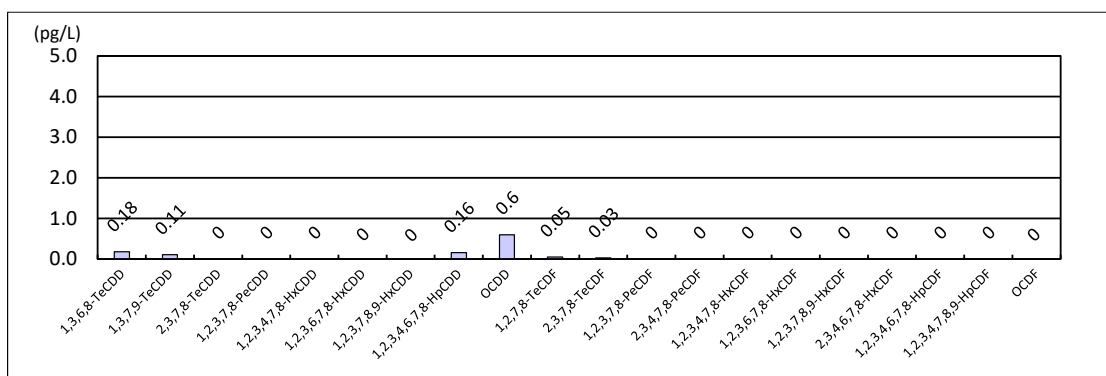
4. 毒性当量 * 1: 定量下限未満の実測濃度を0として算出する。

* 2: 検出下限未満の数値は検出下限値の1/2の値を用いて算出する。

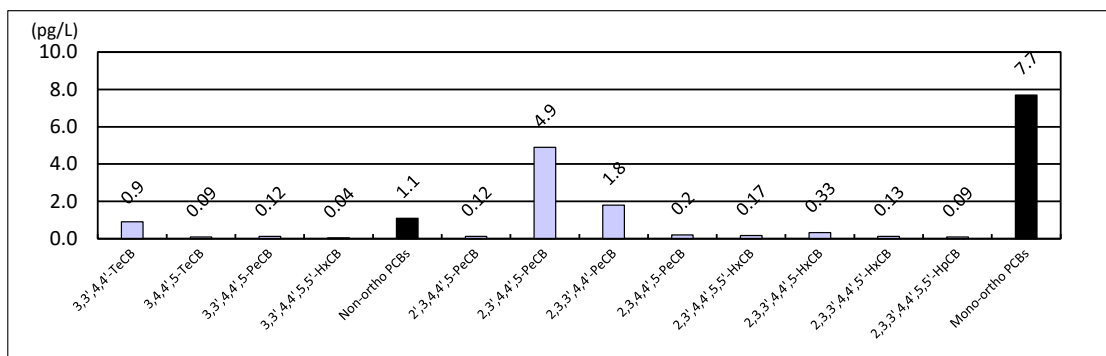
5. 表示は原則として2桁とするが、合計の算出には丸めを行っていない数値を用いているため、表示上の数値を合計しても一致しない場合がある。



ダイオキシン類同族体組成 (実測濃度)

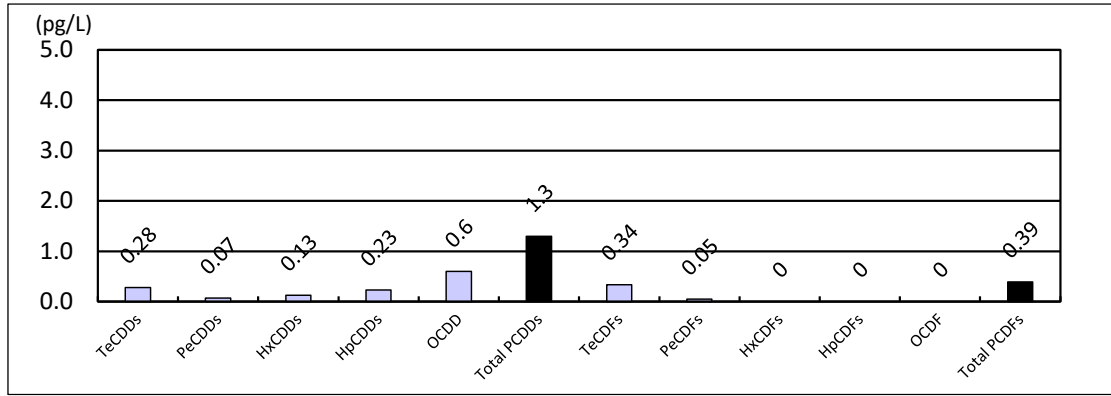


ダイオキシン類 2,3,7,8-位塩素置換異性体組成 (実測濃度)

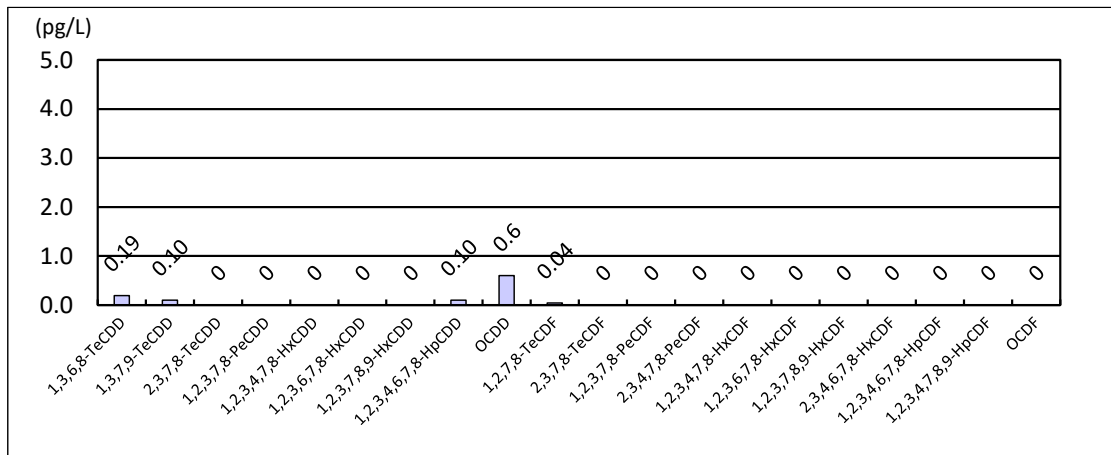


Co-PCBs 異性体組成 (実測濃度)

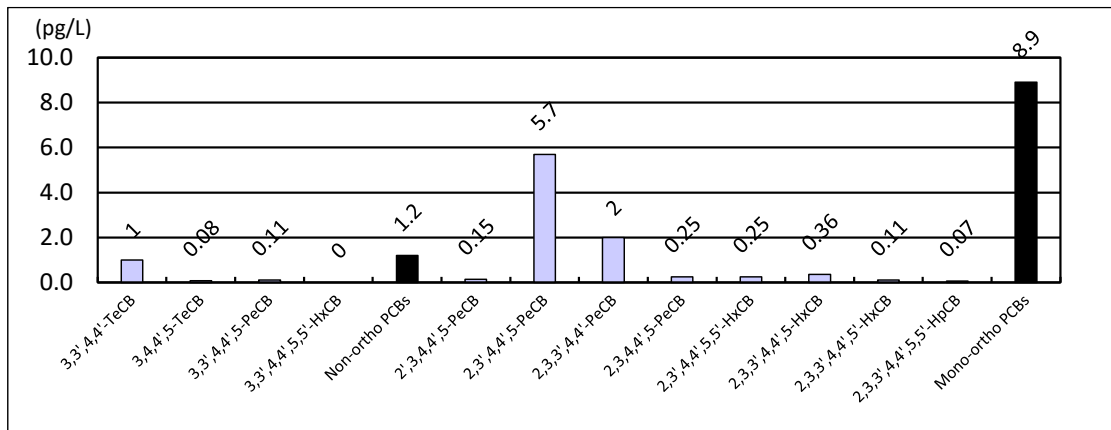
図 4-4-1-1 同族体及び異性体の組成 (水質: St. 1)



ダイオキシン類同族体組成 (実測濃度)

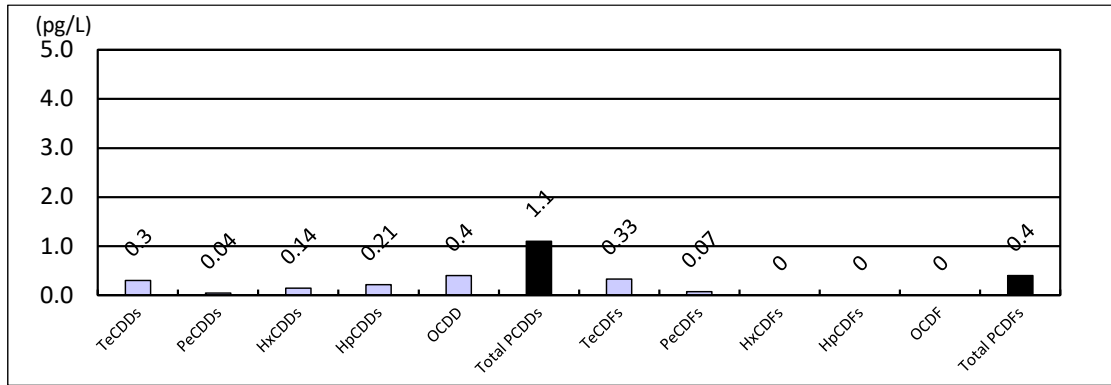


ダイオキシン類 2,3,7,8-位塩素置換異性体組成 (実測濃度)

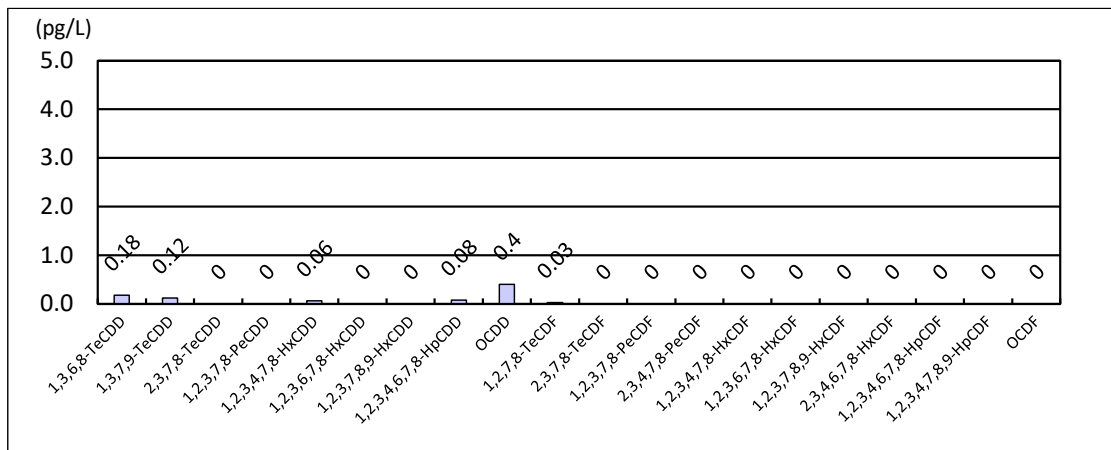


Co-PCBs 異性体組成 (実測濃度)

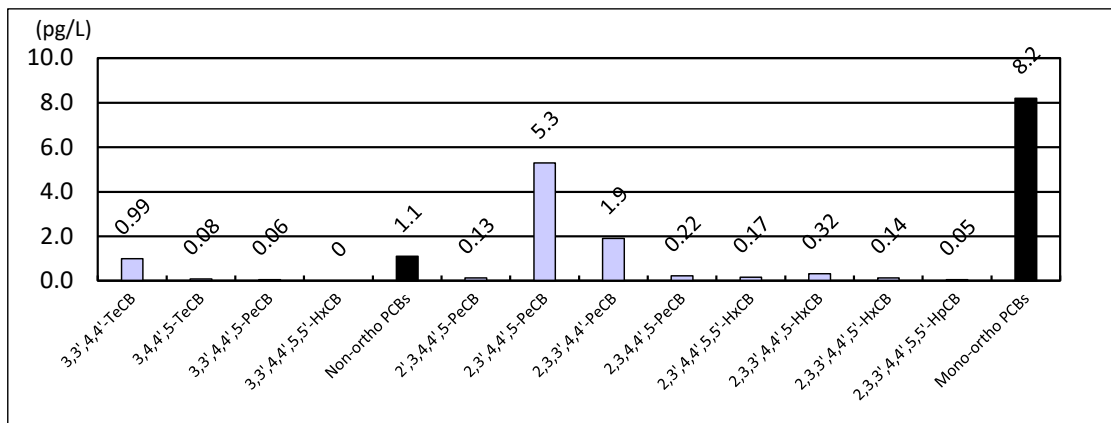
図 4-4-1-2 同族体及び異性体の組成 (水質: St. 2)



ダイオキシン類同族体組成 (実測濃度)

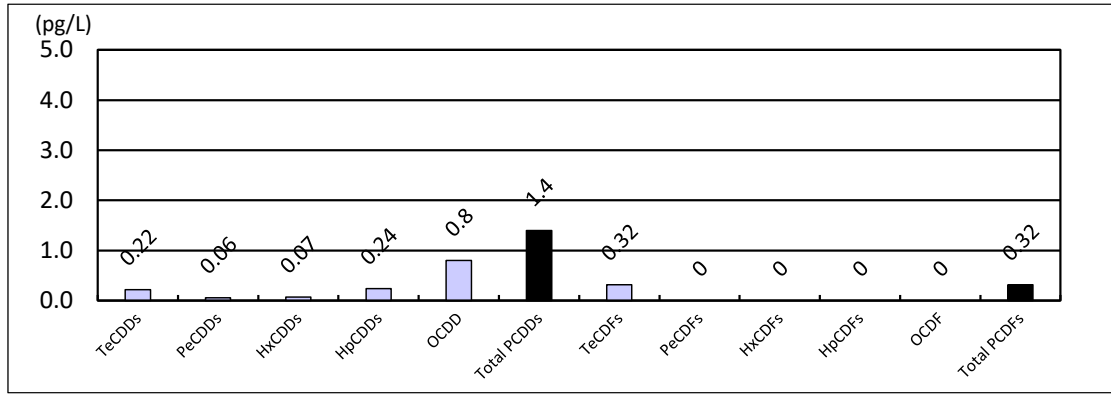


ダイオキシン類 2,3,7,8-位塩素置換異性体組成 (実測濃度)

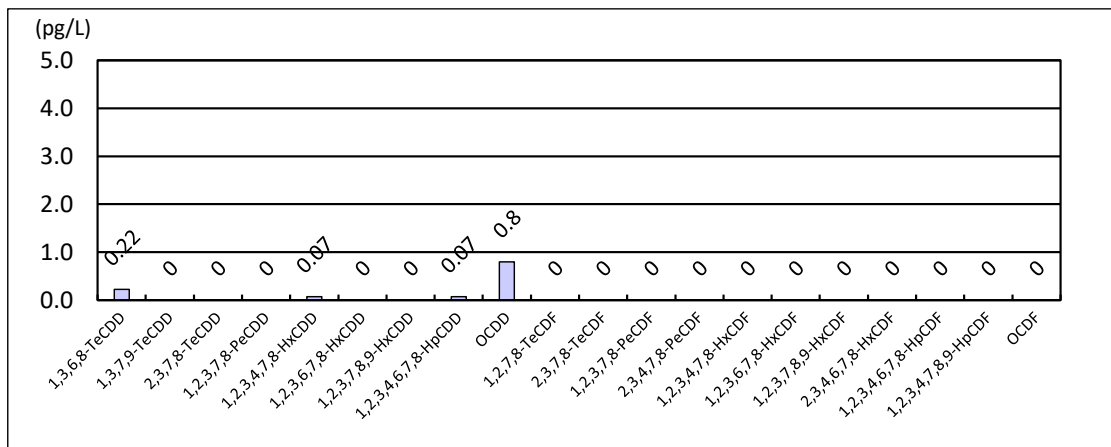


Co-PCBs 異性体組成 (実測濃度)

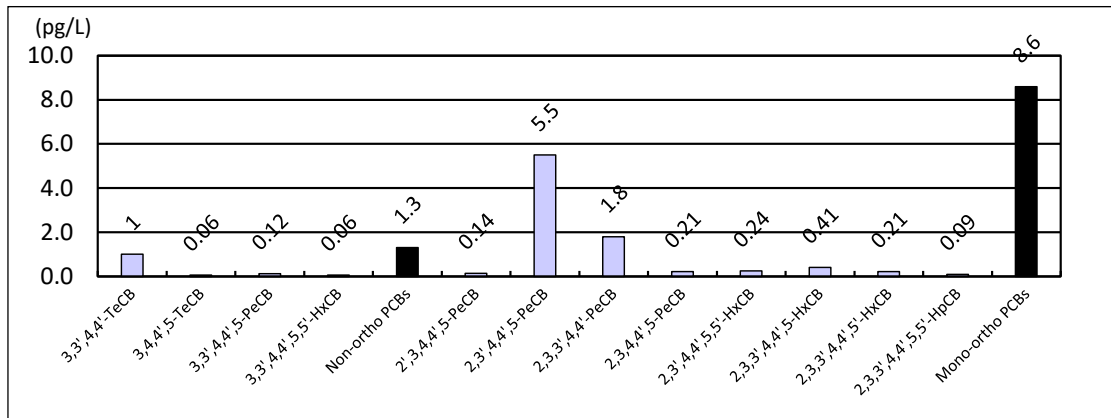
図 4-4-1-3 同族体及び異性体の組成 (水質: St. 3)



ダイオキシン類同族体組成 (実測濃度)

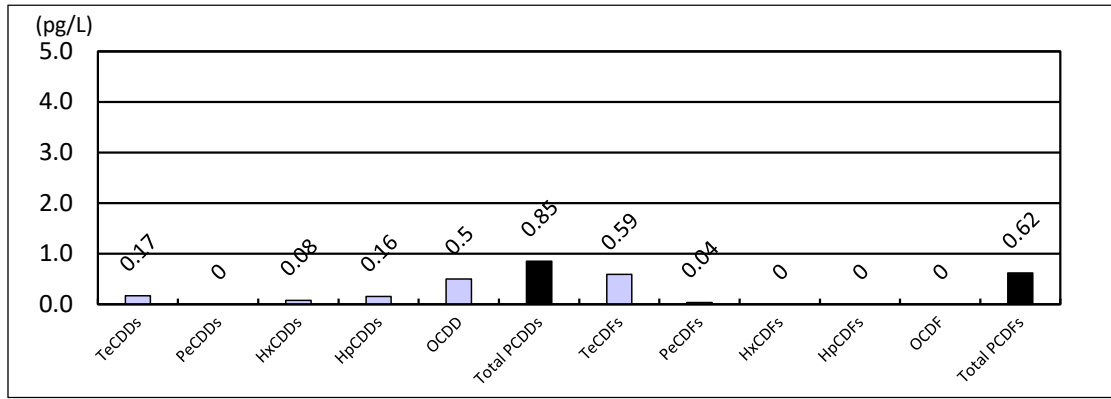


ダイオキシン類 2,3,7,8-位塩素置換異性体組成 (実測濃度)

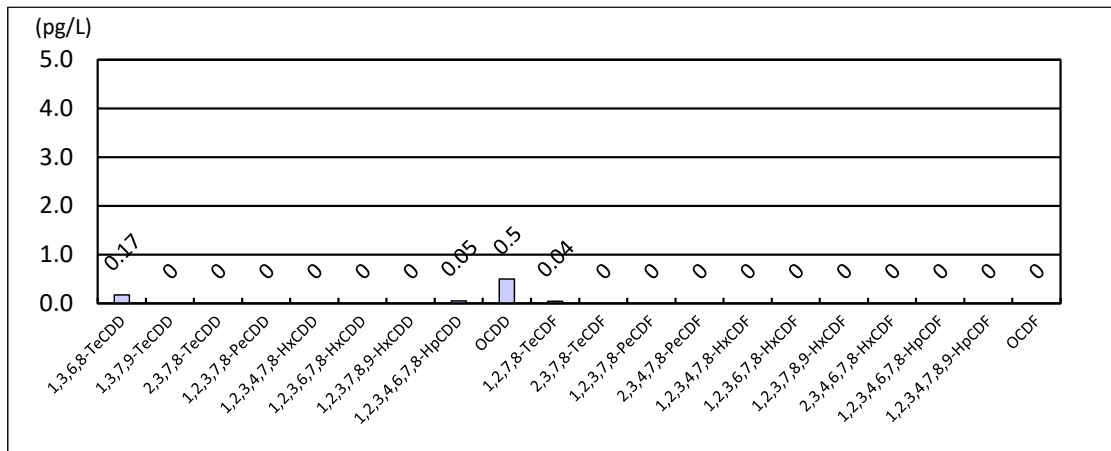


Co-PCBs 異性体組成 (実測濃度)

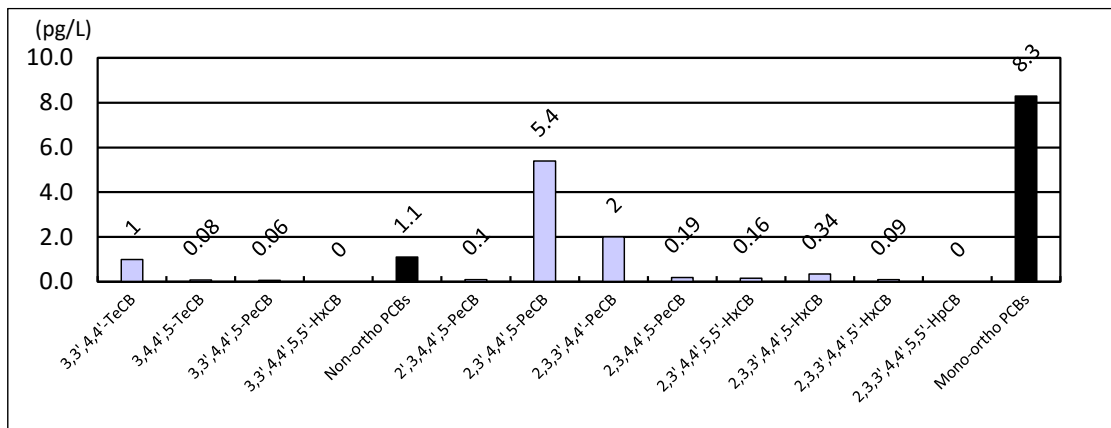
図 4-4-1-4 同族体及び異性体の組成 (水質: St. 4)



ダイオキシン類同族体組成 (実測濃度)

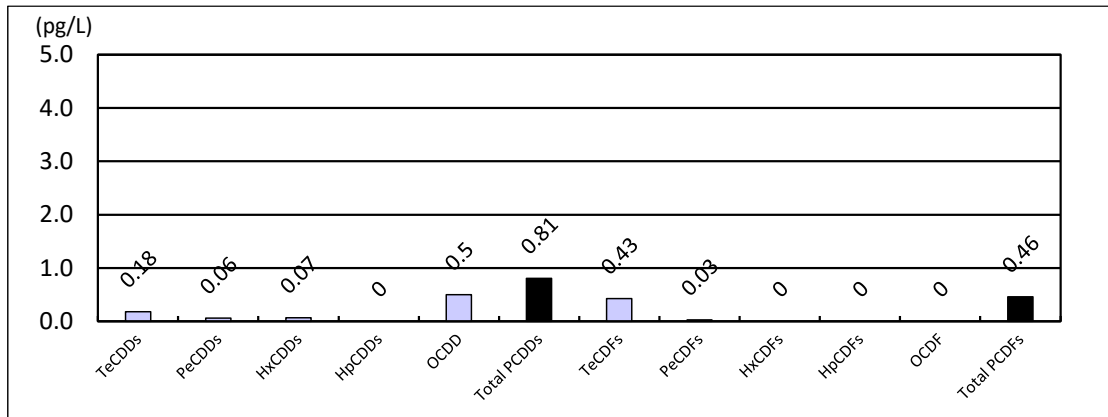


ダイオキシン類 2,3,7,8-位塩素置換異性体組成 (実測濃度)

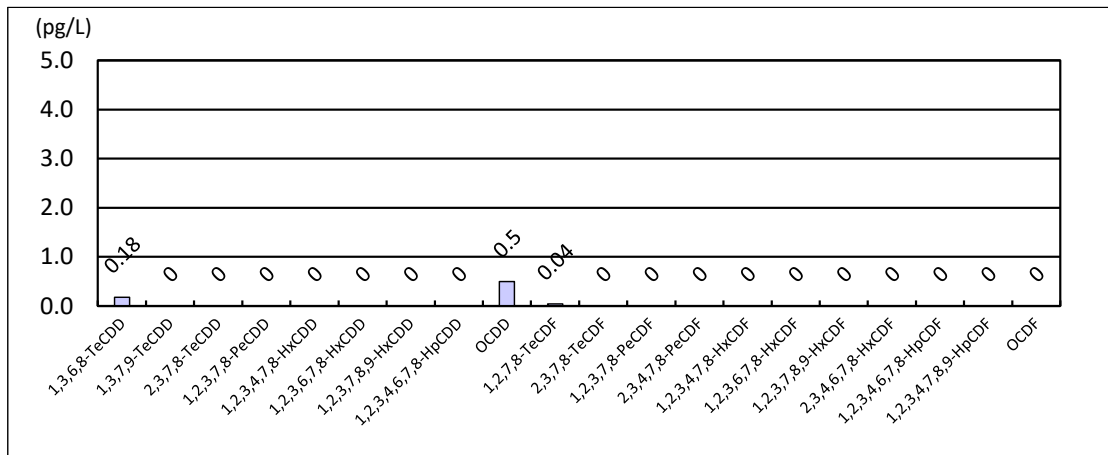


Co-PCBs 異性体組成 (実測濃度)

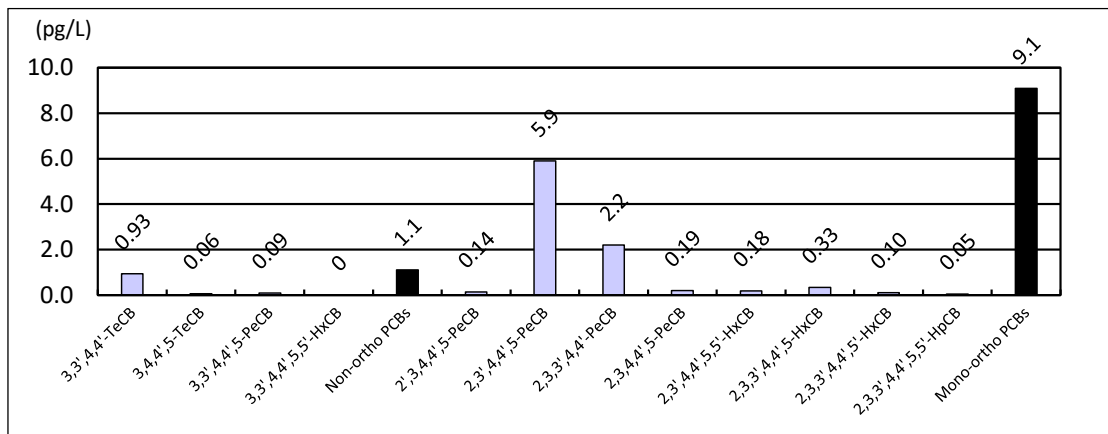
図 4-4-1-5 同族体及び異性体の組成 (水質: St. S-1)



ダイオキシン類同族体組成 (実測濃度)



ダイオキシン類 2,3,7,8-位塩素置換異性体組成 (実測濃度)



Co-PCBs 異性体組成 (実測濃度)

図 4-4-1-6 同族体及び異性体の組成 (水質: St. S-2)

4-4-2 底質調査結果

分析結果概要を表4-4-2-1、表4-4-2-2、それぞれの同族体及び異性体別測定結果を表4-4-2-3～表4-4-2-10に示す。また、同族体及び異性体のパターンを図4-4-2-1～図4-4-2-4に示す。

本調査の結果は、含有試験では1.9～11pg-TEQ/gであり、各地点とも環境基準を下回っていた。溶出試験では0.0084～0.15pg-TEQ/gであり、各地点とも環境基準を下回っていた。

令和6年度「大阪府ダイオキシン類常時監視結果」（巻末参考資料参照）によると、大阪湾における底質の濃度は1.1～11pg-TEQ/gであり、今回の結果はそれらの結果と比較するとほぼ同じ値であった。

表 4-4-2-1 分析結果概要 (底質・含有試験)

試料名	試験項目	実測濃度 (pg/g-dry)	毒性当量
			(pg-TEQ/g-dry)
St.1	PCDDs+PCDFs	770	2.2
	Co-PCBs	250	0.20
	ダイオキシン類	-	2.4
St.2	PCDDs+PCDFs	3000	8.0
	Co-PCBs	1100	0.74
	ダイオキシン類	-	8.7
St.3	PCDDs+PCDFs	610	1.8
	Co-PCBs	270	0.16
	ダイオキシン類	-	1.9
St.4	PCDDs+PCDFs	3500	11
	Co-PCBs	1400	0.92
	ダイオキシン類	-	11

この表は、ダイオキシン類測定結果から一部のデータを抜粋した参考資料である。

毒性当量：2,3,7,8-TCDD 毒性当量を示す。

毒性等価係数は以下の係数を適用した。

PCDDs,PCDFs : WHO/IPCS (2006)

Co-PCBs : WHO/IPCS(2006)

毒性当量は検出下限未満のものは、試料における検出下限の 1/2 の値を用いて算出したものである。

表示は原則として2桁とするが、合計の算出には丸めを行っていない数値を用いているため、表示上の数値を合計しても一致しない場合がある。

表 4-4-2-2 分析結果概要 (底質・溶出試験)

試料名	試験項目	実測濃度	毒性当量
		(pg/L)	(pg-TEQ/L)
St.1	PCDDs+PCDFs	63	0.046
	Co-PCBs	21	0.00076
	ダイオキシン類	-	0.046
St.2	PCDDs+PCDFs	13	0.0080
	Co-PCBs	11	0.00036
	ダイオキシン類	-	0.0084
St.3	PCDDs+PCDFs	110	0.13
	Co-PCBs	40	0.022
	ダイオキシン類	-	0.15
St.4	PCDDs+PCDFs	91	0.13
	Co-PCBs	36	0.019
	ダイオキシン類	-	0.15

この表は、ダイオキシン類測定結果から一部のデータを抜粋した参考資料である。

毒性当量：2,3,7,8-TCDD 毒性当量を示す。

毒性等価係数は以下の係数を適用した。

PCDDs,PCDFs : WHO/IPCS (2006)

Co-PCBs : WHO/IPCS(2006)

毒性当量は検出下限未満のものは、試料における検出下限の 1/2 の値を用いて算出したものである。

表示は原則として2桁とするが、合計の算出には丸めを行っていない数値を用いているため、表示上の数値を合計しても一致しない場合がある。

表4-4-2-3 ダイオキシン類調査結果（底質・含有試験：St. 1）

試料名		St.1		試料媒体		底質	
採取日		2025年8月6日		試料量 (g-dry)		9.80	
		検出下限値 pg/g-dry	定量下限値 pg/g-dry	実測濃度 pg/g-dry	毒性当量		
					WHO-TEF,2006 *1	WHO-TEF,2006 *2	
					pg-TEQ/g-dry	pg-TEQ/g-dry	
ダイオキシン	1,3,6,8-TeCDD	0.5	1.5	8.9	—	—	
	1,3,7,9-TeCDD	0.5	1.5	4.5	—	—	
	2,3,7,8-TeCDD	0.5	1.5	N.D.	×1 0	×1 0.25	
	TeCDDs	0.5	1.5	16	—	—	
	1,2,3,7,8-PeCDD	0.6	2.1	N.D.	×1 0	×1 0.3	
	PeCDDs	0.6	2.1	11	—	—	
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.9	2.9	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.045	
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.7	2.5	(1.4)	0	0.14	
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.4	1.4	1.6	0.16	0.16	
	HxCDDs	0.9	2.9	44	—	—	
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	1	4	35	×0.01 0.35	×0.01 0.35	
	HpCDDs	1	4	120	—	—	
	OCDD	2	5	530	×0.0003 0.159	×0.0003 0.159	
	Total PCDDs	—	—	720	0.67	1.4	
ジベンゾフラン	1,2,7,8-TeCDF	0.4	1.5	(0.4)	—	—	
	2,3,7,8-TeCDF	0.4	1.5	(0.8)	×0.1 0	×0.1 0.08	
	TeCDFs	0.4	1.5	9.7	—	—	
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.4	1.3	(0.6)	×0.03 0	×0.03 0.018	
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.1	0.4	0.8	×0.3 0.24	×0.3 0.24	
	PeCDFs	0.4	1.3	9.3	—	—	
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.9	3.1	(1.1)	×0.1 0	×0.1 0.11	
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.5	1.6	(1.2)	0	0.12	
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	0.3	1.0	N.D.	0	0.015	
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	0.7	2.3	(1.5)	0	0.15	
	HxCDFs	0.9	3.1	10	—	—	
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.7	2.3	6.8	×0.01 0.068	×0.01 0.068	
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	1	4	N.D.	0	0.005	
	HpCDFs	1	4	11	—	—	
OCDF	2	6	7	×0.0003 0.0021	×0.0003 0.0021		
Total PCDFs	—	—	47	0.31	0.81		
Total PCDDs+PCDFs		—	—	770	0.98	2.2	
COPs	3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.2	0.6	39	×0.0001 0.0039	×0.0001 0.0039	
	3,4,4',5'-TeCB(#81)	0.3	0.9	1.1	×0.0003 0.00033	×0.0003 0.00033	
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	0.1	0.5	1.8	×0.1 0.18	×0.1 0.18	
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.2	0.6	(0.2)	×0.03 0	×0.03 0.006	
	Non-ortho PCBs	—	—	42	0.18	0.19	
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	0.2	0.7	2.4	×0.00003 0.000072	×0.00003 0.000072	
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	0.3	0.9	140	×0.00003 0.0042	×0.00003 0.0042	
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	0.4	1.3	37	×0.00003 0.00111	×0.00003 0.00111	
	2,3,4,4',5'-PeCB(#114)	0.2	0.5	1.5	×0.00003 0.000045	×0.00003 0.000045	
	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	0.3	0.8	6.3	×0.00003 0.000189	×0.00003 0.000189	
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#156)	0.4	1.2	13	×0.00003 0.00039	×0.00003 0.00039	
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	0.1	0.3	3.8	×0.00003 0.000114	×0.00003 0.000114	
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	0.1	0.4	1.9	×0.00003 0.000057	×0.00003 0.000057	
	Mono-ortho PCBs	—	—	200	0.0062	0.0062	
Total Co-PCBs	—	—	250	0.19	0.20		
Total PCDDs+PCDFs+Co-PCBs		—	—	1000	1.2	2.4	

1. 毒性当量とは毒性等価係数を用いて、2,3,7,8-TeCDDの毒性に換算したものであり、計量対象外である。

2. 実測濃度の項において、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字で記載する。

3. 実測濃度の項において、検出下限未満のものは“N.D.”と記載する。

4. 毒性当量 * 1: 定量下限未満の実測濃度を0として算出する。

* 2: 検出下限未満の数値は検出下限値の1/2の値を用いて算出する。

5. 表示は原則として2桁とするが、合計の算出には丸めを行っていない数値を用いているため、表示上の数値を合計しても一致しない場合がある。

表4-4-2-4 ダイオキシン類調査結果(底質・含有試験:St.2)

試料名		St.2		試料媒体		底質	
採取日		2025年8月6日		試料量(g-dry)		9.44	
		検出下限値	定量下限値	実測濃度	毒性当量		
					WHO-TEF,2006 *1	WHO-TEF,2006 *2	
		pg/g-dry	pg/g-dry	pg/g-dry	pg-TEQ/g-dry	pg-TEQ/g-dry	
ダイオキシン	1,3,6,8-TeCDD	0.5	1.6	50	—	—	
	1,3,7,9-TeCDD	0.5	1.6	22	—	—	
	2,3,7,8-TeCDD	0.5	1.6	N.D.	×1 0	×1 0.25	
	TeCDDs	0.5	1.6	86	—	—	
	1,2,3,7,8-PeCDD	0.7	2.2	(1.4)	×1 0	×1 1.4	
	PeCDDs	0.7	2.2	42	—	—	
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.9	3.0	3.0	×0.1 0.30	×0.1 0.30	
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.8	2.6	5.1	0.51	0.51	
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.4	1.5	6.1	0.61	0.61	
	HxCDDs	0.9	3.0	140	—	—	
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	1	5	130	×0.01 1.3	×0.01 1.3	
	HpCDDs	1	5	390	—	—	
	OCDD	2	6	2100	×0.0003 0.63	×0.0003 0.63	
	Total PCDDs	—	—	2800	3.4	5.0	
ジベンゾ	1,2,7,8-TeCDF	0.5	1.6	1.9	—	—	
	2,3,7,8-TeCDF	0.5	1.6	2.6	×0.1 0.26	×0.1 0.26	
	TeCDFs	0.5	1.6	42	—	—	
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.4	1.4	2.6	×0.03 0.078	×0.03 0.078	
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.1	0.4	2.8	×0.3 0.84	×0.3 0.84	
	PeCDFs	0.4	1.4	43	—	—	
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	1	3	5	×0.1 0.5	×0.1 0.5	
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.5	1.7	4.1	0.41	0.41	
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	0.3	1.1	N.D.	0	0.015	
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	0.7	2.3	5.9	0.59	0.59	
	HxCDFs	1	3	44	—	—	
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.7	2.4	25	×0.01 0.25	×0.01 0.25	
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	1	5	(3)	0	0.03	
	HpCDFs	1	5	47	—	—	
OCDF	2	6	30	×0.0003 0.0090	×0.0003 0.0090		
Total PCDFs	—	—	210	2.9	3.0		
Total PCDDs+PCDFs		—	—	3000	6.3	8.0	
COPs	3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.2	0.6	140	×0.0001 0.014	×0.0001 0.014	
	3,4,4',5'-TeCB(#81)	0.3	1.0	3.8	×0.0003 0.00114	×0.0003 0.00114	
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	0.1	0.5	6.7	×0.1 0.67	×0.1 0.67	
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.2	0.7	1.0	×0.03 0.030	×0.03 0.030	
	Non-ortho PCBs	—	—	150	0.72	0.72	
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	0.2	0.7	10	×0.00003 0.00030	×0.00003 0.00030	
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	0.3	0.9	630	×0.00003 0.0189	×0.00003 0.0189	
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	0.4	1.4	200	×0.00003 0.0060	×0.00003 0.0060	
	2,3,4,4',5'-PeCB(#114)	0.2	0.5	8.7	×0.00003 0.000261	×0.00003 0.000261	
	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	0.3	0.9	31	×0.00003 0.00093	×0.00003 0.00093	
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#156)	0.4	1.3	71	×0.00003 0.00213	×0.00003 0.00213	
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	0.1	0.3	21	×0.00003 0.00063	×0.00003 0.00063	
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	0.1	0.4	7.6	×0.00003 0.000228	×0.00003 0.000228	
	Mono-ortho PCBs	—	—	980	0.029	0.029	
Total Co-PCBs	—	—	1100	0.74	0.74		
Total PCDDs+PCDFs+Co-PCBs		—	—	4100	7.0	8.7	

1. 毒性当量とは毒性等価係数を用いて、2,3,7,8-TeCDDの毒性に換算したものであり、計量対象外である。

2. 実測濃度の項において、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字で記載する。

3. 実測濃度の項において、検出下限未満のものは“N.D.”と記載する。

4. 毒性当量 * 1: 定量下限未満の実測濃度を0として算出する。

* 2: 検出下限未満の数値は検出下限値の1/2の値を用いて算出する。

5. 表示は原則として2桁とするが、合計の算出には丸めを行っていない数値を用いているため、表示上の数値を合計しても一致しない場合がある。

表4-4-2-5 ダイオキシン類調査結果(底質・含有試験:St.3)

試料名		St.3		試料媒体		底質	
採取日		2025年8月6日		試料量(g-dry)		9.86	
		検出下限値	定量下限値	実測濃度	毒性当量		
					WHO-TEF,2006 *1	WHO-TEF,2006 *2	
		pg/g-dry	pg/g-dry	pg/g-dry	pg-TEQ/g-dry	pg-TEQ/g-dry	
ダイオキシン	1,3,6,8-TeCDD	0.5	1.5	9.4	—	—	
	1,3,7,9-TeCDD	0.5	1.5	4.7	—	—	
	2,3,7,8-TeCDD	0.5	1.5	N.D.	×1 0	×1 0.25	
	TeCDDs	0.5	1.5	16	—	—	
	1,2,3,7,8-PeCDD	0.6	2.1	N.D.	×1 0	×1 0.3	
	PeCDDs	0.6	2.1	6.9	—	—	
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.9	2.8	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.045	
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.7	2.5	(1.1)	0	0.11	
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.4	1.4	1.8	0.18	0.18	
	HxCDDs	0.9	2.8	30	—	—	
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	1	4	27	×0.01 0.27	×0.01 0.27	
	HpCDDs	1	4	86	—	—	
	OCDD	2	5	430	×0.0003 0.129	×0.0003 0.129	
	Total PCDDs	—	—	570	0.58	1.3	
ジベンゾフラン	1,2,7,8-TeCDF	0.4	1.5	(0.5)	—	—	
	2,3,7,8-TeCDF	0.4	1.5	(0.6)	×0.1 0	×0.1 0.06	
	TeCDFs	0.4	1.5	6.7	—	—	
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.4	1.3	(0.6)	×0.03 0	×0.03 0.018	
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.1	0.4	N.D.	×0.3 0	×0.3 0.015	
	PeCDFs	0.4	1.3	6.5	—	—	
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.9	3.1	(1.2)	×0.1 0	×0.1 0.12	
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.5	1.6	(0.8)	0	0.08	
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	0.3	1.0	N.D.	0	0.015	
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	0.7	2.2	(1.3)	0	0.13	
	HxCDFs	0.9	3.1	6.0	—	—	
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.7	2.3	5.3	×0.01 0.053	×0.01 0.053	
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	1	4	N.D.	0	0.005	
	HpCDFs	1	4	9	—	—	
OCDF	2	6	6	×0.0003 0.0018	×0.0003 0.0018		
Total PCDFs	—	—	34	0.055	0.50		
Total PCDDs+PCDFs		—	—	610	0.63	1.8	
Closely related PCBs	3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.2	0.6	42	×0.0001 0.0042	×0.0001 0.0042	
	3,4,4',5'-TeCB(#81)	0.3	0.9	1.0	×0.0003 0.00030	×0.0003 0.00030	
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	0.1	0.5	1.5	×0.1 0.15	×0.1 0.15	
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.2	0.6	N.D.	×0.03 0	×0.03 0.003	
	Non-ortho PCBs	—	—	45	0.15	0.16	
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	0.2	0.7	2.6	×0.00003 0.000078	×0.00003 0.000078	
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	0.3	0.9	150	×0.00003 0.0045	×0.00003 0.0045	
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	0.4	1.3	44	×0.00003 0.00132	×0.00003 0.00132	
	2,3,4,4',5'-PeCB(#114)	0.2	0.5	2.3	×0.00003 0.000069	×0.00003 0.000069	
	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	0.2	0.8	8.0	×0.00003 0.000240	×0.00003 0.000240	
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#156)	0.4	1.2	18	×0.00003 0.00054	×0.00003 0.00054	
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	0.1	0.3	4.5	×0.00003 0.000135	×0.00003 0.000135	
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	0.1	0.4	1.8	×0.00003 0.000054	×0.00003 0.000054	
	Mono-ortho PCBs	—	—	230	0.0069	0.0069	
Total Co-PCBs	—	—	270	0.16	0.16		
Total PCDDs+PCDFs+Co-PCBs		—	—	880	0.80	1.9	

1. 毒性当量とは毒性等価係数を用いて、2,3,7,8-TeCDDの毒性に換算したものであり、計量対象外である。

2. 実測濃度の項において、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字で記載する。

3. 実測濃度の項において、検出下限未満のものは“N.D.”と記載する。

4. 毒性当量 * 1: 定量下限未満の実測濃度を0として算出する。

* 2: 検出下限未満の数値は検出下限値の1/2の値を用いて算出する。

5. 表示は原則として2桁とするが、合計の算出には丸めを行っていない数値を用いているため、表示上の数値を合計しても一致しない場合がある。

表4-4-2-6 ダイオキシン類調査結果(底質・含有試験:St.4)

試料名		St.4		試料媒体		底質	
採取日		2025年8月6日		試料量(g-dry)		9.44	
		検出下限値	定量下限値	実測濃度	毒性当量		
					WHO-TEF,2006 *1	WHO-TEF,2006 *2	
		pg/g-dry	pg/g-dry	pg/g-dry	pg-TEQ/g-dry	pg-TEQ/g-dry	
ダイオキシン	1,3,6,8-TeCDD	0.5	1.6	72	—	—	
	1,3,7,9-TeCDD	0.5	1.6	33	—	—	
	2,3,7,8-TeCDD	0.5	1.6	N.D.	×1 0	×1 0.25	
	TeCDDs	0.5	1.6	120	—	—	
	1,2,3,7,8-PeCDD	0.7	2.2	2.3	×1 2.3	×1 2.3	
	PeCDDs	0.7	2.2	57	—	—	
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.9	3.0	3.7	×0.1 0.37	×0.1 0.37	
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.8	2.6	7.0	0.70	0.70	
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.4	1.5	7.3	0.73	0.73	
	HxCDDs	0.9	3.0	150	—	—	
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	1	5	150	×0.01 1.5	×0.01 1.5	
	HpCDDs	1	5	420	—	—	
	OCDD	2	6	2500	×0.0003 0.75	×0.0003 0.75	
	Total PCDDs	—	—	3200	6.4	6.6	
ジベンゾ	1,2,7,8-TeCDF	0.5	1.6	2.5	—	—	
	2,3,7,8-TeCDF	0.5	1.6	2.8	×0.1 0.28	×0.1 0.28	
	TeCDFs	0.5	1.6	55	—	—	
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.4	1.4	3.6	×0.03 0.108	×0.03 0.108	
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.1	0.4	3.9	×0.3 1.17	×0.3 1.17	
	PeCDFs	0.4	1.4	61	—	—	
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	1	3	6	×0.1 0.6	×0.1 0.6	
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.5	1.7	6.0	0.60	0.60	
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	0.3	1.1	N.D.	0	0.015	
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	0.7	2.3	7.5	0.75	0.75	
	HxCDFs	1	3	62	—	—	
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.7	2.4	34	×0.01 0.34	×0.01 0.34	
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	1	5	(4)	0	0.04	
	HpCDFs	1	5	66	—	—	
OCDF	2	6	40	×0.0003 0.0120	×0.0003 0.0120		
Total PCDFs	—	—	280	3.9	3.9		
Total PCDDs+PCDFs		—	—	3500	10	11	
Closely related PCBs	3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.2	0.6	160	×0.0001 0.016	×0.0001 0.016	
	3,4,4',5'-TeCB(#81)	0.3	1.0	4.3	×0.0003 0.00129	×0.0003 0.00129	
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	0.1	0.5	8.2	×0.1 0.82	×0.1 0.82	
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.2	0.7	1.4	×0.03 0.042	×0.03 0.042	
	Non-ortho PCBs	—	—	170	0.88	0.88	
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	0.2	0.7	13	×0.00003 0.00039	×0.00003 0.00039	
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	0.3	0.9	810	×0.00003 0.0243	×0.00003 0.0243	
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	0.4	1.4	260	×0.00003 0.0078	×0.00003 0.0078	
	2,3,4,4',5'-PeCB(#114)	0.2	0.5	9.7	×0.00003 0.000291	×0.00003 0.000291	
	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	0.3	0.9	42	×0.00003 0.00126	×0.00003 0.00126	
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#156)	0.4	1.3	93	×0.00003 0.00279	×0.00003 0.00279	
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	0.1	0.3	25	×0.00003 0.00075	×0.00003 0.00075	
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	0.1	0.4	11	×0.00003 0.00033	×0.00003 0.00033	
	Mono-ortho PCBs	—	—	1300	0.038	0.038	
Total Co-PCBs	—	—	1400	0.92	0.92		
Total PCDDs+PCDFs+Co-PCBs		—	—	5000	11	11	

1. 毒性当量とは毒性等価係数を用いて、2,3,7,8-TeCDDの毒性に換算したものであり、計量対象外である。

2. 実測濃度の項において、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字で記載する。

3. 実測濃度の項において、検出下限未満のものは“N.D.”と記載する。

4. 毒性当量 * 1: 定量下限未満の実測濃度を0として算出する。

* 2: 検出下限未満の数値は検出下限値の1/2の値を用いて算出する。

5. 表示は原則として2桁とするが、合計の算出には丸めを行っていない数値を用いているため、表示上の数値を合計しても一致しない場合がある。

表4-4-2-7 ダイオキシン類調査結果(底質・溶出試験:St.1)

試料名		St.1		試料媒体	溶出液
採取日		2025年8月6日		試料量(L)	6.0
		検出下限値	定量下限値	実測濃度	毒性当量
					WHO-TEF,2006
		pg/L	pg/L	pg/L	pg-TEQ/L
ダイオキシン	1,3,6,8-TeCDD	0.05	0.16	0.61	—
	1,3,7,9-TeCDD	0.05	0.16	0.34	—
	2,3,7,8-TeCDD	0.05	0.16	N.D.	×1 0
	TeCDDs	0.05	0.16	1.1	—
	1,2,3,7,8-PeCDD	0.05	0.17	N.D.	×1 0
	PeCDDs	0.05	0.17	0.60	—
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.07	0.24	N.D.	×0.1 0
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.1	0.4	N.D.	0
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.06	0.18	(0.14)	0
	HxCDDs	0.1	0.4	3.9	—
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.07	0.24	2.8	×0.01 0.028
	HpCDDs	0.07	0.24	10	—
	OCDD	0.3	1.0	43	×0.0003 0.0129
	Total PCDDs	—	—	59	0.041
ジベンゾフラン	1,2,7,8-TeCDF	0.05	0.16	(0.11)	—
	2,3,7,8-TeCDF	0.05	0.16	(0.06)	×0.1 0
	TeCDFs	0.05	0.16	0.65	—
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.03	0.09	N.D.	×0.03 0
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.04	0.12	(0.06)	×0.3 0
	PeCDFs	0.04	0.12	0.67	—
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.08	0.26	(0.12)	×0.1 0
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.08	0.27	(0.11)	0
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	0.1	0.3	N.D.	0
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	0.07	0.22	(0.18)	0
	HxCDFs	0.1	0.3	1.0	—
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.06	0.21	0.48	×0.01 0.0048
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.07	0.23	(0.09)	0
	HpCDFs	0.07	0.23	0.88	—
OCDF	0.2	0.6	(0.4)	×0.0003 0	
Total PCDFs	—	—	3.6	0.0048	
Total PCDDs+PCDFs	—	—	63	0.046	
COPCBs	3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.08	0.28	2.1	×0.0001 0.00021
	3,4,4',5'-TeCB(#81)	0.09	0.29	(0.12)	×0.0003 0
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	0.05	0.18	(0.13)	×0.1 0
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.06	0.20	N.D.	×0.03 0
	Non-ortho PCBs	—	—	2.4	0.00021
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	0.05	0.15	0.19	×0.00003 0.0000057
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	0.09	0.29	12	×0.00003 0.00036
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	0.09	0.30	3.6	×0.00003 0.000108
	2,3,4,4',5'-PeCB(#114)	0.09	0.31	(0.19)	×0.00003 0
	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	0.08	0.28	0.63	×0.00003 0.0000189
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#156)	0.09	0.30	1.3	×0.00003 0.000039
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	0.06	0.20	0.36	×0.00003 0.0000108
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	0.06	0.21	0.23	×0.00003 0.0000069
	Mono-ortho PCBs	—	—	18	0.00055
Total Co-PCBs	—	—	21	0.00076	
Total PCDDs+PCDFs+Co-PCBs	—	—	83	0.046	

1. 毒性当量とは毒性等価係数を用いて、2,3,7,8-TeCDDの毒性に換算したものであり、計量対象外である。
2. 実測濃度の項において、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字で記載する。
3. 実測濃度の項において、検出下限未満のものは“N.D.”と記載する。
4. 毒性当量: 定量下限未満の実測濃度を0として算出する。
5. 表示は原則として2桁とするが、合計の算出には丸めを行っていない数値を用いているため、表示上の数値を合計しても一致しない場合がある。

表4-4-2-8 ダイオキシン類調査結果(底質・溶出試験:St.2)

試料名		St.2		試料媒体	溶出液
採取日		2025年8月6日		試料量(L)	6.0
		検出下限値 pg/L	定量下限値 pg/L	実測濃度 pg/L	毒性当量
					WHO-TEF,2006 pg-TEQ/L
ダイ オ キ シ ン	1,3,6,8-TeCDD	0.05	0.16	0.34	—
	1,3,7,9-TeCDD	0.05	0.16	N.D.	—
	2,3,7,8-TeCDD	0.05	0.16	N.D.	×1 0
	TeCDDs	0.05	0.16	0.34	—
	1,2,3,7,8-PeCDD	0.05	0.17	N.D.	×1 0
	PeCDDs	0.05	0.17	(0.08)	—
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.07	0.24	N.D.	×0.1 0
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.1	0.4	N.D.	0
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.06	0.18	N.D.	0
	HxCDDs	0.1	0.4	0.5	—
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.07	0.24	0.51	×0.01 0.0051
	HpCDDs	0.07	0.24	1.9	—
	OCDD	0.3	1.0	9.7	×0.0003 0.00291
Total PCDDs	—	—	13	0.0080	
ジ ベ ン ゾ フ ラ ン	1,2,7,8-TeCDF	0.05	0.16	N.D.	—
	2,3,7,8-TeCDF	0.05	0.16	N.D.	×0.1 0
	TeCDFs	0.05	0.16	0.18	—
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.03	0.09	N.D.	×0.03 0
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.04	0.12	N.D.	×0.3 0
	PeCDFs	0.04	0.12	(0.05)	—
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.08	0.26	N.D.	×0.1 0
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.08	0.27	N.D.	0
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	0.1	0.3	N.D.	0
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	0.07	0.22	N.D.	0
	HxCDFs	0.1	0.3	N.D.	—
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.06	0.21	(0.11)	×0.01 0
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.07	0.23	N.D.	0
HpCDFs	0.07	0.23	(0.18)	—	
OCDF	0.2	0.6	N.D.	×0.0003 0	
Total PCDFs	—	—	0.40	0	
Total PCDDs+PCDFs	—	—	13	0.0080	
C o P C B s	3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.08	0.28	0.86	×0.0001 0.000086
	3,4,4',5'-TeCB(#81)	0.09	0.29	N.D.	×0.0003 0
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	0.05	0.18	(0.06)	×0.1 0
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.06	0.20	N.D.	×0.03 0
	Non-ortho PCBs	—	—	0.92	0.000086
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	0.05	0.15	0.16	×0.00003 0.0000048
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	0.09	0.29	6.6	×0.00003 0.000198
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	0.09	0.30	1.9	×0.00003 0.000057
	2,3,4,4',5'-PeCB(#114)	0.09	0.31	(0.15)	×0.00003 0
	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	0.08	0.28	(0.21)	×0.00003 0
	2,3,3',4,4',5-HxCB(#156)	0.09	0.30	0.56	×0.00003 0.0000168
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	0.06	0.20	(0.12)	×0.00003 0
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	0.06	0.21	(0.08)	×0.00003 0
Mono-ortho PCBs	—	—	9.8	0.00028	
Total Co-PCBs	—	—	11	0.00036	
Total PCDDs+PCDFs+Co-PCBs	—	—	24	0.0084	

1. 毒性当量とは毒性等価係数を用いて、2,3,7,8-TeCDDの毒性に換算したものであり、計量対象外である。
2. 実測濃度の項において、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字で記載する。
3. 実測濃度の項において、検出下限未満のものは“N.D.”と記載する。
4. 毒性当量: 定量下限未満の実測濃度を0として算出する。
5. 表示は原則として2桁とするが、合計の算出には丸めを行っていない数値を用いているため、表示上の数値を合計しても一致しない場合がある。

表4-4-2-9 ダイオキシン類調査結果(底質・溶出試験:St.3)

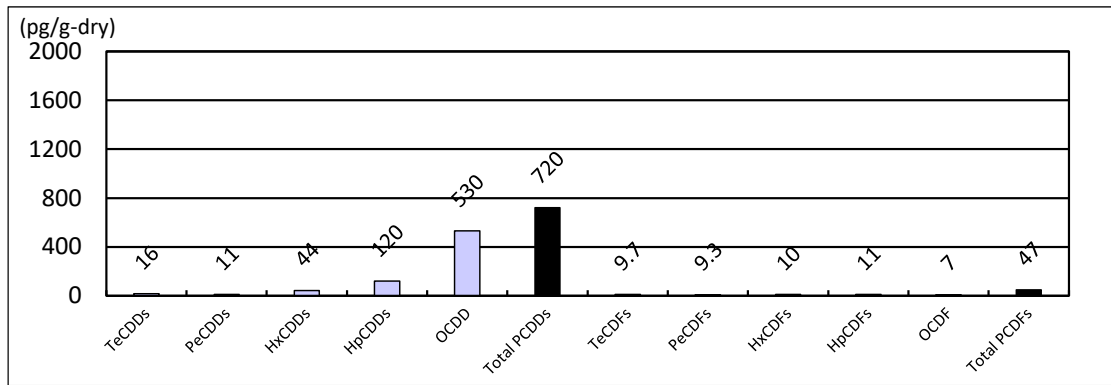
試料名		St.3		試料媒体	溶出液
採取日		2025年8月6日		試料量(L)	6.0
		検出下限値	定量下限値	実測濃度	毒性当量
					WHO-TEF,2006
		pg/L	pg/L	pg/L	pg-TEQ/L
ダイオキシン	1,3,6,8-TeCDD	0.05	0.16	1.3	—
	1,3,7,9-TeCDD	0.05	0.16	0.68	—
	2,3,7,8-TeCDD	0.05	0.16	N.D.	×1 0
	TeCDDs	0.05	0.16	2.2	—
	1,2,3,7,8-PeCDD	0.05	0.17	N.D.	×1 0
	PeCDDs	0.05	0.17	1.3	—
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.07	0.24	(0.15)	×0.1 0
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.1	0.4	(0.2)	0
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.06	0.18	0.20	0.020
	HxCDDs	0.1	0.4	5.8	—
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.07	0.24	5.0	×0.01 0.050
	HpCDDs	0.07	0.24	18	—
	OCDD	0.3	1.0	81	×0.0003 0.0243
Total PCDDs	—	—	110	0.094	
ジベンゾフラン	1,2,7,8-TeCDF	0.05	0.16	(0.07)	—
	2,3,7,8-TeCDF	0.05	0.16	N.D.	×0.1 0
	TeCDFs	0.05	0.16	0.95	—
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.03	0.09	(0.08)	×0.03 0
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.04	0.12	(0.10)	×0.3 0
	PeCDFs	0.04	0.12	1.1	—
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.08	0.26	(0.20)	×0.1 0
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.08	0.27	(0.18)	0
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	0.1	0.3	N.D.	0
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	0.07	0.22	0.22	0.022
	HxCDFs	0.1	0.3	1.6	—
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.06	0.21	1.0	×0.01 0.010
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.07	0.23	(0.14)	0
HpCDFs	0.07	0.23	1.9	—	
OCDF	0.2	0.6	1.2	×0.0003 0.00036	
Total PCDFs	—	—	6.7	0.032	
Total PCDDs+PCDFs	—	—	110	0.13	
COPCBs	3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.08	0.28	3.0	×0.0001 0.00030
	3,4,4',5'-TeCB(#81)	0.09	0.29	(0.16)	×0.0003 0
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	0.05	0.18	0.21	×0.1 0.021
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.06	0.20	N.D.	×0.03 0
	Non-ortho PCBs	—	—	3.4	0.021
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	0.05	0.15	0.43	×0.00003 0.0000129
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	0.09	0.29	23	×0.00003 0.00069
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	0.09	0.30	6.8	×0.00003 0.000204
	2,3,4,4',5'-PeCB(#114)	0.09	0.31	0.41	×0.00003 0.0000123
	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	0.08	0.28	1.4	×0.00003 0.000042
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#156)	0.09	0.30	3.0	×0.00003 0.000090
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	0.06	0.20	0.86	×0.00003 0.0000258
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	0.06	0.21	0.41	×0.00003 0.0000123
Mono-ortho PCBs	—	—	36	0.0011	
Total Co-PCBs	—	—	40	0.022	
Total PCDDs+PCDFs+Co-PCBs	—	—	150	0.15	

1. 毒性当量とは毒性等価係数を用いて、2,3,7,8-TeCDDの毒性に換算したものであり、計量対象外である。
2. 実測濃度の項において、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字で記載する。
3. 実測濃度の項において、検出下限未満のものは“N.D.”と記載する。
4. 毒性当量: 定量下限未満の実測濃度を0として算出する。
5. 表示は原則として2桁とするが、合計の算出には丸めを行っていない数値を用いているため、表示上の数値を合計しても一致しない場合がある。

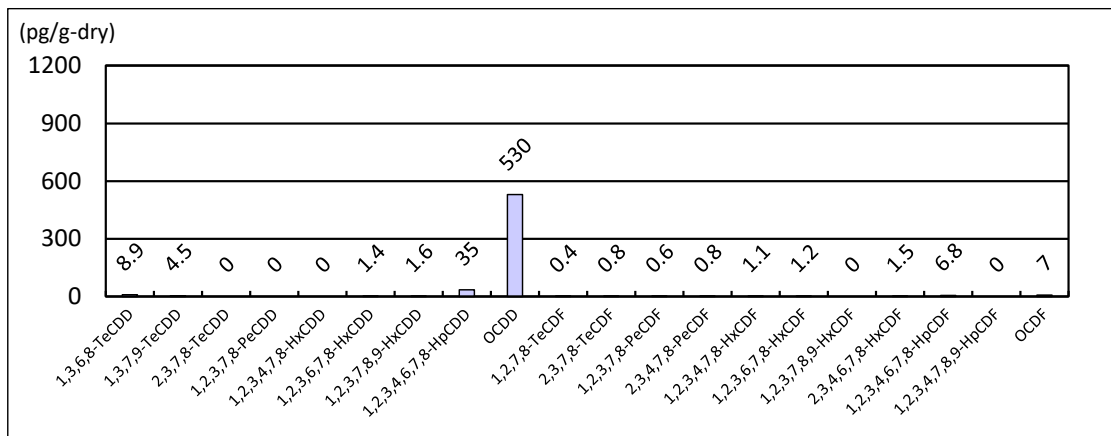
表4-4-2-10 ダイオキシン類調査結果(底質・溶出試験:St.4)

試料名		St.4		試料媒体	溶出液
採取日		2025年8月6日		試料量(L)	6.0
		検出下限値 pg/L	定量下限値 pg/L	実測濃度 pg/L	毒性当量
					WHO-TEF,2006 pg-TEQ/L
ダイオキシン	1,3,6,8-TeCDD	0.05	0.16	1.5	—
	1,3,7,9-TeCDD	0.05	0.16	0.53	—
	2,3,7,8-TeCDD	0.05	0.16	N.D.	×1 0
	TeCDDs	0.05	0.16	2.3	—
	1,2,3,7,8-PeCDD	0.05	0.17	N.D.	×1 0
	PeCDDs	0.05	0.17	1.3	—
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.07	0.24	(0.16)	×0.1 0
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.1	0.4	(0.2)	0
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.06	0.18	N.D.	0
	HxCDDs	0.1	0.4	3.9	—
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.07	0.24	3.7	×0.01 0.037
	HpCDDs	0.07	0.24	12	—
	OCDD	0.3	1.0	65	×0.0003 0.0195
	Total PCDDs	—	—	84	0.057
ジベンゾ	1,2,7,8-TeCDF	0.05	0.16	(0.08)	—
	2,3,7,8-TeCDF	0.05	0.16	(0.09)	×0.1 0
	TeCDFs	0.05	0.16	1.2	—
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.03	0.09	(0.07)	×0.03 0
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.04	0.12	0.13	×0.3 0.039
	PeCDFs	0.04	0.12	1.2	—
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.08	0.26	(0.16)	×0.1 0
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.08	0.27	(0.16)	0
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	0.1	0.3	N.D.	0
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	0.07	0.22	0.24	0.024
	HxCDFs	0.1	0.3	1.5	—
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.06	0.21	1.0	×0.01 0.010
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.07	0.23	N.D.	0
	HpCDFs	0.07	0.23	1.5	—
OCDF	0.2	0.6	0.9	×0.0003 0.00027	
Total PCDFs	—	—	6.4	0.073	
Total PCDDs+PCDFs		—	—	91	0.13
COPCBs	3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.08	0.28	2.2	×0.0001 0.00022
	3,4,4',5'-TeCB(#81)	0.09	0.29	(0.11)	×0.0003 0
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	0.05	0.18	0.18	×0.1 0.018
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.06	0.20	N.D.	×0.03 0
	Non-ortho PCBs	—	—	2.5	0.018
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	0.05	0.15	0.31	×0.00003 0.0000093
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	0.09	0.29	22	×0.00003 0.00066
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	0.09	0.30	6.6	×0.00003 0.000198
	2,3,4,4',5'-PeCB(#114)	0.09	0.31	(0.20)	×0.00003 0
	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	0.08	0.28	1.2	×0.00003 0.000036
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#156)	0.09	0.30	2.2	×0.00003 0.000066
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	0.06	0.20	0.57	×0.00003 0.0000171
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	0.06	0.21	0.33	×0.00003 0.0000099
	Mono-ortho PCBs	—	—	33	0.0010
Total Co-PCBs	—	—	36	0.019	
Total PCDDs+PCDFs+Co-PCBs		—	—	130	0.15

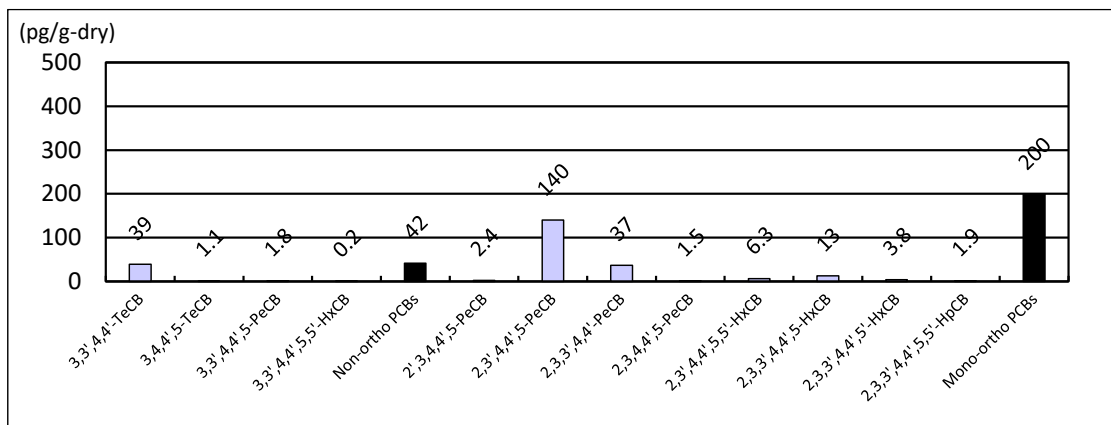
1. 毒性当量とは毒性等価係数を用いて、2,3,7,8-TeCDDの毒性に換算したものであり、計量対象外である。
2. 実測濃度の項において、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字で記載する。
3. 実測濃度の項において、検出下限未満のものは“N.D.”と記載する。
4. 毒性当量: 定量下限未満の実測濃度を0として算出する。
5. 表示は原則として2桁とするが、合計の算出には丸めを行っていない数値を用いているため、表示上の数値を合計しても一致しない場合がある。



ダイオキシン類同族体組成 (実測濃度)

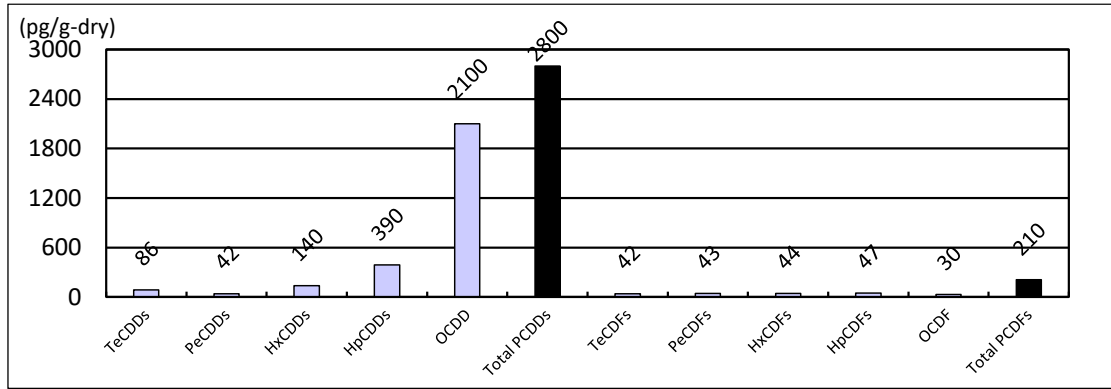


ダイオキシン類 2,3,7,8-位塩素置換異性体組成 (実測濃度)

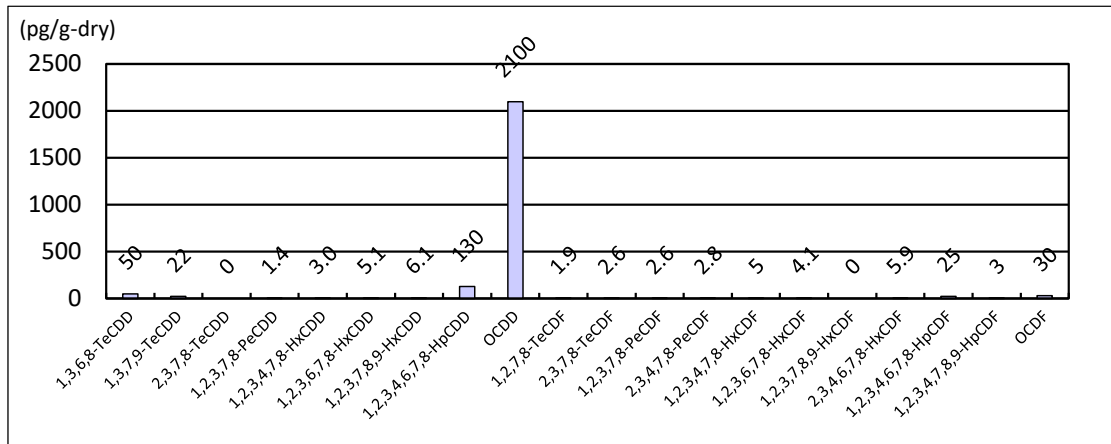


Co-PCBs 異性体組成 (実測濃度)

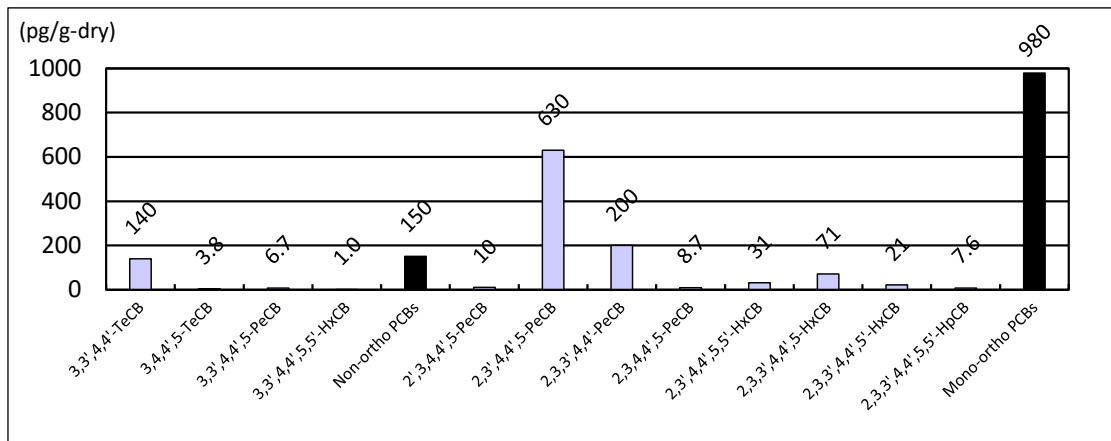
図 4-4-2-1 同族体及び異性体の組成 (底質: St. 1)



ダイオキシン類同族体組成 (実測濃度)

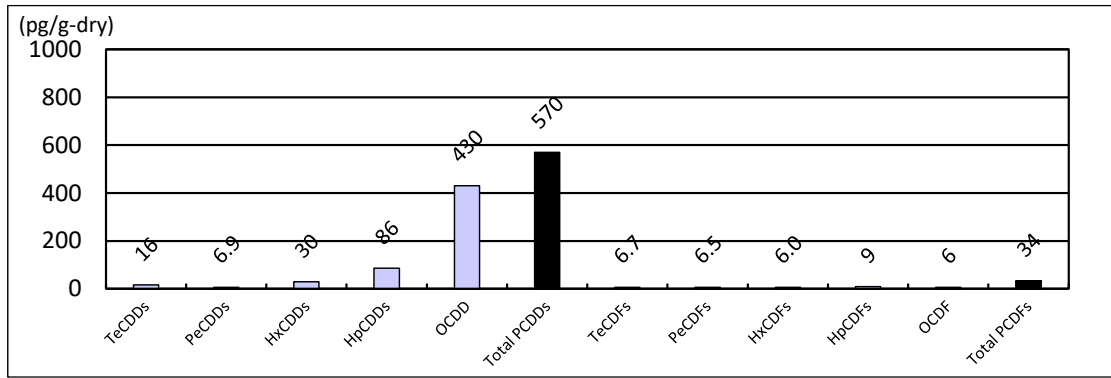


ダイオキシン類 2,3,7,8-位塩素置換異性体組成 (実測濃度)

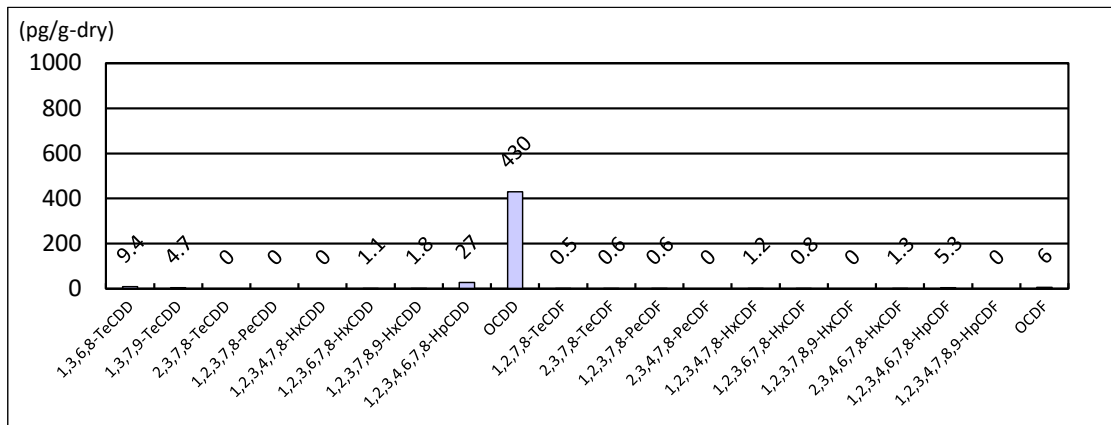


Co-PCBs 異性体組成 (実測濃度)

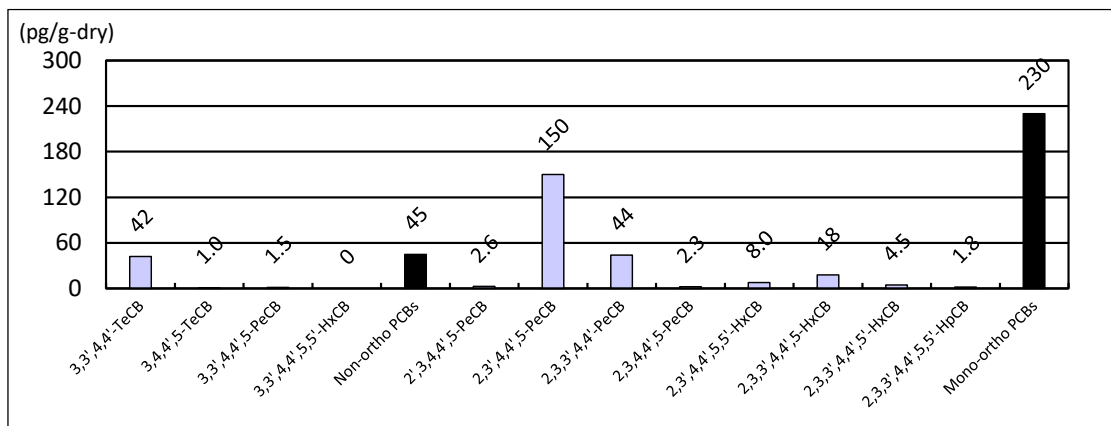
図 4-4-2-2 同族体及び異性体の組成 (底質: St. 2)



ダイオキシン類同族体組成 (実測濃度)

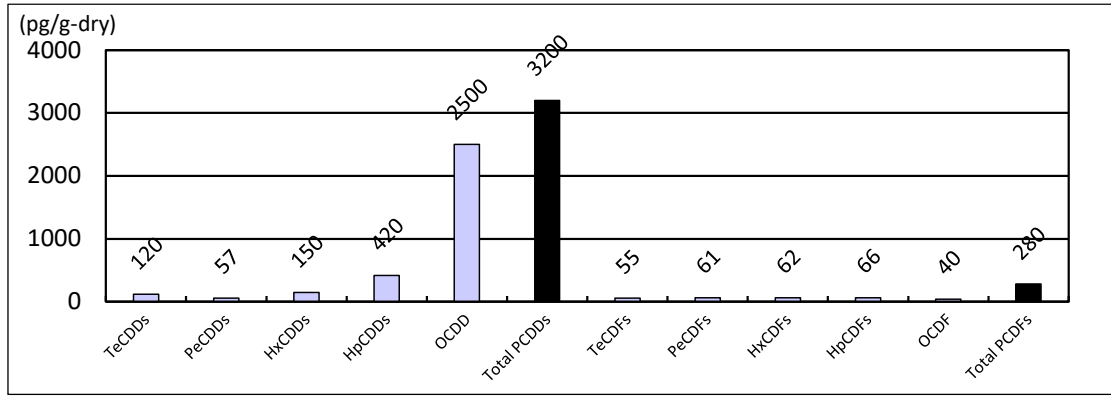


ダイオキシン類 2,3,7,8-位塩素置換異性体組成 (実測濃度)

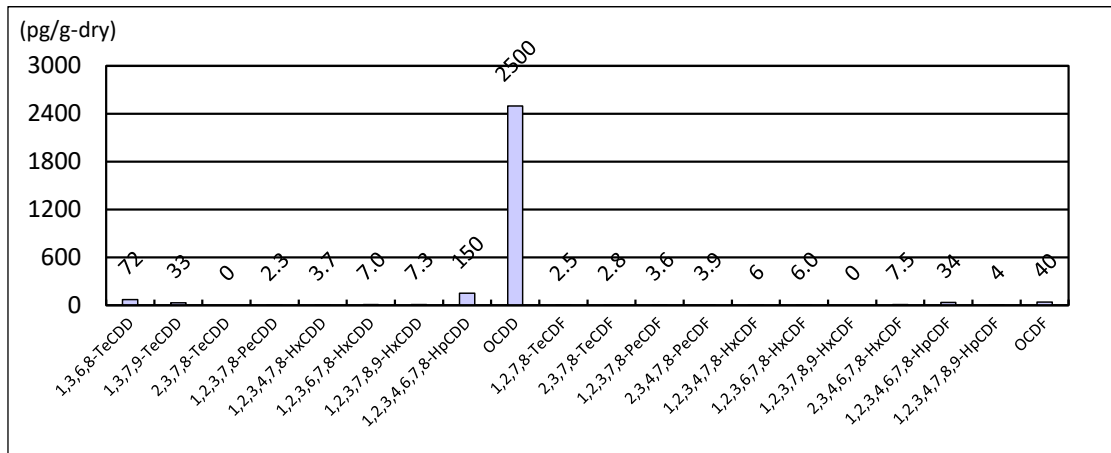


Co-PCBs 異性体組成 (実測濃度)

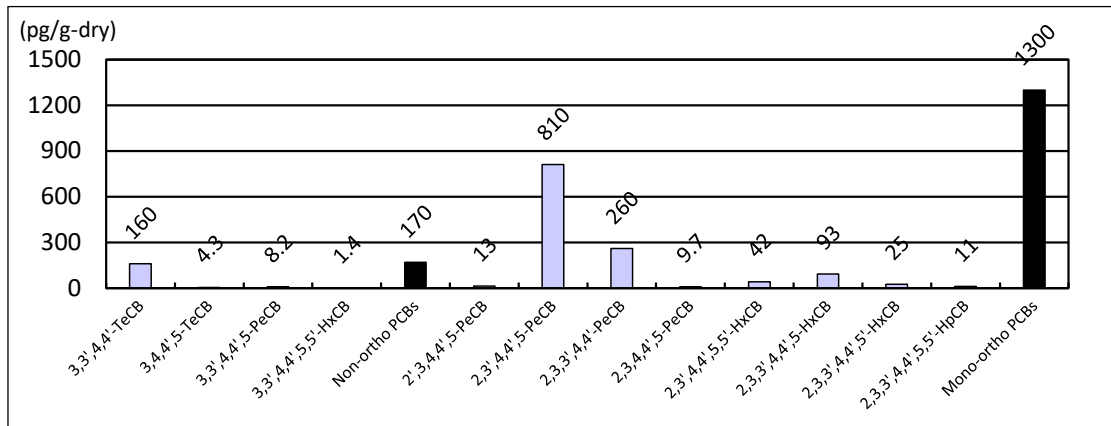
図 4-4-2-3 同族体及び異性体の組成 (底質: St. 3)



ダイオキシン類同族体組成 (実測濃度)



ダイオキシン類 2,3,7,8-位塩素置換異性体組成 (実測濃度)



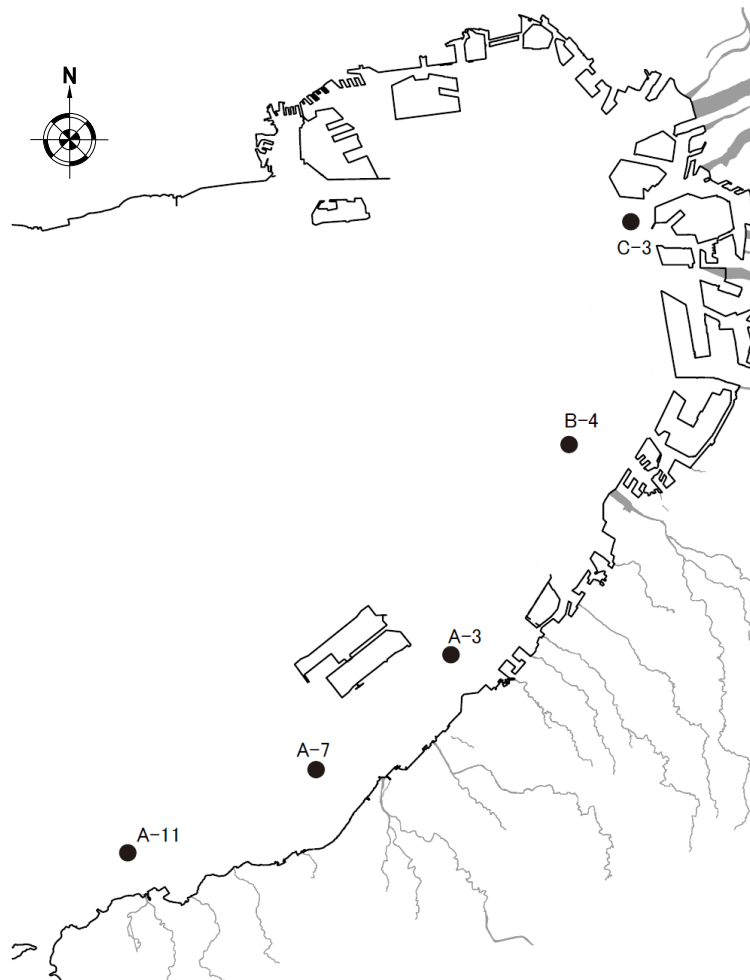
Co-PCBs 異性体組成 (実測濃度)

図 4-4-2-4 同族体及び異性体の組成 (底質: St. 4)

参考資料 令和6年度ダイオキシン類常時監視結果

調査地点	水質調査結果 (pg-TEQ/L)	底質調査結果 (pg-TEQ/g)
C-3	0.039	10
B-4	0.033	11
A-3	0.034	9.2
A-7	0.045	8.3
A-11	0.032	1.1
平均値	0.037	7.9

備考：大阪府ホームページ内の「大阪府ダイオキシン類常時監視結果」より抜粋。



調査地点図